

臨床工学技士の業務実態報告 2023

調査・統計委員会

『臨床工学技士の業務実態報告 2023』を 2023 年 10 月 2 日から 11 月 14 日の期間で実施しました。結果概要を報告いたします。

お忙しい業務の中、貴重なお時間を割いていただき、ご協力賜りましたことをお礼申し上げます。

さて、本報告は、貴重な経験と知識を基に、臨床工学の領域における課題やニーズ、そして将来の展望について報告いただくものです。皆様の声を通じて、より良い未来のための一翼を担うことができます。

今年度から、臨床工学技士の資質の向上に向けて、ご自身のご意見・状況を報告いただくことから「調査」から「報告」へと変更いたしました。そのうえで、43%の高い回収率という報告結果は、団体への協力の高さや報告結果に偏りが少なく信憑性の高い資料ともなりえますことから、重ね重ねお礼申し上げます。

なお、今回の報告結果は（公社）日本臨床工学技士会の活動の貴重な資料として活用させていただき、事務局にて適正に保管いたします。

1. 本報告の目的

業務実態報告は、公益社団法人日本臨床工学技士会定款第 2 章目的及び事業に基づき、労務に関する報告を行い、実態を把握すること。

- ・国民の臨床工学技士に対するニーズを業務の実施状況から把握する。
- ・臨床工学技士の業務を量的、質的に明らかにして事業運営の基礎資料とする。
- ・業務の拡大、診療報酬の評価、待遇の改善などの臨床工学技士業務に関する課題の抽出と解決のための基礎資料とする。

2. 報告の範囲及び対象

日本臨床工学技士会 正会員

3. 報告対象数

正会員数 24,426 名（2023 年 10 月 3 日時点）

4. 報告事項

- 1) 「個人報告」正会員全員が回答
- 2) 「施設基本報告」施設代表者が回答
- 3) 「施設基本報告」に加え（アドオン）血液浄化編、呼吸療法編、在宅呼吸療法編、集中治療・救急アドオン編、心臓・血管カテーテル編、内視鏡編、手術室編、不整脈アブレーション治療編、心臓植込み型デバイス関連編、高気圧酸素治療編、ハイパーサーミア編、医療安全編、腹膜透析編を実施した。

5. 報告の時期

2023 年 10 月 2 日から 2023 年 11 月 14 日に行った。

6. 報告方法

日本臨床工学技士会 会員情報システム「e-ブリバド」内のアンケートを使用してオンラインにより回収する方法を使用した。

7. 有効回答数、有効回答率、重複回答数

項目	有効回答数	回答率
個人報告	10,423	43%

※重複回答数：施設報告、アドオン報告で同一施設名の回答を重複回答とした。なお、回答日時順で最新の回答を採用した。

項目	回答数	重複回答数	有効回答数
施設基本報告	1,845	89	1,756
アドオン「血液浄化編」	1,556	86	1,470
アドオン「呼吸療法編」	985	39	946
アドオン「在宅呼吸療法編」	490	10	480
アドオン「集集中治療・救急編」	482	16	466
アドオン「心臓・血管カテーテル編」	612	25	587
アドオン「内視鏡編」	672	17	655
アドオン「手術室編」	839	17	822
アドオン「不整脈アブレーション治療編」	413	15	398
アドオン「心臓植込み型デバイス関連編」	491	10	481
アドオン「高気圧酸素治療編」	167	5	162
アドオン「ハイパーサーミア編」	90	1	89
アドオン「医療安全編」	789	4	785
アドオン「腹膜透析編」	327	3	324

臨床工学技士の業務実態報告 2023

2024年2月14日
報告期間：2023年10月2日～11月14日
正会員数：24,426名
回答数：10,423件
回収率：43%
調査・統計委員会

- I. 「臨床工学技士の業務実態報告 2023」の概要
- II. 個人報告
- III. 施設基本報告
- IV. 施設報告 (アドオン)「血液浄化編」
- V. 施設報告 (アドオン)「呼吸療法編」
- VI. 施設報告 (アドオン)「在宅呼吸療法編」
- VII. 施設報告 (アドオン)「集中治療編」
- VIII. 施設報告 (アドオン)「心臓・血管カテーテル編」
- IX. 施設報告 (アドオン)「内視鏡編」
- X. 施設報告 (アドオン)「手術室編」
- XI. 施設報告 (アドオン)「不整脈アブレーション治療編」
- XII. 施設報告 (アドオン)「心臓植込み型デバイス関連編」
- XIII. 施設報告 (アドオン)「高気圧酸素治療編」
- XIV. 施設報告 (アドオン)「ハイパーサーミア編」
- XV. 施設報告 (アドオン)「医療安全編」
- XVI. 施設報告 (アドオン)「腹膜透析編」

調査統計委員会

石井 宣大 東京慈恵会医科大学附属柏病院
今田 寛人 広島赤十字・原爆病院
内田 隆央 (医) 静正会 三井クリニック
岸上 香織 医療法人 厚生会 福井厚生病院
杉浦 正人 関西医科大学香里病院
塚野 雅幸 長崎みなとメディカルセンター
久行 菜帆 医療法人中央内科クリニック
三春 摩弥 山形大学医学部附属病院

調査統計委員会担当理事

五十嵐 茂幸 福井県済生会病院

I. 「臨床工学技士の業務実態報告 2023」の概要

1. 本報告の目的

業務実態報告は、公益社団法人日本臨床工学技士会定款第2章目的及び事業に基づき、労務に関する報告を行い、実態を把握すること。

2. 報告の範囲及び対象

日本臨床工学技士会 正会員

3. 報告対象数

正会員数 24,426名 (2023年10月3日時点)

4. 報告事項

- 1) 「個人報告」正会員が回答
- 2) 「施設基本報告」施設代表者が回答
- 3) 「施設基本報告」に加え(アドオン)13領域の報告を実施した。

5. 報告の時期

2023年10月2日から11月14日に行った。

6. 報告方法

- 1) 日本臨床工学技士会常任理事宛てに各委員会から必要な報告項目(アドオンを含めて)の提出を依頼した(7月7日)。
- 2) 報告項目の精査を第2回調査・統計委員会で検討した(9月11日)。
- 3) 日本臨床工学技士会代議員へ業務実態報告2023の調査票の確認を依頼した(9月28日)。
- 4) 日本臨床工学技士会 会員情報システム「e-プリバド」内のアンケートを使用してオンラインにより回収する方法を使用した。

7. 有効回答数及び有効回答率

- 1) 個人報告：有効回答数：10,423件，有効回答率43%
- 2) 施設基本報告：有効回答数：1,755件
- 3) 施設報告 (アドオン)「血液浄化編」：有効回答数：1,470件
- 4) 施設報告 (アドオン)「呼吸療法編」：有効回答数：946件
- 5) 施設報告 (アドオン)「在宅呼吸療法編」：有効回答数：480件
- 6) 施設報告 (アドオン)「集中治療編」：有効回答数：466件

- 7) 施設報告 (アドオン)「心臓・血管カテーテル編」:有効回答数:587件
- 8) 施設報告 (アドオン)「内視鏡編」:有効回答数:655件
- 9) 施設報告 (アドオン)「手術室編」:有効回答数:822件
- 10) 施設報告 (アドオン)「不整脈アブレーション治療編」:有効回答数:398件
- 11) 施設報告 (アドオン)「心臓植込み型デバイス関連編」:有効回答数:481件
- 12) 施設報告 (アドオン)「高気圧酸素治療編」:有効回答数:162件
- 13) 施設報告 (アドオン)「ハイパーサーミア編」:有効回答数:89件
- 14) 施設報告 (アドオン)「医療安全編」:有効回答数:785件
- 15) 施設報告 (アドオン)「腹膜透析編」:有効回答数:324件

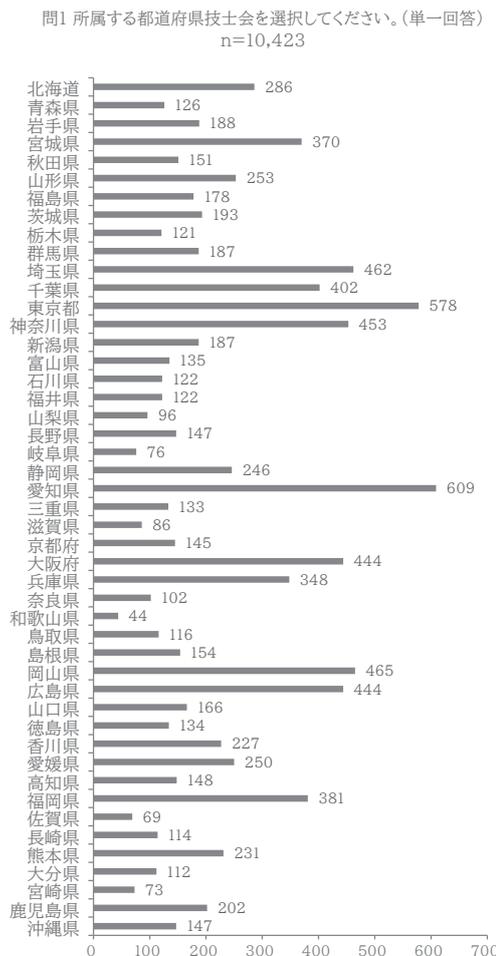
8. 結果の表記

- 1) 選択, 単一回答は回答数を n(%)で表し, 選択複数回答では回答者数を n(%)で表記した.
- 2) 量的変数は, 階級 n(%)を表記した.
- 3) その他は, 代表的な内訳 (n)を表記した.

9. 今後の課題

- 1) 報告に関する問い合わせについて
e-プリバドのシステムでは, ログイン方法, ID・パスワードが不明などで問い合わせが増加した. ログインできない場合などの対処を事前に周知したがさらに検討する.
- 2) 施設報告の重複について
施設報告について, それぞれ施設名で重複が0.5~5.5%発生した. 引き続き施設1回答に制限できる仕組みを検討する. なお, 重複回答は, 施設報告, アドオン報告で同一施設名の回答とした. 重複回答は, 回答日時順で最新の回答を採用した.

回答	n	割合
北海道	286	2.7%
青森県	126	1.2%
岩手県	188	1.8%
宮城県	370	3.5%
秋田県	151	1.4%
山形県	253	2.4%
福島県	178	1.7%
茨城県	193	1.9%
栃木県	121	1.2%
群馬県	187	1.8%
埼玉県	462	4.4%
千葉県	402	3.9%
東京都	578	5.5%
神奈川県	453	4.3%
新潟県	187	1.8%
富山県	135	1.3%
石川県	122	1.2%
福井県	122	1.2%
山梨県	96	0.9%
長野県	147	1.4%
岐阜県	76	0.7%
静岡県	246	2.4%
愛知県	609	5.8%
三重県	133	1.3%
滋賀県	86	0.8%
京都府	145	1.4%
大阪府	444	4.3%
兵庫県	348	3.3%
奈良県	102	1.0%
和歌山県	44	0.4%
鳥取県	116	1.1%
島根県	154	1.5%
岡山県	465	4.5%
広島県	444	4.3%
山口県	166	1.6%
徳島県	134	1.3%
香川県	227	2.2%
愛媛県	250	2.4%
高知県	148	1.4%
福岡県	381	3.7%
佐賀県	69	0.7%
長崎県	114	1.1%
熊本県	231	2.2%
大分県	112	1.1%
宮崎県	73	0.7%
鹿児島県	202	1.9%
沖縄県	147	1.4%
合計	10,423	100.0%



Ⅱ. 個人報告

問1 所属する都道府県技士会を選択してください。

(単一回答)

目的：所属地域別の分析のため

定義：所属する都道府県技士会を選択する。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,423件

問2 性別を選択してください。(単一回答)

目的：性別による分析調査

定義：性別(男・女)を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,423

回答	n	割合
男性	7,833	75.2%
女性	2,590	24.8%
合計	10,423	100.0%

解説

男女構成は、男性75%、女性25%であった。

問2 性別を選択してください。(単一回答) n=10,423



問3 ご自身の年代を選択して下さい。(単一回答)

目的：年代別における分析調査に使用する。

※年齢別の勤務生残率など

定義：満年齢の年代を選択してください。

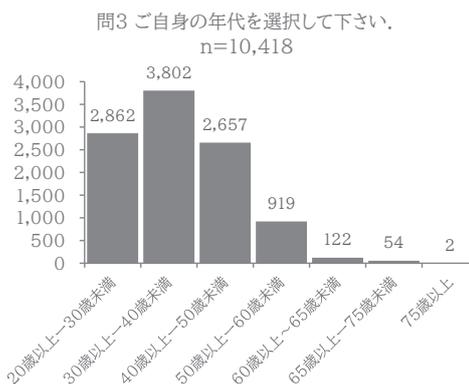
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,418

回答	n	割合
20歳以上～30歳未満	2,862	27.5%
30歳以上～40歳未満	3,802	36.5%
40歳以上～50歳未満	2,657	25.5%
50歳以上～60歳未満	919	8.8%
60歳以上～65歳未満	122	1.2%
65歳以上～75歳未満	54	0.5%
75歳以上	2	0.0%
合計	10,418	100.0%

解説

20歳以上～40歳未満は、全体の64%を占めた。



問4 勤務先について選択して下さい。

※(1)(2)(3)(4)以外を選択された方は、問12に進んでください。(単一回答)

目的：臨床工学技士の就業状況の把握

定義：勤務先の機関、勤務状況を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

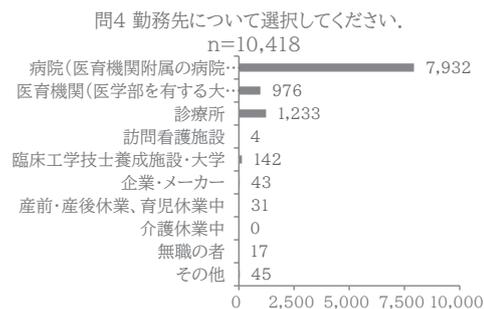
有効回答数：10,423

回答	n	割合
病院(医育機関附属の病院を除く)	7,932	76.1%
医育機関(医学部を有する大学またはその附属機関)	976	9.4%
診療所	1,233	11.8%
訪問看護施設	4	0.0%
臨床工学技士養成施設・大学	142	1.4%
企業・メーカー	43	0.4%
産前・産後休業、育児休業中	31	0.3%
介護休業中	0	0.0%
無職の者	17	0.2%
その他	45	0.4%
合計	10,423	100.0%

その他：クリニック(8)、透析クリニック(7)、大学院生(2)

解説

病院・診療所の医療機関で働く技士が87.9%を占めている。



問5 勤務施設の設置主体を選択してください。(単一回答)

目的：設置主体別の分析調査

定義：所属母体名を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,277

回答	n	割合
国立病院機構	228	2.2%
国立大学法人	609	5.9%
公立大学法人	131	1.3%
労働者健康安全機構	70	0.7%
地域医療機能推進機構	116	1.1%
都道府県	386	3.8%
市町村	805	7.8%
地方独立行政法人	401	3.9%
日赤	417	4.1%
済生会	241	2.3%
徳洲会	706	6.9%
厚生連	268	2.6%
共済組合	122	1.2%
国民健康保険組合	51	0.5%
医療法人	3,935	38.3%
私立学校法人	663	6.5%
私立	320	3.1%
会社	128	1.2%
民医連	106	1.0%
公益社団法人	212	2.1%
その他	362	3.5%
合計	10,277	100.0%
その他：公益社団法人(70),社会福祉法人(68),一般社団法人(45),社会医療法人(24),株式会社(6),個人(4),宗教法人(4),医師会(3)		

問5 勤務施設の設置主体を選択してください。
n=10,277



問6 勤務施設の区分を選択してください。(単一回答)

目的：病院、クリニック勤務の状況確認

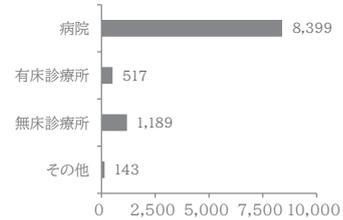
定義：病院、無床・有床診療所を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,248

回答	n	割合
病院	8,399	82.0%
有床診療所	517	5.0%
無床診療所	1,189	11.6%
その他	143	1.4%
合計	10,248	100.0%
その他：大学(12),教育機関(6),専門学校(5),養成校(5),学校(3),クリニック(3)		

問6 勤務施設の区分を選択してください。
n=10,248



問7 許可一般病床数を選択してください。(単一回答)

目的：一般病床数別のCEの分布や解析に使用する。

定義：許可一般病床数を選択してください。 ※無床診療所は0になります。

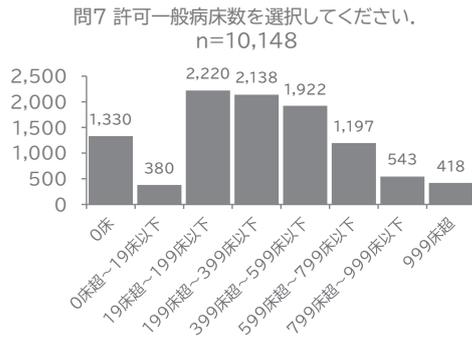
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,148

回答	n	割合
0床	1,330	13.1%
0床超～19床以下	380	3.7%
19床超～199床以下	2,220	21.9%
199床超～399床以下	2,138	21.1%
399床超～599床以下	1,922	18.9%
599床超～799床以下	1,197	11.8%
799床超～999床以下	543	5.4%
999床超	418	4.1%
合計	10,148	100.0%

解説

厚生労働省の医療施設調査によると200床の病院は70%となるが、臨床工学技士の約60%は200床以上の病院で就業している。



設問8 許可療養病床数を選択してください。(単一回答)

目的:療養病床数別のCEの分布や解析に使用する。
定義:許可療養病床数を選択してください。※無床診療所は0になります。

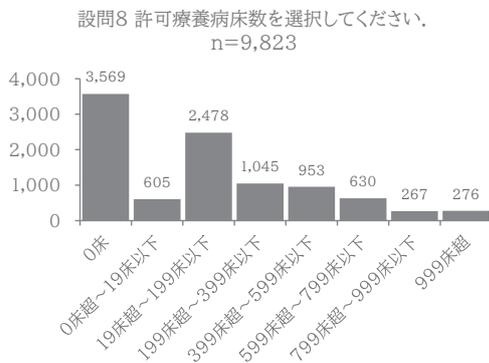
対象:2023年10月1日時点

有効回答数:9,823

回答	n	割合
0床	3,569	36.3%
0床超~19床以下	605	6.2%
19床超~199床以下	2,478	25.2%
199床超~399床以下	1,045	10.6%
399床超~599床以下	953	9.7%
599床超~799床以下	630	6.4%
799床超~999床以下	267	2.7%
999床超	276	2.8%
合計	9,823	100.0%

解説

CEが勤務する医療施設のうち無床診療所が36%と最も多かった。



問9 あなたが専従で従事している業務を教えてください。(単一回答)

目的:臨床工学技士従事業務の調査

定義:あなたが専従で従事する臨床工学技士業務を選択してください。※専従:担当者となっており、その他の業務は、緊急時以外行わないものとする。内視鏡関連業務とは、内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室(センター)で内視鏡等を使用する業務とする。手術領域(周術期、清潔操作、内視鏡外科手術、麻酔支援を含む)での業務とする。専従100%、専任50%以上、兼任50%未満とする。

対象:2023年10月1日時点

有効回答数:10,204

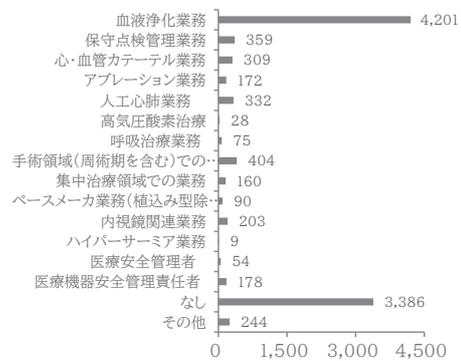
回答	n	割合
血液浄化業務	4,201	41.2%
保守点検管理業務	359	3.5%
心・血管カテーテル業務	309	3.0%
アブレーション業務	172	1.7%
人工心臓業務	332	3.3%
高気圧酸素治療	28	0.3%
呼吸治療業務	75	0.7%
手術領域(周術期を含む)での業務	404	4.0%
集中治療領域での業務	160	1.6%
ペースメーカー業務(植込み型除細動器等含む)	90	0.9%
内視鏡関連業務	203	2.0%
ハイパーサーミア業務	9	0.1%
医療安全管理者	54	0.5%
医療機器安全管理責任者	178	1.7%
なし	3,386	33.2%
その他	244	2.4%
合計	10,204	100.0%

その他:管理業務(19)、専従ではない(12)、教育(11)、事務(10)、ローテーション(9)、部門管理(8)、臨床工学技士養成(5)、学校教育(4)、管理(3)

解説

専従業務では血液浄化業務が41%と最も多かった。

問9 あなたが専従で従事している業務を教えてください。n=10,204



問10 あなたが専任で従事している業務を教えてください。(単一回答)

目的：臨床工学技士従事業務の調査

定義：あなたが専任で従事する臨床工学技士業務を選択してください。※専任：担当者となっており、その他の診療を兼任しても差し支えないものとする。ただし、その就業の少なくとも5割以上、当該業務に従事している必要があるものとする。内視鏡関連業務とは、内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）で内視鏡等を使用する業務とする。手術領域（周術期、清潔操作、内視鏡外科手術、麻酔支援を含む）での業務とする。専従100%、専任50%以上、兼任50%未満とする。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,139

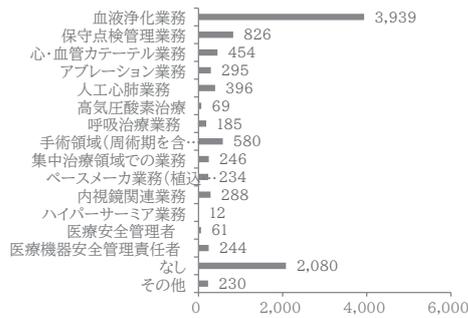
回答	n	割合
血液浄化業務	3,939	38.8%
保守点検管理業務	826	8.1%
心・血管カテーテル業務	454	4.5%
アブレーション業務	295	2.9%
人工心肺業務	396	3.9%
高気圧酸素治療	69	0.7%
呼吸治療業務	185	1.8%
手術領域(周術期を含む)での業務	580	5.7%
集中治療領域での業務	246	2.4%
ペースメーカ業務(植込み型除細動器等含む)	234	2.3%
内視鏡関連業務	288	2.8%
ハイパーサーミア業務	12	0.1%
医療安全管理者	61	0.6%
医療機器安全管理責任者	244	2.4%
なし	2,080	20.5%
その他	230	2.3%
合計	10,139	100.0%

その他：管理業務(18)、専任ではない(10)、ローテーション(8)、教育(6)、部門管理(6)、事務(4)、臨床工学技士養成(3)、学校教育(3)、麻酔補助業務(2)

解説

専任業務では血液浄化業務が38.8%と最も多かった。

問10 あなたが専任で従事している業務を教えてください。n=10,139



問11 あなたが兼任で従事している業務を教えてください。(複数回答)

目的：臨床工学技士従事業務の調査

定義：あなたが兼任で従事する臨床工学技士業務を選択してください。※担当者ではなく、他に5割以上主担当の業務に従事している)内視鏡関連業務とは、内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）で内視鏡等を使用する業務とする。手術領域（周術期、清潔操作、内視鏡外科手術、麻酔支援を含む）での業務とする。専従100%、専任50%以上、兼任50%未満とする。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,060

回答	n	割合
血液浄化業務	4,864	48.3%
保守点検管理業務	5,758	57.2%
心・血管カテーテル業務	2,679	26.6%
アブレーション業務	1,034	10.3%
人工心肺業務	1,287	12.8%
高気圧酸素治療	1,114	11.1%
呼吸治療業務	3,545	35.2%
手術領域(周術期を含む)での業務	2,528	25.1%
集中治療領域での業務	2,620	26.0%
ペースメーカ業務(植込み型除細動器等含む)	2,556	25.4%
内視鏡関連業務	1,289	12.8%
ハイパーサーミア業務	50	0.5%
医療安全管理者	736	7.3%
医療機器安全管理責任者	933	9.3%
なし	1,223	12.2%
その他	307	3.1%
合計	10,060	100.0%

その他：管理業務(18)、医療ガス安全管理責任者(11)、在宅医療(8)、VA管理(7)、医療安全管理(7)、教育(7)、中央材料業務(7)、補助人工心臓(6)、災害医療(5)、術中神経モニタリング(5)

解説

兼任業務としては保守点検管理業務・血液浄化業務・呼吸治療業務となり、保守点検は兼任で実施している病院が多い。

問11 あなたが兼任で従事している業務を教えてください。n=10,060



問12 最終学歴を選択してください。(単一回答)

目的：学歴の分布の調査

定義：最終学歴を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,354

回答	n	割合
高等学校	74	0.7%
専門学校	5,325	51.4%
短大	455	4.4%
大学(学士)	3,979	38.4%
大学(修士)	432	4.2%
大学(博士)	89	0.9%
合計	10,354	100.0%

解説

最終学歴は専門学校が多いが、年々大学(学士)が増加している。

問12 最終学歴を選択してください。
n=10,354



問13 現在の役職として、近いものを選択して下さい。(単一回答)

目的：役職従事割合の調査

定義：役職の近いものを選択する。 ※管理職(管理監督職)とは、厚生労働省の管理監督者の見解では、管理監督者は労働条件の決定その他労務管理について経営者と一体的な立場にある者をいい、労働基準法で定められた労働時間、休憩、休日の制限を受けません。

対象：2023年10月1日時点

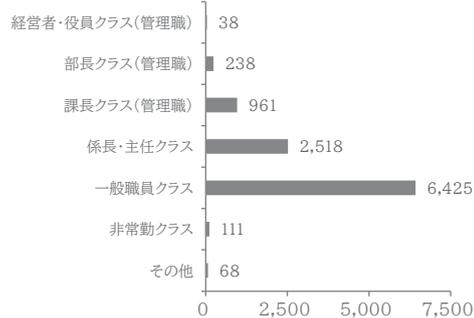
有効回答数：10,359

回答	n	割合
経営者・役員クラス(管理職)	38	0.4%
部長クラス(管理職)	238	2.3%
課長クラス(管理職)	961	9.3%
係長・主任クラス	2,518	24.3%
一般職員クラス	6,425	62.0%
非常勤クラス	111	1.1%
その他	68	0.7%
合計	10,359	100.0%
その他: 副主任(9), 講師(4), 教授(3), 顧問(2), 助教(2), 任期付職員(2), 嘱託職員(2)		

解説

一般職員が約60%と多く、約12%は課長クラス以上の管理職となっている。

問13 現在の役職として、近いものを選択して下さい。n=10,359



問14 あなたの雇用形態を教えてください。(単一回答)

目的：正社員割合の調査

定義：雇用形態

対象：2023年10月1日時点

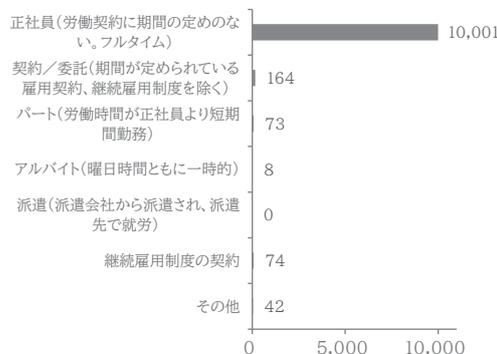
有効回答数：10,362

回答	n	割合
正社員(労働契約に期間の定めのない、フルタイム)	10,001	96.5%
契約/委託(期間が定められている雇用契約、継続雇用制度を除く)	164	1.6%
パート(労働時間が正社員より短期間勤務)	73	0.7%
アルバイト(曜日時間ともに一時的)	8	0.1%
派遣(派遣会社から派遣され、派遣先で就労)	0	0.0%
継続雇用制度の契約	74	0.7%
その他	42	0.4%
合計	10,362	100.0%
その他: 正社員 時短勤務(11), 特例常勤(4), 自営業(3), 臨時(2)		

解説

正社員が97%であった。

問14 あなたの雇用形態を教えてください。
n=10,362



問15 あなたの勤務形態を選択して下さい。(複数回答)

目的：勤務体系の調査

定義：勤務体系・勤務状況を把握する。深夜勤務とは午後10時から午前5時まで(場合によっては午後11時から午前6時まで)とする。

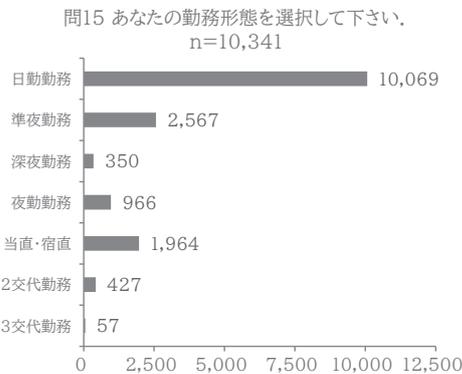
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,341

回答	n	割合
日勤勤務	10,069	97.4%
準夜勤務	2,567	24.8%
深夜勤務	350	3.4%
夜勤勤務	966	9.3%
当直・宿直	1,964	19.0%
2交代勤務	427	4.1%
3交代勤務	57	0.6%
合計	10,341	100.0%

解説

日勤勤務、夜勤勤務、深夜勤務の順に多かった。



問16 残業時間は月平均どのくらいありますか。(単一回答)

目的：残業時間・労働環境の調査

定義：残業時間の月平均値(時間)を選択する

対象：2022年4月1日から2023年3月31日

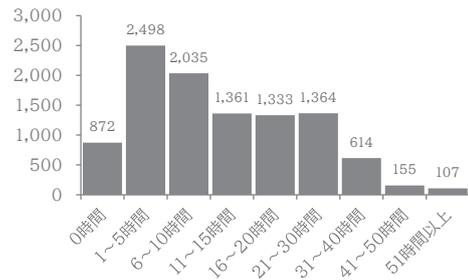
有効回答数：6,969

回答	n	割合
0時間	872	12.5%
1~5時間	2,498	35.8%
6~10時間	2,035	29.2%
11~15時間	1,361	19.5%
16~20時間	1,333	19.1%
21~30時間	1,364	19.6%
31~40時間	614	8.8%
41~50時間	155	2.2%
51時間以上	107	1.5%
合計	6,969	100.0%

解説

1時間~10時間が約65%を占めた。

問16 残業時間は月平均どのくらいありますか。n=6,969



問17 年休取得状況について、1年あたりに何日取得していますか。(単一回答)

目的：労働環境の調査

定義：年休取得日数(有給休暇取得日数)を選択してください。

対象：2022年4月1日から2023年3月31日

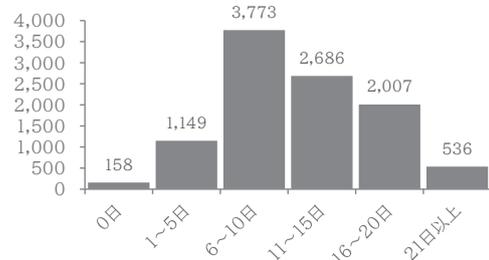
有効回答数：10,309

回答	n	割合
0日	158	1.5%
1~5日	1,149	11.1%
6~10日	3,773	36.6%
11~15日	2,686	26.1%
16~20日	2,007	19.5%
21日以上	536	5.2%
合計	10,309	100.0%

解説

6~10日が37%と最も多かった。

問17 年休取得状況について、1年あたりに何日取得していますか。n=10,309



問18 あなたが一番仕事にやりがいを感じるの
 どんときですか。(複数回答)

目的：労務意欲の調査

定義：仕事でやりがいを感じる項目を選択してください。

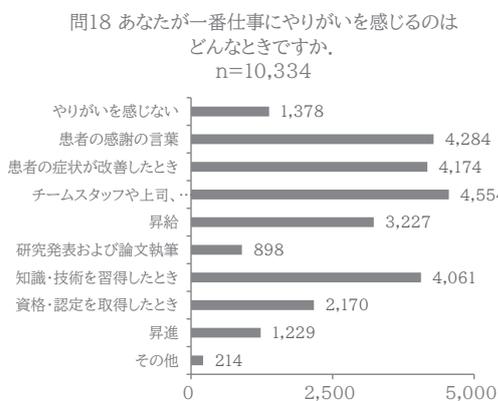
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,334

回答	n	割合
やりがいを感じない	1,378	13.3%
患者の感謝の言葉	4,284	41.5%
患者の症状が改善したとき	4,174	40.4%
チームスタッフや上司、先輩から		
仕事ぶりを認められたとき	4,554	44.1%
昇給	3,227	31.2%
研究発表および論文執筆	898	8.7%
知識・技術を習得したとき	4,061	39.3%
資格・認定を取得したとき	2,170	21.0%
昇進	1,229	11.9%
その他	214	2.1%
合計	10,334	100.0%
その他：学生の成長(12), 部下の成長(11), スタッフの成長(6), 業務改善(6), チーム医療(5), 給与(4), 院外活動での評価(4), 医師に認められた時(3), 他職種との連携(3), 知識・技術が臨床で役に立つとき(3)		

解説

やりがいを感じる時としてチームスタッフや上司、先輩から仕事ぶりを認められたとき、患者の感謝の言葉、患者の症状が改善したときとの回答が約4割であった。



問19 やりがいを感じないと回答した方にお聞きします、やりがいを感じない理由は何ですか。(複数回答)

目的：労務意欲の調査

定義：仕事でやりがいを感じない項目を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：2,782

回答	n	割合
業務量が多い	690	24.8%
残業が多い	281	10.1%
自分の意見が反映されない	667	24.0%
給料が安い	1,693	60.9%
人間関係	1,173	42.2%
希望する業務内容と違う	440	15.8%
その他	261	9.4%
合計	2,782	100.0%
その他：仕事にやりがいを求めている(8), 特になし(7), 業務内容(6), 上司(5), サービス残業(3), わからぬ(3), 兼任業務(3), 臨床工学技士の地位の低さ(3), 人事異動・配属(3), CE が向いていない(3)		

解説

やりがいを感じない理由として給料が安いとの回答が約6割であった。

問19 やりがいを感じないと回答した方にお聞きします、やりがいを感じない理由は何ですか。 n=10,334



問20 現在の給料に満足していますか。満足していない理由は何ですか。(複数回答)

目的：労務意欲・環境の調査

定義：給料への満足度に近いものを選択してください。

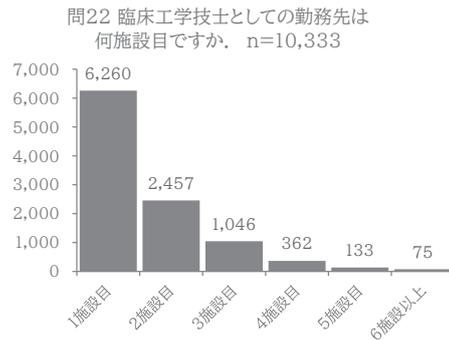
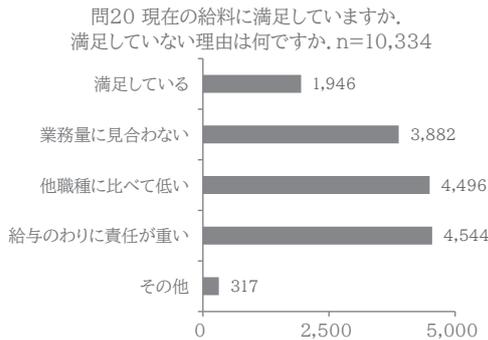
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,298

回答	n	割合
満足している	1,946	18.9%
業務量に見合わない	3,882	37.7%
他職種に比べて低い	4,496	43.7%
給与のわりに責任が重い	4,544	44.1%
その他	317	3.1%
合計	10,298	100.0%
その他：安い(21), 物価高に対応できていない(16), 昇給しない・少ない(11), 残業代がつかない・充分でない(7), 満足はしていないが、適正(5), 業務量と見合わない(5), 基本給が低い(5), もう少し欲しい(4), わからない(4), 資格取得しても給与に反映されない(4)		

解説

現在の給料に関して、給与のわりに責任が重いおよび他職種に比べて低い最も多く44%であった。満足しているは19%であった。



問21 現在、臨床工学技士として転職を考えていますか (単一回答)

目的：労務意欲・環境の調査

定義：転職への意識を選択してください。

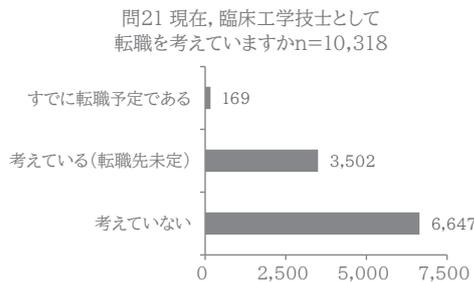
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,318

回答	n	割合
すでに転職予定である	169	1.6%
考えている(転職先未定)	3,502	33.9%
考えていない	6,647	64.4%
合計	10,318	100.0%

解説

約34%がCEとして転職を考えており、約2%は既に転職予定であった。



問22 臨床工学技士としての勤務先は何施設目ですか。(単一回答)

目的：労務意欲・環境の調査

定義：現在までの転職回数を選択してください。

※臨床工学技士としての転職回数とする。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：10,333

回答	n	割合
1施設目	6,260	60.6%
2施設目	2,457	23.8%
3施設目	1,046	10.1%
4施設目	362	3.5%
5施設目	133	1.3%
6施設以上	75	0.7%
合計	10,333	100.0%

解説

臨床工学技士としての勤務先は、1施設目が最も多く61%、次いで2施設目24%、3施設目10%であった。5施設目以上は2%であった。

問23 転職経験のある方のみにお聞きします。現在の職場に移った一番のきっかけは何ですか。(単一回答)

目的：労務意欲・環境の調査

定義：転職に至った一番の理由を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：4,395

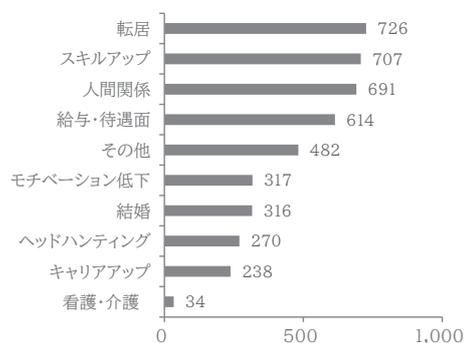
回答	n	割合
転居	726	16.5%
スキルアップ	707	16.1%
人間関係	691	15.7%
給与・待遇面	614	14.0%
モチベーション低下	317	7.2%
結婚	316	7.2%
ヘッドハンティング	270	6.1%
キャリアアップ	238	5.4%
看護・介護	34	0.8%
その他	482	11.0%
合計	4,395	100.0%

その他:異動(19),Uターン(18),育児(14),通勤距離(12),転勤(10),なし(9),定年退職(8),業務内容(7),家庭の事情(7),閉院(6)

解説

現在の職場に移った一番のきっかけは、転居が最も多く17%、次いでスキルアップ16%、人間関係16%、給与・待遇面14%であった。

問23 転職経験のある方のみにお聞きします。現在の職場に移った一番のきっかけは何ですか。n=4,395



問24 現在の職場を選んだ理由・満足しているところは何か。(複数回答)

目的：労務意欲・環境の調査

定義：職場の選択理由・満足理由を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

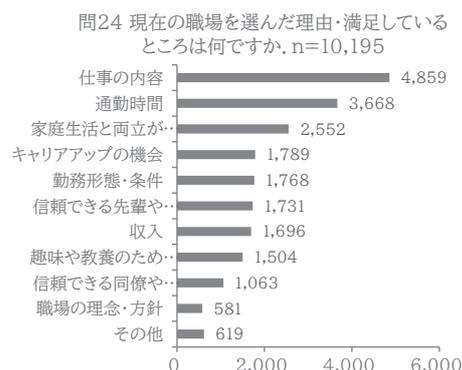
有効回答数：10,195

回答	n	割合
仕事の内容	4,859	47.7%
通勤時間	3,668	36.0%
家庭生活と両立ができる	2,552	25.0%
キャリアアップの機会	1,789	17.5%
勤務形態・条件	1,768	17.3%
信頼できる先輩や上司がいる	1,731	17.0%
収入	1,696	16.6%
趣味や教養のための時間がとれる	1,504	14.8%
信頼できる同僚や後輩がいる	1,063	10.4%
職場の理念・方針	581	5.7%
その他	619	6.1%
合計	10,195	100.0%

その他：特になし(50),Uターン(34),家から近い(28),学校からの紹介(18),たまたま・タイミング(13),福利厚生(10),他に就職先がなかったため(10),紹介(10),実習先(9),満足していない(7)

解説

現在の職場を選んだ理由・満足しているところは、仕事の内容48%が最も高く、次いで通勤時間は36%、家庭生活と両立ができるは25%であった。



問25 あなたが取得している認定資格を教えてください。(複数回答)

目的：認定資格取得者の割合調査

定義：取得認定資格

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：6,694

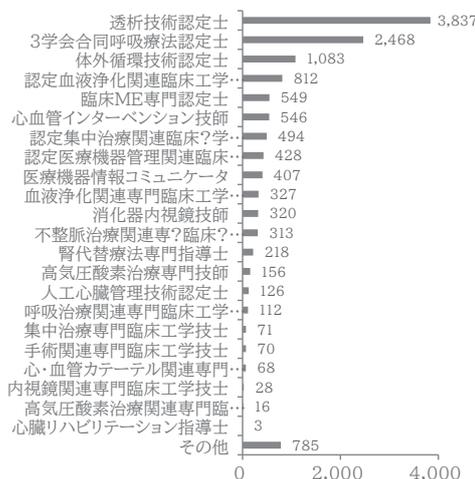
回答	n	割合
透析技術認定士	3,837	57.3%
3学会合同呼吸療法認定士	2,468	36.9%
体外循環技術認定士	1,083	16.2%
認定血液浄化関連臨床工学技士	812	12.1%
臨床ME専門認定士	549	8.2%
心血管インターベンション技師	546	8.2%
認定集中治療関連臨床工学技士	494	7.4%
認定医療機器管理関連臨床工学技士	428	6.4%
医療機器情報コミュニケーター	407	6.1%
血液浄化関連専門臨床工学技士	327	4.9%
消化器内視鏡技師	320	4.8%
不整脈治療関連専門臨床工学技士	313	4.7%
腎代替療法専門指導士	218	3.3%
高気圧酸素治療専門技師	156	2.3%
人工心臓管理技術認定士	126	1.9%
呼吸治療関連専門臨床工学技士	112	1.7%
集中治療専門臨床工学技士	71	1.1%
手術関連専門臨床工学技士	70	1.0%
心・血管カテーテル関連専門臨床工学技士	68	1.0%
内視鏡関連専門臨床工学技士	28	0.4%
高気圧酸素治療関連専門臨床工学技士	16	0.2%
心臓リハビリテーション指導士	3	0.0%
その他	785	11.7%
合計	6,694	100.0%

その他：植え込み型心臓デバイス認定士(134),周術期管理チーム認定臨床工学技士(51),アフレンシス学会認定技士(47),CDR認定(28),認定ホスピタルエンジニア(24),DMAT(22),医療情報技師(17),血管診療技師(15),透析技能検定2級(11),日本アフレンシス学会認定技士(10)

解説

取得している認定資格は、透析技術認定士が最も多く37%であった。次いで3学会合同呼吸療法認定士37%、体外循環技術認定士16%、認定血液浄化関連臨床工学技士12%であった。

問25 あなたが取得している認定資格を教えてください。n=6,694



問26 「臨床工学技士基本業務指針 2010」に分類されていないが、従事している業務があれば記述して下さい。

目的：業務指針に明記されていない臨床工学技士実務業務調査

定義：「臨床工学技士基本業務指針 2010」1) 呼吸治療業務指針, 2) 人工心肺業務指針, 3) 血液浄化業務指針, 4) 手術室業務指針, 5) 集中治療業務指針, 6) 心血管カテーテル業務指針, 7) 高気圧酸素業務指針, 8) ペースメーカー/ICD 業務指針, 9) 医療機器管理業務指針, 10) 内視鏡業務指針, 11) 不整脈治療領域業務指針に分類されていない実務業務を選択してください。(例：情報処理関連業務, 眼科領域関連業務, 電波監理業務, サイバーセキュリティ業務) (複数はカンマで区切ってください)

対象：2023年10月1日時点

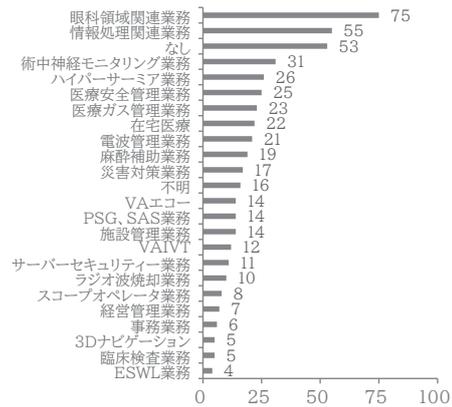
有効回答数：800

回答	n	割合
眼科領域関連業務	75	9.4%
情報処理関連業務	55	6.9%
なし	53	6.6%
術中神経モニタリング業務	31	3.9%
ハイパーサーミア業務	26	3.3%
医療安全管理業務	25	3.1%
医療ガス管理業務	23	2.9%
在宅医療	22	2.8%
電波管理業務	21	2.6%
麻酔補助業務	19	2.4%
災害対策業務	17	2.1%
不明	16	2.0%
VA エコー	14	1.8%
PSG, SAS 業務	14	1.8%
施設管理業務	14	1.8%
VAIVT	12	1.5%
サーバーセキュリティ業務	11	1.4%
ラジオ波焼却業務	10	1.3%
スコープオペレータ業務	8	1.0%
経営管理業務	7	0.9%
事務業務	6	0.8%
3D ナビゲーション	5	0.6%
臨床検査業務	5	0.6%
ESWL 業務	4	0.5%
その他	321	40.1%
合計	800	100.0%

解説

「臨床工学技士基本業務指針 2010」に分類されていない従業務は、眼科領域関連業務が最も多く9%、次いで情報処理関連業務は7%、なしは7%、術中神経モニタリング業務は4%であった。

問26 「臨床工学技士基本業務指針2010」に分類されていないが、従事している業務があれば記述して下さい。(自由記載) n=800



問27 日本臨床工学技士会が2022年度に開催したセミナーや講習会に参加したことがありますか？ (単一回答)

目的：技士会講習会の利用・参加方法の調査

定義：参加の有無・参加方法

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

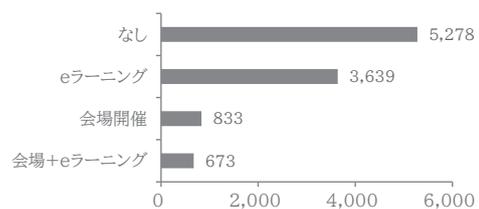
有効回答数：10,423

回答	n	割合
なし	5,278	50.6%
eラーニング	3,639	34.9%
会場開催	833	8.0%
会場+eラーニング	673	6.5%
合計	10,423	100.0%

解説

日本臨床工学技士会が2022年度に開催したセミナーや講習会の参加は、なしが最も多く51%、次いでeラーニング35%、会場開催は8%であった。

問27 日本臨床工学技士会が2022年度に開催したセミナーや講習会に参加したことがありますか？ n=10,423



問28 日本臨床工学技士会に継続して入会している理由を教えてください。(複数回答)

目的：技士会退会抑制のため会員継続理由の調査
 定義：技士会を退会しない理由に近いものを選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

有効回答数：10,423

回答	n	割合
賠償責任保険のため	6,339	60.8%
職能団体として国家資格を守るため	3,953	37.9%
専門・認定臨床工学技士制度取得のため	3,349	32.1%
上司(職場)のすすめ	1,918	18.4%
都道府県技士会とセットなので仕方なく	1,667	16.0%
セミナーを会員価格で受講できるため	1,099	10.5%
「会誌・たより」などの情報を入手するため	685	6.6%
学校のすすめ	168	1.6%
友人のすすめ	28	0.3%
その他	215	2.1%
合計	10,423	100.0%

その他：職場からの強制(20), 告示研修のため(14), 上司命令(7), 臨床工学技士の認知度・地位を上げるため(7), 学会発表に必要なため(6), 特になし(5), 他の病院とのかかわりを持つ場として(5), 情報収集のため(5), 強制(5), などとなく(4)

解説

日本臨床工学技士会に継続して入会している理由は、賠償責任保険のためが最も多く61%、次いで職能団体として国家資格を守るためは38%、専門・認定臨床工学技士制度取得のためは32%であった。

問28 日本臨床工学技士会に継続して入会している理由を教えてください。 n=10,423



問29 日本臨床工学技士会の情報を得たい媒体を選択してください(複数選択)

目的：技士会情報を得る媒体の希望の調査
 定義：技士会情報を得るために希望する媒体を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

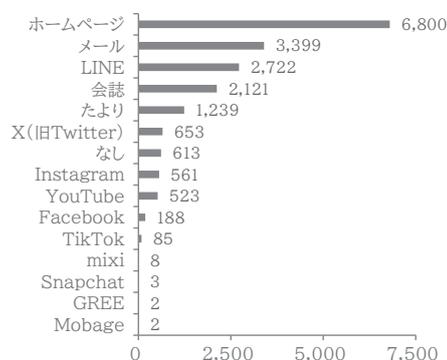
有効回答数：10,423

回答	n	割合
ホームページ	6,800	65.2%
メール	3,399	32.6%
LINE	2,722	26.1%
会誌	2,121	20.3%
たより	1,239	11.9%
X(旧Twitter)	653	6.3%
なし	613	5.9%
Instagram	561	5.4%
YouTube	523	5.0%
Facebook	188	1.8%
TikTok	85	0.8%
mixi	8	0.1%
Snapchat	3	0.0%
GREE	2	0.0%
Mobage	2	0.0%
合計	10,423	100.0%

解説

日本臨床工学技士会の情報を得たい媒体は、ホームページが最も多く65%、次いでメール32%、LINE26%、会誌20%、たより12%であった。

問29 日本臨床工学技士会の情報を得たい媒体を選択してください。 n=10,423



問30 臨床工学技士の業務範囲に伴う告示研修を受講する予定はありますか？(単一回答)

目的：告示研修に対する理解の調査

定義：告示研修受講予定を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

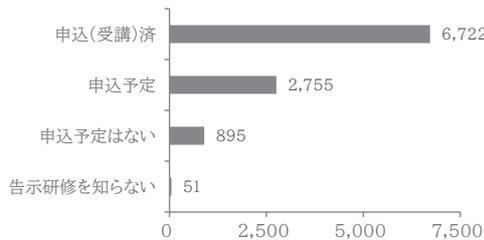
有効回答数：10,423

回答	n	割合
申込(受講)済	6,722	64.5%
申込予定	2,755	26.4%
申込予定はない	895	8.6%
告示研修を知らない	51	0.5%
合計	10,423	100.0%

解説

告示研修を受講する予定は、申込(受講)済が最も多く65%、申込予定26%であった。一方、申込予定はないは8.6%、告示研修を知らないは0.5%であった。

問30 臨床工学技士の業務範囲に伴う告示研修を受講する予定はありますか？ n=10,423



問31 告示研修を受講された(予定含む)方のみお答えください。告示研修の業務で現在実施しているまたは今後実施予定の業務はありますか？(複数回答)

目的：告示研修に対する理解の調査

定義：告示研修を受講しないと実施できない業務のうち、現在実施しているまたは今後実施予定の業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：8,055

回答	n	割合
動脈表在化穿刺業務	3,990	49.5%
なし	2,510	31.2%
心血管カテーテル・電氣的負荷業務	1,577	19.6%
静脈路確保業務	1,293	16.1%
内鏡視下手術視野確保	1,173	14.6%
合計	8,055	100.0%

解説

告示研修の業務で現在実施しているまたは今後実施予定の業務は、動脈表在化穿刺業務が最も多く50%、次いでなしは31%、心血管カテーテル・電氣的負荷業務は20%であった。

問31 告示研修を受講された(予定含む)方のみお答えください。告示研修の業務で現在実施しているまたは今後実施予定の業務はありますか？



問32 当会に対するご要望、ご意見があればご記入下さい。(自由記載)

目的：当会に対する要望、意見を把握する。

定義：当会に対するご要望、ご意見があればご記入下さい。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,008

回答	n	割合
日本/都道府県臨床工学技士会について	116	11.5%
なし	72	7.1%
専門、認定制度について	65	6.4%
セミナー/eラーニングについて	63	6.3%
業務実態報告について	54	5.4%
プリバドについて	52	5.2%
診療報酬について	47	4.7%
ホームページについて	44	4.4%
給料・賃金について	43	4.3%
会誌について	41	4.1%
内視鏡業務について	34	3.4%
業務指針について	25	2.5%
タスク・シフト/シェアについて	23	2.3%
たより	22	2.2%
その他	307	30.5%
合計	1,008	100.0%

日本/都道府県臨床工学技士会について

- ・ 都道府県とセットならば、もっと緊密に都道府県技士会と運営してほしい。
- ・ 都道府県とのセットは無しにして欲しい。
- ・ 都道府県と入会申請や会費など別なのが面倒。保険だけ別に入れるなら退会したい。
- ・ 都道府県と分けて日本臨床工学会のみでいいと思う
- ・ 都道府県の技士会と日本臨床工学技士会の入会を別にしてほしい。
- ・ 都道府県の技士会に入らないといけないのは非常に煩わしく、会費も二重で支払っていることになり、正直なところ都道府県技士会は退会したいとずっと考えている。メリットも少ない。
- ・ 都道府県の技士会のセミナー内容などのレベルが違いすぎる。CE の可能性などを知らない医師が多い
- ・ 都道府県の臨床工学技士会に入会することなく、日本臨床工学技士会のみに入会できる方法も作成してほしい。
- ・ 都道府県技士会とセットにするのをやめてほしい。日本臨床工学技士会のみ在籍したい。
- ・ 都道府県技士会とのセット加入は不必要。どちらかでよいと思う。
- ・ 都道府県技士会と日本臨床工学技士会の同時入会は、やめてほしい。県技士会には、参加しないので会費が無駄である。日本臨床工学技士会のみにして頂きたい。
- ・ 都道府県技士会と日臨工の会費を一緒にしてほしい(合計 12,000 円とか)。都道府県技士会は特になくても良い(一部しか動かない、肩書きだけで実は使えない人がいたり)ところもあるため、解体してブロック単位で作り直して欲しい。都道府県ごとにある意味があまりない。
- ・ 都道府県技士会に加入しなくてもよい制度になってほしい。
- ・ 都道府県技士会に所属しなくてはいけないを撤廃して欲しい。日本臨床工学技士会のみ所属にしたい
- ・ 都道府県技士会の存在意義の発信
- ・ 都道府県技士会は一般社団法人として独立しており、都道府県の技士会に入会していないと本会に入会できないという制度を廃止してほしい。
- ・ 日本臨床工学技士会と各都道府県の技士会の二つが存在する意味がよくわからない。入会している技士の割合が他職種にくらべて少ないように思え、技士会の存在意義も弱い気がする。

専門、認定制度について

- ・ 専門、認定に関する金額の値下げ(値段が高い)
- ・ 専門、認定試験の過去問を出してください。
- ・ 専門、認定取得者の掲載を早く更新して下さい。
- ・ 専門、認定資格取得を意味のある資格にして欲しい。
- ・ 専門、認定臨床工学技士制度の対応が遅い(認定証の発行など)。認定申請料などの納付に対してメール PDF 添付でも構わないので、きちんと「領収証」を発行すべき。
- ・ 専門 ME、認定 ME を作成するなら、何か違いを付けることを検討してほしい。
- ・ 専門や認定士の制度の開始時期がバラバラ。統一して開始してもらいたい。関連学会との連携を強化してほしい。業務実態調査の精度を上げ、少数派の業務にも日の光を当ててほしい。いまはそのような業務が主であり、勉強する場が日本臨床工学技士会には無い。
- ・ 専門認定の合格率が低めなのはレベルの確保として理解できる。しかし試験を受けるためのセミナー受講料と試験受験料が高く負担となっている。また、資格を持っていても給与に関係ないことが多いため、給与に反映されるような働きかけをもっと強く行っていただきたい。
- ・ 専門認定の普及(自己研鑽で終わらせたくないし、終わってほしくもない)。
- ・ 専門認定士などの費用が高すぎる
- ・ 専門認定士の講習会のテキストが PDF になったが、製本に戻してほしい。もし戻せないならその分金額を安くしてほしい、印刷するのは手間でお金も掛かるので。
- ・ 専門分野の講習だけでなく、コーチングや接遇、統計処理などの講習会も計画してほしい
- ・ 専門分野の講習会をたくさん企画してほしい
- ・ 専門臨床工学技士などの資格が、実務や医療加算に反映されるような仕組みを作って欲しい。
- ・ 専門臨床工学技士などの認定資格を診療報酬の算定条件に組み込んでください。現状では自己研鑽の意味合いしかありません。

セミナー/e-ラーニングについて

- ・ セミナー、講習会、更新のための講習会などの費用を安くしていただきたい。安くすることで気軽に受講しやすくなり、認定資格なども取得しやすくなると思います。団体全体のスキルアップを考えるなら是非お願いします
- ・ セミナーなどの勉強会の参加費が高額で参加に躊躇してしまう時があるため技士会から何らかの助成あるいは支援をお願い致します。
- ・ セミナーなどをもっと積極的に行ってほしい。またメール等による通知を頻回に行ってほしい
- ・ セミナーなど遠方のため参加できないため、e ラーニングを増やしてほしいです。
- ・ セミナーの料金および告示研修の料金が高すぎます。検討をお願いします。
- ・ セミナーや zoom などでのネットでの勉強する機会の掲示をもっと増やしてほしい
- ・ セミナーや告示研修が、出産や乳幼児を育児中の女性には参加がとても厳しい。出席したい、研修を受けたい気持ちがあっても核家族が多く、実際は無理な状況で結局仕事(キャリアアップ含む)を諦めるしかないと感じることが多いので、子育て中の女性 ME にも参加しやすい形態をとってほしい。
- ・ 学会等で e ラーニングで参加できる環境をこれからも続けてほしい
- ・ 学会費・e-ラーニング受講費を安くしてほしい。専門臨床工学技士制度が難易度の割に、社会的メリットを感じられない。
- ・ 学生実習実施施設の実習指導者講習会に関して拘束時間が非常に長く受講のハードルとなっている。隙間時間を活用できる E ラーニングのスタイルなどを用い柔軟に受講できる形が理想的と思います。
- ・ 給料が安い。働きたいと思う人がいなくなると思う。これからのセミナー講習会も会場+e ラーニングの形または e ラーニングを行うことをやめないでいただきたい(出張・旅費などの削減が可能のため)。
- ・ 現地開催は旅費等の問題があるため e-ラーニング等の Web 開催を多く希望します。
- ・ 今後も技士会、セミナーを e-ラーニング開催を続けてほしい

業務実態報告について

- この調査は、個人情報または個人を特定できる情報が第三者に判るものではありませんか、この調査に関して、個人的に指摘されることがありました。
- e-プリバド内のアンケートの場所がわかりにくい。調査ごとにログイン・ログアウトするのも回答しにくい。
- アンケートの単純集計ではなく解析結果を示してほしい。折角の調査はもっと利用できる。
- このようなアンケート調査行うのもいいが、職能団体として会員が困って連絡しているのに対し、返事もなにもないのは不誠実である
- この実態調査のように数多くの臨床工学技士が一丸となれる場を提供できるのが日本臨床工学技士会です。故に、全国の臨床工学技士からドラマやドキュメンタリーで流れてもおかしくないようなエピソードなどをアンケート形式で収集して、広報に役立てるなどの手を次々と打って欲しいと思います。
- こんな調査毎年やる必要ない。任意と言いながら施設ごとに回答してない人数を技士会長等に知らされて無理やり回答させられる調査に何の意味があるのか疑問。
- ぜひ、実態調査の結果を私たちの地位向上や、診療報酬に繋がるように頑張ってください。
- ホームページ(プリバド)を使いやすくしてください。ログインして、実態調査ページを開き再度ログインは意味が分からない。ユーザビリティが低すぎて、回答意欲がその時点でそがれます。
- 会員情報の登録を日臨工と各都道府県を共通にして欲しいです。事務局をしていますが、会員の個人情報を管理するの紛失や漏洩の心配があり非常に大変です。業務実態調査の回答をすると、アマゾンギフトを抽選であげるなどをすれば回答率が上がるのではないのでしょうか。
- アンケートが長い。回答しにくい。
- アンケートの単純集計ではなく解析結果を示してほしい。折角の調査はもっと利用できる。
- アンケートばかりで、実現してないことが多過ぎます。特に待遇改善と謳っていますが10年以上変化なしです。
- アンケート回収率が悪く役員同士で情報を共有することはいいが、職場でアンケートを答えた、答えていないと名を出して対応を求めていくのは違うのではないかと思う。アンケートはあくまでも任意のものであるはずで、今一度プライバシーポリシーを技士会役員で確認していただきたい。またばやけているプライバシーポリシーのページの改定が必要だと思う。
- アンケート結果を集計するだけなら、つまらないと思う。実際にブラック、アウトなことやらされている技士を守ってください。
- アンケート項目(施設、血液浄化など)が多く、入力が大変です。数年に1回くらいの頻度にならないのでしょうか？

e-プリバドについて

- 「プリバド」はわかりにくいので、臨床工学技士に関連・想起できる名前へ変更をお願いします。
- e-プリバドが以前より見難い、使いづらい。今後も日本臨床工学技士会をハイブリッド形式で開催してほしい
- e-プリバドが使いにくい
- e-プリバドが使いにくい、ぱっと見てわかりにくいです。
- e-プリバドが使いにくい。改善してほしい。
- e-プリバドシステムにログイン後の案内ページがわかりにくい
- e-プリバドなどを利用し、日本臨床工学技士会と都道府県臨床工学技士会を合わせた会員管理(会費支払いを含む)の拡充を求めます
- e-プリバドのTOP画面が見にくい。今回のアンケートも項目を探してたり着いた。アンケート案内から直接開くようにしてほしい。
- e-プリバド見にくい
- e-プリバド内のアンケートの場所がわかりにくい。調査ごとにログイン・ログアウトするのも回答しにくい。
- セミナーの受講履歴や関連学会の参加履歴などをプリバド内で閲覧できかつ各種更新の手続きをWEBのみで完了できるようにしてほしい。更新手続きが面倒で新たに資格を取得しようとするモチベーションが上がらません。
- たよりや抄録号以外の会誌はプリバドのデータだけで良いです。今まで業務に関して問い合わせのあったことはすべてHP上に回答とともに出してほしい。医行為や独占業務の越権行為にかかわる問い合わせ内容は特に詳しく細かく明記してほしい。周術期管理チーム臨床工学技士を認定資格の一つに入れてほしい。
- たよりをネットで見られるようにしてほしい。コスト削減になるし、e-プリバド利用率も上がると思われる。
- プリバドが medikiki になってから使いづらい。前のほうが良かった。
- プリバドが改悪されたので前回の形態に戻してほしい。認定資格の指定講習会のテキストを本に戻してほしい(またはデータを本を選ぶようにしてほしい)

診療報酬について

- アンケート内容で、次回以降に労働環境把握のためにぜひ追加して頂きたい内容がありますのでご検討いただければ幸いです。①勤務時間帯、休憩時間、②各種手当(手術手当、危険手当、放射線手当、資格手当(国家資格以外の)など、金額幅含め)、③基本給や年代年収など、考える目的としては地位向上などではありませんが、現在の設問から今少し踏み込んだ方が良くかと思っています。全体的な料金体系がわからないと「賃金が安い」は個人の解釈で比較対処が変わってきますし、最低賃金の影響なども考えられます。手当に関しましても各法人での考えはあるかと思いますが、ある所ない所で見えている方が良くかと思っています。特に認定資格などの取得はキャリアアップにつながるのかの基準としてもなり得るものかと思いますが、診療報酬に関わるものが少ないため法人が消極的になることも考えられます。個人の自己研鑽としての位置が強いかと思っています。時代的にも個人の時間を優先になる現代で、自身の時間を削いで勉強する人が減っているように感じていますので頑張りに答えられるように地位向上を全体で上げられるとうれしく思います。私は労働組合に加入してしまっていて臨床工学技士の全体像が知れればと興味もありまして提案させていただきました。臨床工学技士会の運営に感謝申し上げます。
- ぜひ、実態調査の結果を私たちの地位向上や、診療報酬に繋がるように頑張ってください。
- ただ持っているだけの資格になってしまうので、専門資格 認定資格の方々に診療報酬をつけてほしい。
- フットケア業務に関して、臨床工学技士が実施可能な業務範囲を示して欲しい。また、透析時運動指導等加算に関して臨床工学技士が実施しても、診療報酬の加算が取れるようにして欲しい。
- プリバドが使いにくくなった。複数回ログインし直すのも意味が分からない。消化器内視鏡の介助がどこまで合法でどこからが違法なのか明確にほしい(生検はダメなのか?)。除細動器のショックを落とす事を合法にほしい。新しい業務指針を早く公表してほしい。現在の日臨工の専門臨床工学技士制度では国・厚生労働省からは評価されない、診療報酬に結びつかないのではないのか？
- 運動療法を患者に行っているのに、透析時運動指導等加算に臨床工学技士が入っていないのはモチベーションが下がるし、臨床工

学技士の地位が低いと感じる。給料が安く評価もされないのに、最近の臨床工学技士の認定制度はお金ばかりかかる感じしかない。認定制度で理事長が他団体と連携してと言っていたが、透析技術認定士は連携しない団体なのか？診療報酬も上がる見込みがないし、将来性が見い出せず医療を離れる人が出ると思う。

- ・各認定資格の診療報酬化、認定資格保持者が他者より認識できる様にしていきたい
- ・業務に関して診療報酬をつける。医師の負担軽減のみでは、なかなか人員拡大につながってこない。
- ・業務指針を改訂するということがいつになったら出ますか？認定資格について、医師はほとんど知らず何それ状態で、給料も上がらない施設基準にもならないのに、そんな資格なんの意味があるのという言葉をよくいただくのですが、いつになったら資格の認知度、診療報酬への影響はありますか？エビデンスを使って働きかけるのが技士会の役割の一つではないのですか？
- ・業務実態に則した法改正と業務の診療報酬化
- ・在宅医療機器に対する何かしらの診療報酬の算定、
- ・在宅領域への業務介入が工学技士の将来を考えると必要と考えています。何か工学技士が積極的に在宅医療への介入が出来るよう診療報酬や制度へのPRを行って頂くと工学技士の幅が広がっていくのではないかと思います。
- ・集中治療室業務は重症度も高く、業務量も業務の責任感も他職種との関わりも大きい。告示研修受講後はなおさらモチベーションアップの目的で診療報酬に直結する形で認定・専門臨床工学技士資格所得者の区分を提案してもらいたい。
- ・将来の技士の向かう先が分からない。認定等の資格はあるのは良いが、診療報酬に結びつくなどが無ければ、評価としては自己研鑽、自己満足と取られるだけで病院としては看護認定、特定者のように認められてはもらえないのが現状です。この状態が続くのであれば、施設として技士の絶対的な必要性が見出せず、「臨床工学技士」自体の存在すら危ういのではないかも心配しています。

ホームページについて

- ・ホームページのe-プリバドがとても使いづらいので、改善していただきたい。
- ・ホームページの拡充および活用のし易さ
- ・ホームページの研修会情報へのアクセスがわかりにくい
- ・ホームページの内容がわかりにくい プリバド内が単調でわかりにくい 全体的に表示や表現が古臭い 今どきの様々なホームページを参考にし、見る人のことを考えるべき
- ・ホームページをもっと使いやすく、重要な項目を見やすく、情報の一元化、関連団体のリンクの充実を図ってください。
- ・ホームページを使いやすくしてほしい。プリバドの再度ログイン等の無駄をなくしてほしい
- ・ホームページ等のアップデートが遅い。情報の更新が、あまりない。
- ・会誌、たよりの配布を中止し、PDFの配信やホームページ上で閲覧できるようにしてもらいたい。
- ・会誌やたよりの紙媒体は希望者のみ又は休止し、ホームページやSNSでもよいと思います。
- ・会誌等は紙媒体ではなくデータにしてほしい。ホームページのレイアウトなどわかりにくいところがあったりする。
- ・会報誌はゴミになり、エコではありません。ホームページでよいです。その変わり年間費や、参加費を安くしてください。
- ・技士会の冊子が定期的に届くが、紙媒体ではなくホームページやメールなどでpdf化したファイルのリンクなどを送信して欲しい人はそこからダウンロードできるようにしてほしい。紙媒体でいまままで通り欲しい人やデータのみで良い人の希望を取って欲しい。
- ・技士会の冊子が定期的に届くが、紙媒体ではなくホームページやメールなどでpdf化したファイルのリンクなどを送信して欲しい人はそこからダウンロードできるようにしてほしい。紙媒体でいまままで通り欲しい人やデータのみで良い人の希望を取って欲しい。
- ・資格更新や試験、eラーニングの受講料が高すぎる ホームページの情報が少ない、各都道府県との関係性が低い
- ・情報発信も多くしてほしい。たよりだけでは不足している。ホームページでの情報発信やセミナー等の情報掲載やみやすさを重視してほしい。
- ・全員にたよりや会誌などを送らなくてよい。ホームページに掲載やプロフィールから可否の選択をできるとよい。各施設に一冊は必要ですが、

給料・賃金について

- ・5年後、10年後を見据えたビジョンを示していただきたい。少子化によるCEのなり手不足。適正業務量と給与改善。
- ・インフレや円高による生活費の高騰があり、給与も上がらないため学会への参加費や研修の受講費、資格の受験費、認定費など日本臨床工学技士会への参加に関わる費用を抑えてほしい。
- ・さらに給与を上げる方向で動いてほしい
- ・とにかく給与が安い。看護助手が技士より給与が安定しているし転職先が沢山あり有利である。技士はなぜ年収300万円前後なのか。まだまだ技士の地位は低いですね。
- ・技士への給与をアップしてほしい
- ・給与が見合わないので、多くして欲しい
- ・業務が責任重い仕事に対して給与が安いのでどうにかして欲しいです。
- ・業務拡大を進める分、給与引き上げ等の待遇改善も並行して欲しい。法改正に伴う業務拡大以前から既に他職種、業務内容に比べて給与や待遇の不釣り合いが目立つ。
- ・告示研修費用の軽減 臨床工学技士全体の給与の上昇 手当の拡充(危険手当など)
- ・今後、臨床工学技士の院内での地位確立のために独占業務の確保。他の医療技術職と遜色ない給与形態、賃上げ。
- ・残業時間、給与等アンケートで把握するだけでは、日雇工様はどうしていきたいかが分からない。
- ・物価高騰のため、全国的に賃金値上げを呼びかけてほしい。
- ・臨床工学技士だけでなく、コメディカル全体の賃金上昇
- ・臨床工学技士としての価値、認定資格取得者の価値を医療業界で上げて欲しい。また、臨床工学技士としての賃金の底上げ。

会誌について

- ・会誌やたよりの紙媒体は希望者のみ又は休止し、ホームページやSNSでもよいと思います。
- ・会誌を是非、PDFでダウンロードできるようにしてほしい。紙ベースはいらない。
- ・会誌を電子データにしてダウンロード式にしてほしい。製本、輸送コスト削減による会費の削減。人工心肺関連の専門試験制度を確立してほしい。
- ・会誌等は紙媒体ではなくデータにしてほしい。ホームページのレイアウトなどわかりにくいところがあったりする。
- ・各種セミナーの受講費が高い、セミナーのテキストがPDFでダウンロードになったのに何故受講費が変わらないのか疑問。会誌は電子媒体で良いのでそこは選択させていただきたい、その分の費用を別に当てて欲しい。e-プリバドの使いにくさの改善(これに関しては要望も多いと思うのでせめてそれに対する回答)。

- ・ 学会誌や年会誌, 案内などは施設が希望する数を郵送依頼したいです. 印刷代やペーパー削減へ. 院内でも見る人と全く見ずにゴミ箱行きになるひとがいます.
- ・ 紙ベースの学会誌や広報はいらない. SDGsを率先して欲しい. 入会しているメリットがわかりにくい.
- ・ 紙媒体での会誌の廃止
- ・ 全員にたよりや会誌などを送らなくてよい. ホームページに掲載やプロフィールから可否の選択をできるとよい. 各施設に一冊は必要ですが.
- ・ 定期のお便りや学会誌など施設にひとつにして紙媒体を減らすべき.
- ・ 日本臨床工学技士会誌などペーパーベースのものを廃止もしくは施設1部と減少させてもいいのではないかなと思う.
- ・ 年会費は維持でも良いので, 学会参加費用の削減をお願いしたいです. また会誌の紙媒体や郵送をもうやめて良いと思う. 本当に見たい場合はホームページにもあるため, 資源とコストの削減を行なってほしい.
- ・ 年会費をもう少し安くしてほしい. 技士会誌も PDF で送ってくれるだけでよい.
- ・ 夫婦で日臨工所属の場合, 会誌は1冊でお願いしたいです.
- ・ 会誌が面白くない. 知識や技術のコラム, 海外の情報等もあれば良いと思います
- ・ 会誌などの郵送をやめてデジタル化して欲しい, プリバドが使いにくい
- ・ 会誌などを紙で郵送ではなく LINE やメール等で管理してください. 印刷費の無駄です.

内視鏡業務について

- ・ 消化器内視鏡の介助業務が認められるよう働きかけをお願いします.
- ・ 消化器内視鏡業務において, 先の法改正で合法化とならなかった件について. ネットの個人サイトでは, 学会に問い合わせた結果「完全に自己責任の下行うことである. 学会は関与しないし, 裁判になった際は, 有罪になるだろう」と返答を得たという記事がありました. 事実であれば正式に学会としてアナウンスすべきであるし, 賠償保険の適応であるかどうかの明確化も必要であると考えます. また, スコピスト業務では, やはりグレーゾーンと思われる行為をやらざるをえない状況が知りうる限りいくつかの施設で発生しており課題になっていると聞きます. これは法改正前時点で十分に想定できた状況であると考えます. どこまでが良しとされているのかをまとめた業務指針のようなものが必要ではないか? いつまでもグレーをグレーとしておくのは, いかかなものかと考えます.
- ・ 消化器内視鏡業務において臨床工学技士が実施できる行為(生検, 処置具操作, 色素散布など)を確立してほしい.
- ・ 消化器内視鏡業務の介助業務を是非, 臨床工学技士で施行出来る様をお願いします.
- ・ 消化器内視鏡業務の業務拡大に向けて, 技士会としての働きかけを継続してお願いします.
- ・ 静脈路確保が OP 室限定であることを解除して欲しい. 内視鏡室でも静脈路確保できるようにになれば CE の価値が上がります.
- ・ 独占業務の獲得に力を入れてほしい. また, 内視鏡下術視野確保では硬性鏡だったのがっかりした. 現場で実用性がない. 軟性鏡のほうが件数も多いし参加のハードルも低く, 人員としても必要とされると思う.
- ・ 内視鏡の生検が臨床検査技師にのみ認められ, 他の介助(スネアなど)も違法と厚生省が判断したことを訂正するように働いて欲しい. (業務に制限がかかってしまって大変困っている)
- ・ 内視鏡関連業務に従事しています. 内視鏡関連業務で行う咽頭麻酔や各種薬剤を投与するための静脈路確保など, 現時点では臨床工学技士ができない部分が多く, 業務の妨げになっているように感じます. 今後のタスク・シフトにおいて, これらの部分が技士でできるようになれば大変うれしく思います.
- ・ 内視鏡業務, IVR 業務等に関して法的にグレーな部分について, 法整備を進めてほしい.
- ・ 内視鏡業務がタスク・シフトにて業務拡大できるようにお願いします.
- ・ 内視鏡業務でできることが少ない. 軟性内視鏡も業務拡大してほしい
- ・ 内視鏡業務における業務範囲の拡充
- ・ 内視鏡業務に関して法律上で業務可能にして欲しい
- ・ 内視鏡業務に従事していますが, 一部の処置具だけでもいいので, 処置具の操作を CE が行ってもよいと, 認められるように早期に働きかけて欲しい

業務指針について

- ・ 業務指針改定の遅れ ②鳥取中央病院のカテ業務等, 事例があった際, 技士会としての見解や声明が欲しい
- ・ インボイス制度対応の領収書発行の対応, 告示研修で示される業務の技士会推奨の業務指針の作成とこれから業務確立する施設への助言的資料作成
- ・ プリバドが使いにくくなった. 複数回ログインし直すのも意味が分からない. 消化器内視鏡の介助がどこまで合法でどこからが違法なのか明確にしてほしい(生検はダメなのか? 等). 除細動器のショックを落とす事を合法にしてほしい. 新しい業務指針を早く公表してほしい. 現在の日臨工の専門臨床工学技士制度では国・厚生労働省からは評価されない, 診療報酬に結びつかないのではないか?
- ・ プリバドの改修早くしてください. 業務指針の改訂も急いでほしい. サイバーセキュリティ分野での業務開拓を頑張してほしい. 常に10年, 20年後を見据えて動いてほしい(特に透析領域での業務が無くなっていくことを見据えて).
- ・ 基本業務指針の改定, 特に医療機器管理業務分野で, 病院機能評価などに合わせてほしい
- ・ 鏡視下手術における手技的介入など, 業務指針のあり方を現場に即して作成してほしいです. これからもよろしくお願いします.
- ・ 業務指針が2010年で止まっているので5年に1回は改版してほしい.
- ・ 業務指針が古く, 新しくする必要があると考えます. 現場と指針が合っていないように感じます.
- ・ 業務指針に記載されている内容の解釈を問い合わせられる様なフォームがあれば便利だと思います.
- ・ 業務指針を改訂するということがいつになったら出ますか? 認定資格について, 医師はほとんど知らず何それ状態で, 給料も上がらない施設基準にもならないのに, そんな資格なんの意味があるのかという言葉をよくいただくのですが, いつになったら資格の認知度, 診療報酬への影響はありますか? エビデンスを使って働きかけるのが技士会の役割の一つではないのですか?
- ・ 現状に沿った業務指針の改定
- ・ 告示研修の業務の勉強会実施, 意見交換会実施, 業務指針の提示を行って欲しい
- ・ 術中神経モニタリングの業務指針の作成をお願いします.
- ・ 他団体に比較し, 理事や事務局の体制が弱いため, 一部の役員の意見が強く感じます. 本来事務局サイドで完結するような事案も時間がかかっているようです. ボランティアばかりの理事等に頼るだけでなく, 定年退職や60歳で役職定年された有能な CE の就職先を確保する目的も含めた専従できるスタッフの増員による運営体制の強化を検討いただきたいです. 医師の負担軽減のためのタスクシフトシェア, 法改正における CE の業務範囲についてですが, 臨床工学技士会の見解で業務指針改定などどう

するか判断するのではなく、現状のままだと臨床現場で業務が出来なくなる恐れがある旨も含め厚労省に相談し意見を求めたりすることで国や国民にとって良い方向に進むよう対応いただきたい。

タスク・シフト/シェアについて

- ・ グレーゾーンの業務を洗い出し、早急に日臨工で声明を出していただきたいです。スコープオペレーター業務などでも、スコープを保持するだけだとタスク・シフトにならないという医師もいるため、出来る業務の幅を広げて頂きたい。
- ・ タスクシェア、シフトで業務を拡大していくためにも診療報酬加算の取得を切に願います。タスクシェアだけでも患者の安全へ大きく貢献することができると思います。技士会として、実績の指標をまとめることも必要だと思います。ご検討宜しく願います。
- ・ タスク・シフト(移管)・タスクシェア(共同)をされる側だけでなく、する側も考えてほしい。
- ・ タスク・シフトで、透析室シャント管理加算(エコー)、静脈路確保業務(手術室以外でも)、筋注、皮下注、心臓カテーテル業務(清潔野セカンド, IVAS), MEP 等の針電極使用等の追加
- ・ タスク・シフトで CE に業務が移管されることが非常に多いのですが、増員もなく休み制限をされて業務拡大しています。事実として困ることも多く悩んでいるのですが、このようなことでは職員の健康や医療の安全、組織力、スキルに影響すると考えています。業務拡大の際は、範囲や業務量に見合った増員を必須とするなど、施設側に向けた規制が必要と考えます。
- ・ タスク・シフトにてグレーとされてきた業務の可否が少し明確になりましたが、CE の医療行為に関する報道(医師法に抵触している?)も、まだまだあり、ありこのグレー業務の可否を明確にすることが CE の未来のためと考えています。CE を安売りしないで業務を確実に自分たちの分野とするのであれば職能団体として業務と認め推進することも必要ではないでしょうか?できないのであれば不可と発信することも必要だと思います。
- ・ タスク・シフトに対する給与の提言もしくは指針
- ・ タスク・シフトの煽りを受けて、給与面で全く変化がないのに仕事量だけが増えている現状が少しでも良くなれば幸いです。
- ・ タスク・シフトの適正な実施(他職種との業務の取り合いではなく、社会的に何を臨床工学技士が担うべきかお示しください)
- ・ タスク・シフト内容の増加、できる業務を拡大してほしい。このままでは、法律に書いていないからできないとされる業務が増える。
- ・ もっとタスクシェアを進めるべき。
- ・ 業務範囲に伴う告示研修の後付け感が強い。タスク・シフトにつながる研修内容を今後に期待します。
- ・ 現在内視鏡業務に従事しており、臨床工学技士免許的には生検鉗子操作などをはじめとした介助業務がグレーであるため、臨床工学技士の業務として認められるように将来的に少してほしい。また、手術における直接介助業務に参入している施設も増えてきていると聞き、当院ではすでに直接介助業務をおこなっているが、臨床工学技士が介入することでタスクシェア・タスクシフトの効果は十分に上げられると思うので、清潔介助業務についても更に法改正によって臨床工学技士の活躍の場が広がっていくことを期待したい。
- ・ 告示研修によるタスク・シフトへの給料増額をこころより希望します。
- ・ 今回の告示研修でもあったが、もっと現場を見て知ってからタスク・シフト調整していただきたいかった。告示研修を受けたところで意味が無い様に感じる。

たより

- ・ いつもありがとうございます。「日臨工たより」はぼちぼち卒業し、LINE 等にシフトする時期と考えます。
- ・ コスト削減のため紙媒体(印刷・送付代、たよりや学会誌)を減らす。学術集会の抄録は透析医学会等のようにアプリ化する事は難しいでしょうか。/ホームページへこまめにアクセスはしないので、メールでのアナウンスが分かりやすい。(試験の案内など)
- ・ たよりなどはデジタル媒体で配信してくれればいいので、郵送料などを削減する事で、年会費がもう少しでも安くなりませんか?
- ・ たよりの発行は必要ない。また講習会や資格更新の際の金を、いかなる理由があっても返金対応しないのは何故か理解できない。会員を大事にしているのであれば返金対応など柔軟な対応が必要だと思っている。
- ・ たよりや学会誌などは、紙ではなく WEB 運用にしてほしい
- ・ たよりや学会誌の紙媒体をやめて、オンライン化してほしい
- ・ たよりや学会誌をペーパーレスにしてほしい
- ・ たよりや抄録号以外の会誌はプリバドのデータだけで良いです。今まで業務に関して問い合わせのあったことはすべて HP 上に回答とともに出してほしい。医行為や独占業務の越権行為にかかわる問い合わせ内容は特に詳しく細かく明記してほしい。周術期管理チーム臨床工学技士を認定資格の一つに入れてほしい。
- ・ たよりをネットで見られるようにしてほしい。コスト削減になるし、e プリバド利用率も上がると思われる。
- ・ たよりを電子媒体に移行してほしい。材料の無駄を感じる。
- ・ 会誌、たよりの配布を中止し、PDF の配信やホームページ上で閲覧できるようにしてもらいたい。
- ・ 会誌、たよりを電子化して頂けると嵩張らないので助かる
- ・ 会誌・たよりなどを紙媒体で郵送するのをやめてほしい。メールにて発行した旨を通知してプリバドにログインして閲覧する形へ変更してほしい。
- ・ 会誌やたよりの紙媒体は希望者のみ又は休止し、ホームページや SNS でもよいと思います。
- ・ 紙ベースのたよりは不要だと思います。その分年会費を安くして頂ければ、会員数は増えると思います。また、認定の更新に多額の費用が必要となりますので、更新費用は安くして頂ければ助かります。今後も日本臨床工学技士会は WEB 開催して頂ければ幸いです。他県への交通宿泊費、業務の都合、認定更新ポイント取得のため。検討して頂ければ幸いです。

Ⅲ. 施設基本報告

問2 所属施設の所在地, 問3 氏名は省略する.

問1 所属する都道府県技士会を選択してください. (単一回答)

目的: 所属地域別の分析のため.

定義: 所属する都道府県技士会を選択する.

対象: 2023年10月1日時点

回答数: 1,845

施設名重複: 90 (4.9%)

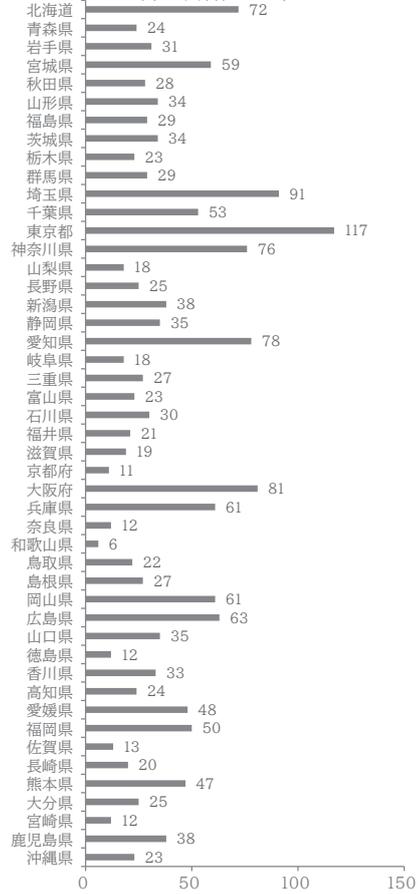
有効回答数: 1,756

回答	n	割合
北海道	72	4.1%
青森県	24	1.4%
岩手県	31	1.8%
宮城県	59	3.4%
秋田県	28	1.6%
山形県	34	1.9%
福島県	29	1.7%
茨城県	34	1.9%
栃木県	23	1.3%
群馬県	29	1.7%
埼玉県	91	5.2%
千葉県	53	3.0%
東京都	117	6.7%
神奈川県	76	4.3%
山梨県	18	1.0%
長野県	25	1.4%
新潟県	38	2.2%
静岡県	35	2.0%
愛知県	78	4.4%
岐阜県	18	1.0%
三重県	27	1.5%
富山県	23	1.3%
石川県	30	1.7%
福井県	21	1.2%
滋賀県	19	1.1%
京都府	11	0.6%
大阪府	81	4.6%
兵庫県	61	3.5%
奈良県	12	0.7%
和歌山県	6	0.3%
鳥取県	22	1.3%
島根県	27	1.5%
岡山県	61	3.5%
広島県	63	3.6%
山口県	35	2.0%
徳島県	12	0.7%
香川県	33	1.9%
高知県	24	1.4%
愛媛県	48	2.7%
福岡県	50	2.8%
佐賀県	13	0.7%
長崎県	20	1.1%
熊本県	47	2.7%
大分県	25	1.4%
宮崎県	12	0.7%
鹿児島県	38	2.2%
沖縄県	23	1.3%
合計	1,756	100.0%

解説

各都道府県の施設報告の回答状況は, 東京都が128件で最も多く, 次いで埼玉県94件, 愛知県84件であった.

問1. 所属する都道府県技士会を選択してください. (単一回答) n=1,756



問4 臨床工学技士の施設報告について, 必要に応じて追加調査にご対応いただけますか. (単一回答)

目的: 厚生労働省などから詳細情報を求められることが多くあるため, 追加調査の協力施設を把握する.

定義: 施設報告結果などに応じて, 新たな記述式アンケート調査や聞き取り調査などの追加調査に協力する可否を選択してください.

対象: 2023年10月1日時点

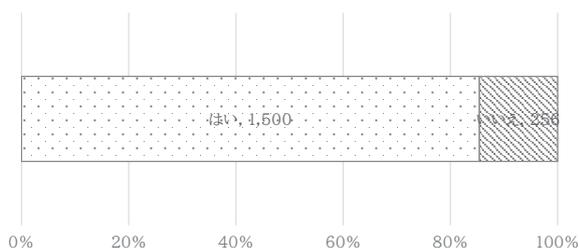
有効回答数: 1,756

回答	n	割合
はい	1,500	85.4%
いいえ	256	14.6%

解説

必要に応じて追加調査に対応いただける施設は, 1,500施設85.4%であった.

設問4 臨床工学技士の施設調査について、必要に応じて追加調査にご対応いただけますか。(単一回答) n=1,756



問5 お勤め先について選択してください。(単一回答) ※(1)以外を選択した方は調査終了です。

目的：臨床工学技士の所属施設の把握，所属別の母数となる。

定義：勤務先の機関を選択して下さい。 ※主な業務から所属を選択して下さい。

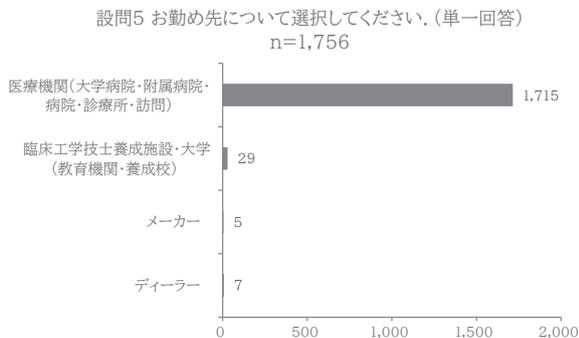
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,756

回答	n	割合
医療機関(大学病院・附属病院・病院・診療所・訪問)	1,715	97.7%
臨床工学技士養成施設・大学(教育機関・養成校)	29	1.7%
メーカー	5	0.3%
ディーラー	7	0.4%

解説

臨床工学技士の所属施設は，医療機関が最も多く98%，次いで臨床工学技士養成施設・大学2%であった。



問6 医療機関勤務施設の設置主体を選択してください。(単一回答)

目的：設置主体別の分析調査。

定義：医療機関の所属母体名を選択して下さい。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,470

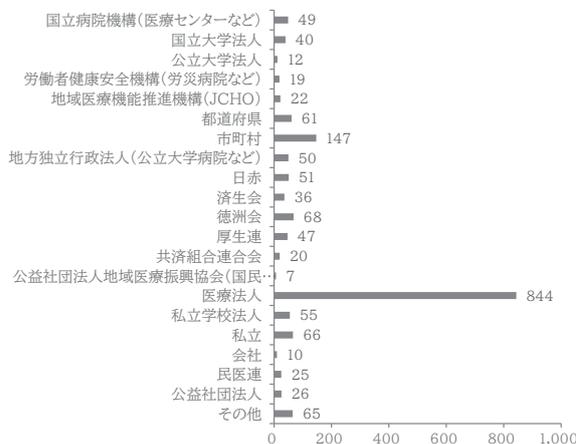
回答	n	割合
国立病院機構(医療センターなど)	49	2.8%
国立大学法人	40	2.3%
公立大学法人	12	0.7%
労働者健康安全機構(労災病院など)	19	1.1%
地域医療機能推進機構(JCHO)	22	1.3%
都道府県	61	3.5%
市町村	147	8.4%
地方独立行政法人(公立大学病院など)	50	2.8%
日赤	51	2.9%
済生会	36	2.1%
徳洲会	68	3.9%
厚生連	47	2.7%
共済組合連合会	20	1.1%
公益社団法人地域医療振興協会(国民健康保険組合など)	7	0.4%
医療法人	844	48.1%
私立学校法人	55	3.1%
私立	66	3.8%
会社	10	0.6%
民医連	25	1.4%
公益社団法人	26	1.5%
その他	65	3.7%

その他: 社会福祉法人(11), 一般財団法人(7), 公益財団法人(7), 一般社団法人(3), 医師会(2), 個人クリニック(2), 社会医療法人(2)

解説

医療機関勤務施設の設置主体は，医療法人が最も多く48%，次いで市町村8%，徳洲会4%であった。

設問6 医療機関勤務施設の設置主体を選択してください。(単一回答) n=1,720



問7 医療機関の区分を選択してください。(単一回答)

目的:病院, クリニック勤務などの状況を確認する.
 定義: 病院 (入院床 20 床以上), 有床診療所 (入院床 1 床~ 19 床以下), 無床診療所 (入院床 0) とする.

対象: 2023 年 10 月 1 日時点

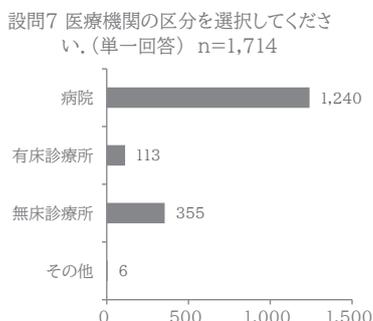
有効回答数: 1,714

回答	n	割合
病院	1,240	72.3%
有床診療所	113	6.6%
無床診療所	355	20.7%
その他	6	0.4%

その他:老健施設に併設の診療所(1)

解説

医療機関の区分は, 病院が最も多く 72%, 次いで無床診療所 21% であった.



問8 許可一般病床数を選択してください.

目的:一般病床数別の CE の分布や解析に使用する.
 定義: 許可一般病床数を選択してください. ※無床診療所は 0 になります.

対象: 2023 年 10 月 1 日時点

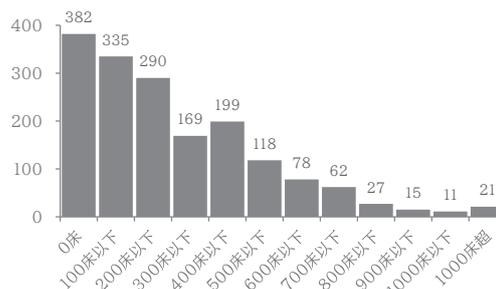
有効回答数: 1,707

回答	n	割合
0 床	382	22.4%
100 床以下	335	19.6%
200 床以下	290	17.0%
300 床以下	169	9.9%
400 床以下	199	11.7%
500 床以下	118	6.9%
600 床以下	78	4.6%
700 床以下	62	3.6%
800 床以下	27	1.6%
900 床以下	15	0.9%
1,000 床以下	11	0.6%
1,000 床超	21	1.2%

解説

CE が所属施設の一般病床数は, 0 床が最も多く 22%, 次いで 100 床以下は 20%, 200 床以下は 17% であった. 一方で 1,000 床を超える施設は 21 施設あった.

設問8 許可一般病床数を選択してください.
n=1,707



問9 許可療養病床数を選択してください.

目的:療養病床数別の CE の分布や解析に使用する.
 定義: 許可療養病床数を選択してください. ※無床診療所は 0 になります.

対象: 2023 年 10 月 1 日時点

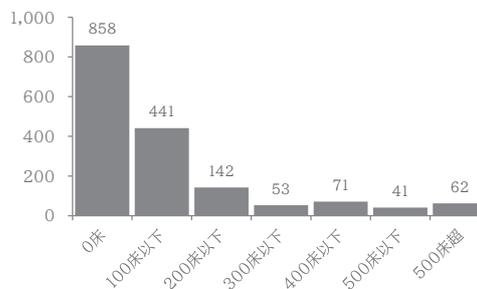
有効回答数: 1,668

回答	n	割合
0 床	858	51.4%
100 床以下	441	26.4%
200 床以下	142	8.5%
300 床以下	53	3.2%
400 床以下	71	4.3%
500 床以下	41	2.5%
500 床超	62	3.7%

解説

CE の所属施設の療養病床は, 0 床が最も多く 51%, 次いで 100 床以下は 26% であった.

設問9 許可療養病床数を選択してください.
n=1,668



問10 臨床工学技士配置数(常勤換算)を記載してください。(半角数値のみ)

目的: CEの分布や解析に使用する。

定義: 臨床工学技士配置数を常勤換算で記載する。(半角数値のみ)

※常勤換算とは、[職員の1週間の勤務時間]÷[常勤の職員が勤務すべき1週間の勤務時間]で求めます。例えば、1日8時間勤務で週5日の場合は40時間となる。常勤13名とパート職員2名(週3日で8時間勤務)では1名あたり24/40=0.6から、13+1.2=14.2となる。

対象: 2023年10月1日時点

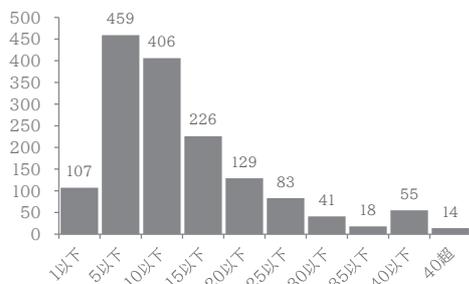
有効回答数: 1,538

回答	n	割合
1以下	107	7.0%
5以下	459	29.8%
10以下	406	26.4%
15以下	226	14.7%
20以下	129	8.4%
25以下	83	5.4%
30以下	41	2.7%
35以下	18	1.2%
40以下	55	3.6%
40超	14	0.9%

解説

臨床工学技士の配置数は、5以下が最も多く30%、次いで10以下は26%、15以下は15%であった。一方、40超は14施設あった。

問10 臨床工学技士配置数(常勤換算) n=1,538



問11 臨床工学技士が入職した人数を記載してください。(半角数値のみ)

目的: CEの入職率を把握するため。

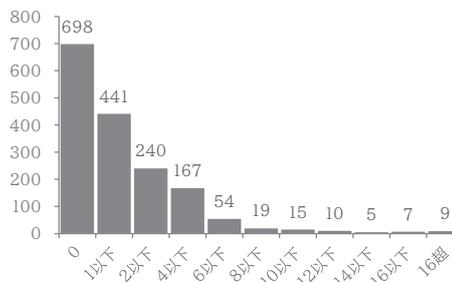
定義: 対象期間に入職した臨床工学技士の人数を入力してください。(半角数値のみ)

対象: 2022年4月1日~2023年3月31日

有効回答数: 1,665

回答	n	割合
0	698	41.9%
1以下	441	26.5%
2以下	240	14.4%
4以下	167	10.0%
6以下	54	3.2%
8以下	19	1.1%
10以下	15	0.9%
12以下	10	0.6%
14以下	5	0.3%
16以下	7	0.4%
16超	9	0.5%

設問11 入職した人数を記載してください。(半角数値のみ) n=1,665



問12 臨床工学技士が退職した人数を記載してください。(半角数値のみ)

目的: CEの離職率を把握するため。

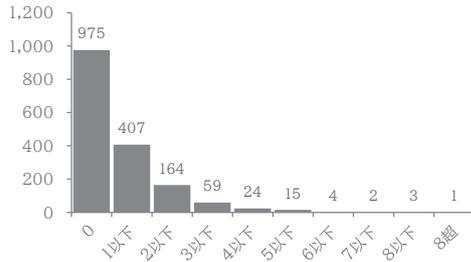
定義: 対象期間に退職した臨床工学技士の人数を入力してください。(半角数値のみ)

対象: 2022年4月1日~2023年3月31日

有効回答数: 1,654

回答	n	割合
0	975	58.9%
1以下	407	24.6%
2以下	164	9.9%
3以下	59	3.6%
4以下	24	1.5%
5以下	15	0.9%
6以下	4	0.2%
7以下	2	0.1%
8以下	3	0.2%
8超	1	0.1%

設問12 臨床工学技士が退職した人数を記載してください。(半角数値のみ)
n=1,654



問13 臨床工学技士の勤務形態を選択して下さい。(複数回答)

目的：勤務形態の調査。

定義：勤務体系・勤務状況を把握する。深夜勤務とは午後10時から午前5時まで（場合によっては午後11時から午前6時まで）とする。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,699

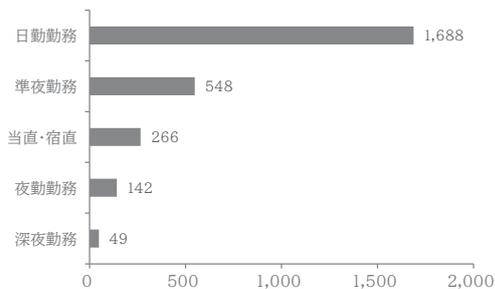
回答	n	割合
日勤勤務	1,688	99.4%
準夜勤務	548	32.3%
当直・宿直	266	15.7%
夜勤勤務	142	8.4%
深夜勤務	49	2.9%

解説

勤務形態は、日勤勤務が最も多く99%であった。

当直・宿直は16%、夜勤勤務は8%であった。

設問13 臨床工学技士の勤務形態を選択して下さい。(複数回答) n=1,699



問14 所属部門を選択して下さい。(単一回答)

目的：臨床工学技士部門の独立状況の調査のため。

定義：臨床工学技士の所属部門を選択して下さい。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,692

回答	n	割合
独立部門	1,045	61.8%
看護部門	89	5.3%
放射線部門	5	0.3%
検査部門	18	1.1%
合同部門(診療支援部・技術部など)	381	22.5%
事務部門	17	1.0%
医療安全部門	18	1.1%
その他	119	7.0%

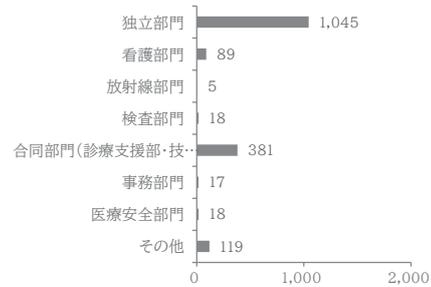
その他:透析室(25),なし(16),透析部門(16),診療部(6),医療技術部(4),臨床工学部(3),麻酔科(3),透析センター(2),診療科(2),手術部(2),クリニック(2),

解説

所属部門は、独立部門が最も多く62%であった。

次いで合同部門が23%と多かった。

設問14 所属部門を選択して下さい。(単一回答) n=1,692



問15 臨床工学技士が所属している部署名を選択して下さい(単一回答)

目的：臨床工学技士通称および所属部署名調査のため。(組織強化職能委員会)

定義：所属施設の臨床工学技士の所属している部署名を選択して下さい。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,691

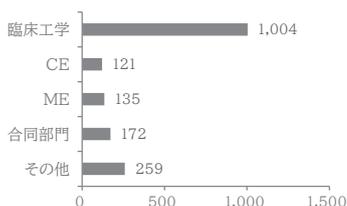
回答	n	割合
臨床工学	1,004	59.4%
CE	121	7.2%
ME	135	8.0%
合同部門(診療支援部・技術部など2職種以上の合同部門)	172	10.2%
その他	259	15.3%

その他:透析(部,科,室)(57),医療機器(センター,室,部)(20),透析センター(18),臨床工学(部,科,室)(17),なし(16),看護部(14),技士部(10),ME 機器管理室,MEセンター(8),医療技術部(8),医療安全管理室(6),検査(科,課)(4)

解説

臨床工学技士が所属している部署名は、臨床工学が最も多く59%であった。

設問15 臨床工学技士が所属している部署名を選択してください(単一回答) n=1,691



問16 臨床工学技士の主な通称(呼び名)を選択してください。(単一回答)

目的: 臨床工学技士通称および所属部署名調査のため。(組織強化機能委員会)

定義: 所属施設の臨床工学技士の主な通称(呼び名)を選択して下さい。

対象: 2023年10月1日時点

有効回答数: 1,702

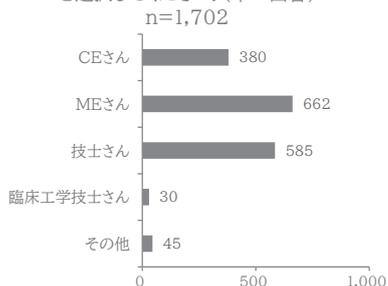
回答	n	割合
CEさん	380	22.3%
MEさん	662	38.9%
技士さん	585	34.4%
臨床工学技士さん	30	1.8%
その他	45	2.6%

その他: CEさん, MEさんの混在(10), 個人名(10), 臨工さん(8), いろいろ(8), MEから少しずつCEに代わってきている(1), MEさん, 臨床工学士, 臨床工技師(1), MEと呼ばれているがCEを通称にすべく活動中(1), 技師さん(1), 統一されていません(1), 白服(1)

解説

臨床工学技士の主な通称は,, MEさんが最も多く39%であった。次いで技士さん34%, CEさん22%であった。

設問16 臨床工学技士の主な通称(呼び名)を選択してください。(単一回答)



問17 もし所属施設で部署名を変更する場合, その難易度はどの程度でしょうか。(単一回答)

目的: 臨床工学技士通称および所属部署名統一について難易度を把握する。(組織強化機能委員会)

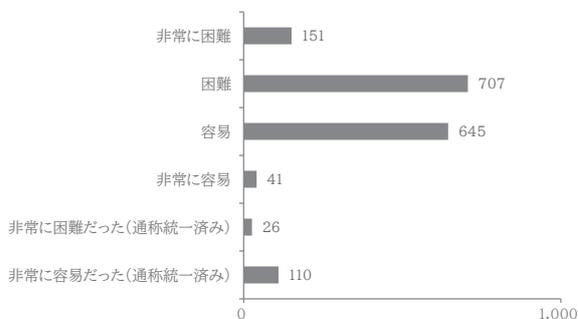
定義: 臨床工学技士の通称(呼び名)と英語表記をCEに統一について, 想定する難易度を選択して下さい。

対象: 2023年10月1日時点

有効回答数: 1,680

回答	n	割合
非常に困難	151	9.0%
困難	707	42.1%
容易	645	38.4%
非常に容易	41	2.4%
非常に困難だった(通称統一済み)	26	1.5%
非常に容易だった(通称統一済み)	110	6.5%

設問17 もし所属施設で部署名を変更する場合, その難易度はどの程度でしょうか。(単一回答) n=1,680



問18 部署名変更できない施設に質問です。日臨工に何を求めるか、またはどうすれば名称変更できると思うか。記載してください。

目的：部署名変更できない施設に対して日本臨床工学技士会に何を求めるか把握するため。

定義：部署名変更できない施設が日本臨床工学技士会に求めることを記載する。また、どうすれば名称変更できると思うかを記載してください。

対象：2023年10月1日時点

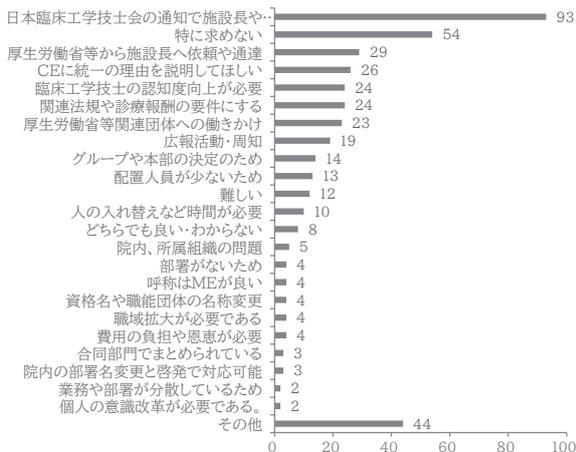
有効回答数：428

回答	n	割合
日本臨床工学技士会の通知で施設長や院長に依頼する	93	21.7%
特に求めない	54	12.6%
厚生労働省等から施設長へ依頼や通達	29	6.8%
CEに統一の理由を説明してほしい	26	6.1%
臨床工学技士の認知度向上が必要	24	5.6%
関連法規や診療報酬の要件にする	24	5.6%
厚生労働省等関連団体への働きかけ	23	5.4%
広報活動・周知	19	4.4%
グループや本部の決定のため	14	3.3%
配置人員が少ないため	13	3.0%
難しい	12	2.8%
人の入れ替えなど時間が必要	10	2.3%
どちらでも良い・わからない	8	1.9%
院内、所属組織の問題	5	1.2%
部署がないため	4	0.9%
呼称はMEが良い	4	0.9%
資格名や職能団体の名称変更	4	0.9%
職域拡大が必要である	4	0.9%
費用の負担や恩恵が必要	4	0.9%
合同部門でまとめられている	3	0.7%
院内の部署名変更と啓発で対応可能	3	0.7%
業務や部署が分散しているため	2	0.5%
個人の意識改革が必要である。	2	0.5%
その他	44	10.3%

解説

日本臨床工学技士会の通知で施設長や院長に依頼するが最も多く22%、次いで特に求めない13%であった。

設問18 部署名変更できない施設に質問です。日臨工に何を求めるか、またはどうすれば名称変更できると思うか。記載してください。 n=428



問19 血液浄化が実施されていますか。(単一回答) 目的：所属施設の血液浄化の実施割合を把握する。

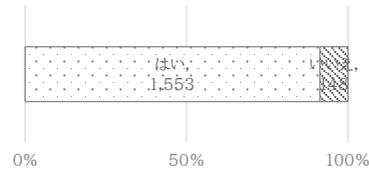
定義：所属施設において血液浄化を実施しているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,701

回答	n	割合
はい	1,553	91.3%
いいえ	148	8.7%

設問19 血液浄化が実施されていますか。(単一回答) n=1,701



問20 呼吸療法が実施されていますか。(単一回答) 目的：所属施設で呼吸療法を実施しているか把握する。

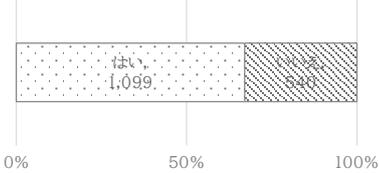
定義：所属施設において呼吸療法を実施しているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,639

回答	n	割合
はい	1,099	67.1%
いいえ	540	32.9%

設問20 呼吸療法が実施されていますか。(単一回答) n=1,639



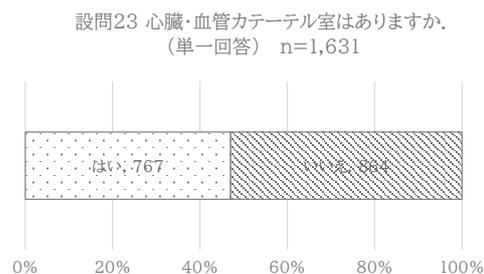
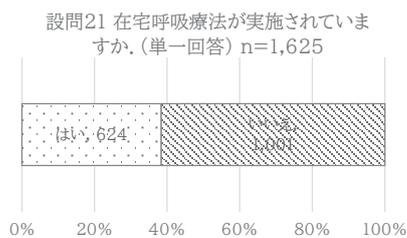
問21 在宅呼吸療法が実施されていますか。(単一回答) 目的：所属施設で在宅呼吸療法を実施しているか把握する。

定義：所属施設において入院を含む在宅呼吸療法を実施しているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,625

回答	n	割合
はい	624	38.4%
いいえ	1,001	61.6%



問22 集中治療室・救急室 (ICU, NICU, ハイケアユニット, 救急初療室等)が設置されていますか。(単一回答)

目的：集中治療室の設置実態を把握する。

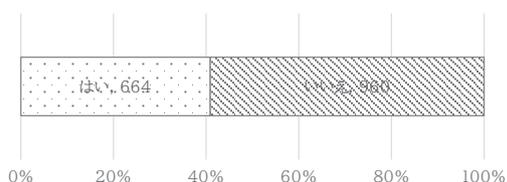
定義：所属施設の集中治療室の有無を選択して下さい。※次の届出を集中治療室とする。特定集中治療室管理料1～4, ハイケアユニット入院医療管理料, 救命救急入院料1～4, 脳卒中ケアユニット入院医療管理料, 小児特定集中治療室管理料, 新生児特定集中治療室管理料1～2, 総合周産期特定集中治療室管理料, 新生児治療回復室入院医療管理料

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,624

回答	n	割合
はい	664	40.9%
いいえ	960	59.1%

設問22 集中治療室・救急室 (ICU, NICU, ハイケアユニット, 救急初療室等)が設置されていますか。(単一回答) n=1,624



問23 心臓・血管カテーテル室はありますか。(単一回答)

目的：所属施設の心臓・血管カテーテル室の有無を把握する。

定義：心臓・血管カテーテル室の有無を選択して下さい。※Hybridを含める

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,631

回答	n	割合
はい	767	47.0%
いいえ	864	53.0%

問24 内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室 (センター) が設置されていますか。(単一回答)

目的：内視鏡診療の実態を把握する。

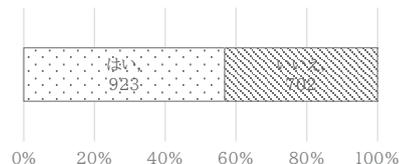
定義：内視鏡室の有無を選択して下さい。内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室(センター)とする。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,625

回答	n	割合
はい	923	56.8%
いいえ	702	43.2%

設問24 内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室(センター)が設置されていますか。(単一回答) n=1,625



問25 手術室における手術を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で手術を実施しているか把握する。

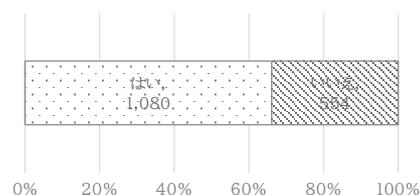
定義：所属施設で手術室における手術を実施しているかを選択して下さい。※CEの介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,634

回答	n	割合
はい	1,080	66.1%
いいえ	554	33.9%

設問25 手術室における手術を実施していますか。(単一回答) n=1,634



問26 不整脈アブレーション治療を実施していますか。(単一回答)

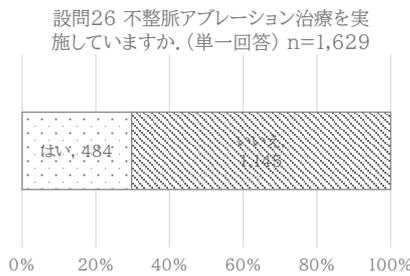
目的：所属施設で不整脈アブレーション治療を実施しているか把握する。

定義：所属施設で不整脈アブレーション治療を実施しているかを選択して下さい。 ※CEの介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,629

回答	n	割合
はい	484	29.7%
いいえ	1,145	70.3%



問27 心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施されていますか。(単一回答)

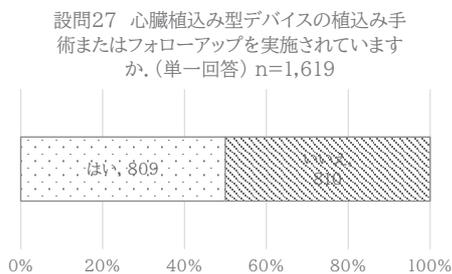
目的：所属施設で心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施しているか把握する。

定義：所属施設で心臓植込み型デバイスの植込み手術またはフォローアップを実施しているかを選択して下さい。 ※CEの介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,619

回答	n	割合
はい	809	50.0%
いいえ	810	50.0%



問28 高気圧酸素治療装置が設置されていますか。(単一回答)

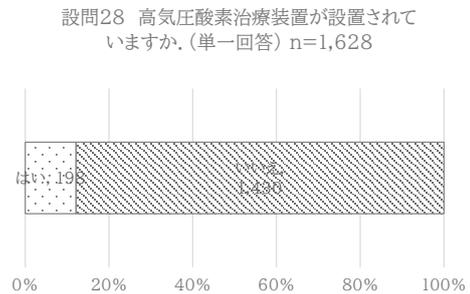
目的：所属施設で高気圧酸素治療を実施しているか把握する。

定義：所属施設で高気圧酸素治療装置が設置されているかを選択して下さい。 ※CEの介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,628

回答	n	割合
はい	198	12.2%
いいえ	1,430	87.8%



問29 ハイパーサーミア治療装置が設置されていますか。(単一回答)

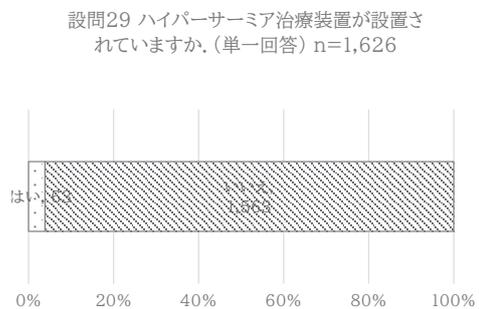
目的：所属施設でハイパーサーミアを実施しているか把握する。

定義：所属施設でハイパーサーミア治療装置が設置されているかを選択して下さい。 ※CEの介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,626

回答	n	割合
はい	63	3.9%
いいえ	1,563	96.1%



問30 医療安全部門は設置されていますか。(単一回答)

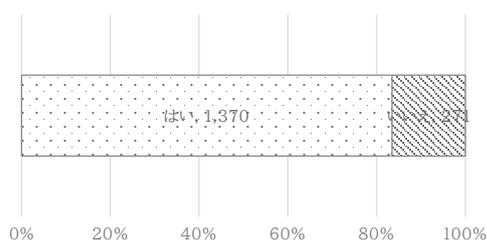
目的：所属施設で医療安全部門の有無を把握する。
 定義：所属施設で医療安全部門が設置されているかを選択して下さい。※CEの介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,641

回答	n	割合
はい	1,370	83.5%
いいえ	271	16.5%

設問30 医療安全部門は設置されていますか。(単一回答) n=1,641



問31 腹膜透析が実施されていますか。(単一回答)

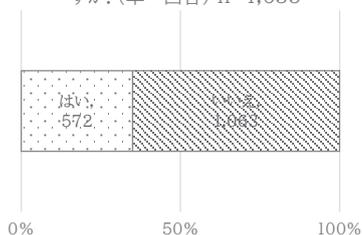
目的：所属施設で腹膜透析を実施しているか把握する。
 定義：所属施設で腹膜透析を実施しているかを選択して下さい。※CEの介入有無ではなく施設の実施有無

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,635

回答	n	割合
はい	572	35.0%
いいえ	1,063	65.0%

設問31 腹膜透析が実施されていますか。(単一回答) n=1,635



IV. 施設報告 血液浄化アドオン

問1 所属する都道府県技士会、問2 施設名は省略する。

問3 エコーガイド下のシャント穿刺を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で血液透析におけるCEのエコーガイド下のシャント穿刺の実施状況を把握する。

定義：血液透析におけるCEのエコーガイド下のシャント穿刺の実施状況について最も適した選択肢を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

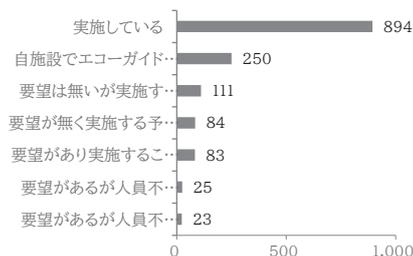
有効回答数：1,470

項目	n	割合
実施している	894	60.8%
自施設でエコーガイド下穿刺は行われていない	250	17.0%
要望は無いが実施することを検討している	111	7.6%
要望が無く実施する予定も無い	84	5.7%
要望があり実施することを検討している	83	5.6%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	25	1.7%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	23	1.6%

解説

6割の施設でエコーガイド下穿刺が行われている。

問3. エコーガイド下のシャント穿刺を実施していますか。(単一回答) n=1,470



問4 エコーガイド下のシャント穿刺を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設でエコーガイド下のシャント穿刺を実施している職種を把握する。

定義：エコーガイド下のシャント穿刺を実施している職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

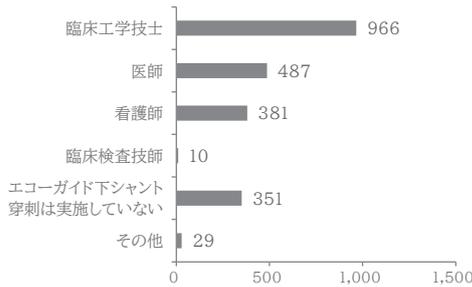
有効回答数：1,470

項目	n	割合
臨床工学技士	966	65.7%
医師	487	33.1%
看護師	381	25.9%
臨床検査技師	10	0.7%
エコーガイド下シャント穿刺は実施していない	351	23.9%
その他	29	2.0%
その他:していない(6),放射線技師(2),穿刺困難者のみ(3)		

解説

約6割の施設のCEがエコーガイド下穿刺を実施している。

問4.エコーガイド下穿刺を実施している職種
n=1,470



問5 血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価を実施しているか把握する。

定義：血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価について最も適した選択肢を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

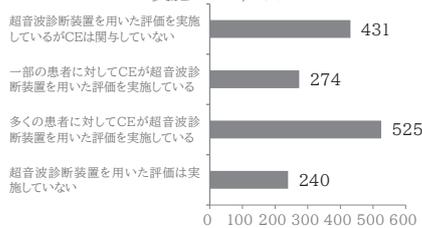
有効回答数：1,470

項目	n	割合
超音波診断装置を用いた評価を実施しているがCEは関与していない	431	29.3%
一部の患者に対してCEが超音波診断装置を用いた評価を実施している	274	18.6%
多くの患者に対してCEが超音波診断装置を用いた評価を実施している	525	35.7%
超音波診断装置を用いた評価は実施していない	240	16.3%

解説

超音波診断装置を用いたVA評価を行っている施設は8割以上あった。

問5.超音波診断装置によるVA評価の実施
n=1,470



問6 バスキュラーアクセス管理を実施している職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でバスキュラーアクセス管理を実施している職種を把握する。

定義：バスキュラーアクセス管理を実施している職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,470

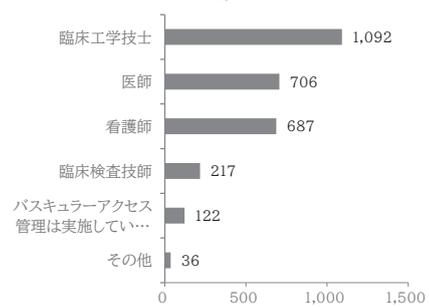
項目	n	割合
臨床工学技士	1,092	74.3%
医師	706	48.0%
看護師	687	46.7%
臨床検査技師	217	14.8%
バスキュラーアクセス管理は実施していない	122	8.3%
その他	36	2.4%

その他：診療放射線技師(19), していない(2), 准看護師(1)

解説

約9割の施設でVA管理を行っており、その中でCEは約7割を占めていた。

問6.VA管理を実施している職種
n=1,470



問7 動脈表在化への穿刺をCEが実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で血液透析におけるCEの動脈表在化への穿刺の実施状況を把握する。

定義：血液透析におけるCEの動脈表在化への穿刺の実施状況について最も適した選択肢を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

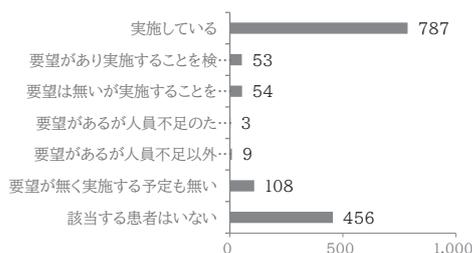
有効回答数：1,470

項目	n	割合
実施している	787	53.5%
要望があり実施することを検討している	53	3.6%
要望は無いが実施することを検討している	54	3.7%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	3	0.2%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	9	0.6%
要望が無く実施する予定も無い	108	7.3%
該当する患者はいない	456	31.0%

解説

実施している施設は約半数、また3割の施設で該当する患者はいなかった。

問7.動脈表在下穿刺をCEが実施しているか n=1,470



問8 透析条件の検討に対してCEが関与している項目を全て選択してください。(複数回答)

目的：透析 (HDF 含む) 条件の検討に対しCEが関与している項目を把握する。

定義：透析 (HDF 含む) 条件の検討に対しCEが関与している項目をすべて選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,470

項目	n	割合
ダイアライザやフィルタの材質	1,331	90.5%
血液流量	1,294	88.0%
ダイアライザやフィルタの膜面積	1,279	87.0%
透析モード(HD・HDFなど)	1,225	83.3%
透析時間	1,197	81.4%
除水量	1,184	80.5%
透析液温度	1,183	80.5%
透析液流量	1,157	78.7%
透析用留置針の種類	1,109	75.4%
補充液速度	1,106	75.2%
補充液量	1,099	74.8%
透析液の種類	1,069	72.7%
抗凝固剤投与量	1,053	71.6%
抗凝固剤投与速度	1,032	70.2%
抗凝固剤の種類	966	65.7%
除水プログラム	940	63.9%
ドライウエイト	812	55.2%

解説

ダイアライザやフィルタの材質、膜面積、血液流量に関して約9割のCEが関与していた。

問8.透析条件の検討に対してCEが関与している項目 n=1,470



問9 下肢および患者の状態把握のための検査に対してCEが実施している項目を全て選択してください。(複数回答)

目的：所属施設で下肢および患者の状態把握のためCEが検査している種類を把握する。

定義：下肢および患者の状態把握のためCEが検査している項目をすべて選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：718

項目	n	割合
なし	752	51.2%
ABI検査	295	20.1%
体成分分析装置	285	19.4%
SPP(皮膚還流圧)検査	238	16.2%
経皮酸素分圧測定装置	121	8.2%
レーザー血流計	100	6.8%
超音波血流計	96	6.5%
インピーダンス心拍出量計	8	0.5%

解説

約半数の施設は実施していなかったが、ABI検査や体成分分析を実施している施設が約2割あった。

問9.下肢検査に対してCEが実施している項目 n=1,470



問10 腹膜透析 (PD) の導入や在宅PD管理を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設でPD業務を実施しているか把握する。

定義：実施しているPD業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

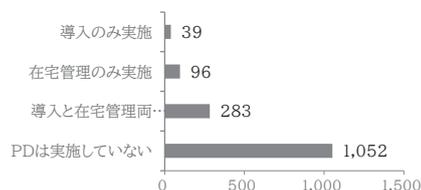
有効回答数：1,470

項目	n	割合
導入のみ実施	39	2.7%
在宅管理のみ実施	96	6.5%
導入と在宅管理両方実施	283	19.3%
PDは実施していない	1,052	71.6%

解説

PDを実施していない施設が約7割を占めていた。

問10.PD導入や在宅PD管理の実施 n=1,470



問11 PD 業務を担当する CE の人数を教えてください。(単一回答)

目的：所属施設で PD 業務を実施できる CE がどの程度いるかを把握する。

定義：PD 業務を担当する CE の人数を選択してください。

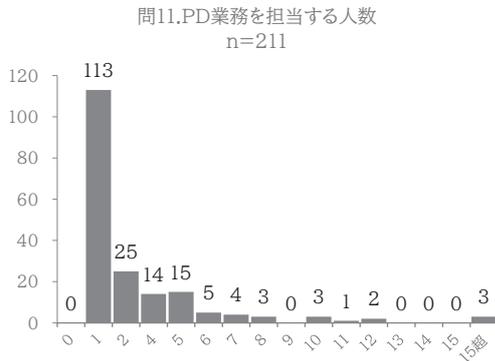
対象：2023 年 10 月 1 日時点

有効回答数：211

項目	n	割合
0	0	0.0%
1	113	60.1%
2	25	13.3%
4	14	7.4%
5	15	8.0%
6	5	2.7%
7	4	2.1%
8	3	1.6%
9	0	0.0%
10	3	1.6%
11	1	0.5%
12	2	1.1%
13	0	0.0%
14	0	0.0%
15 超	3	1.6%

解説

6 割の施設で PD 業務を担当する CE は 1 名だった。



問12 PD 業務において、CE が行っている業務を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で CE が行っている PD 業務を把握する。

定義：CE が行っている PD 業務を選択してください。 ※腎代替療法選択外来業務とは保存期の方が今後の治療方針（血液透析・腹膜透析・腎移植）について考える外来とする。

対象：2023 年 10 月 1 日時点

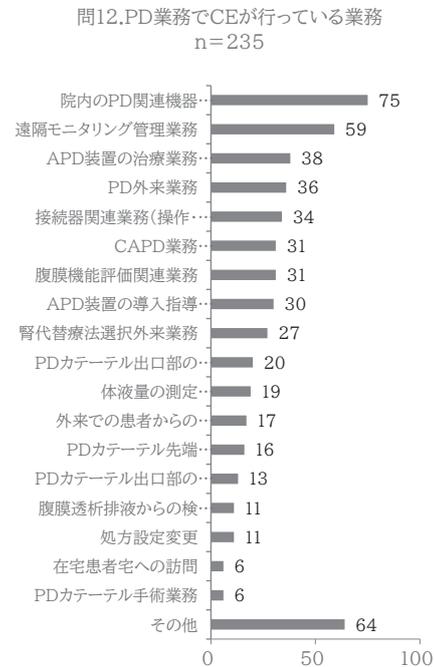
有効回答数：235

項目	n	割合
院内の PD 関連機器 (APD 装置, 接続器など) 管理業務	75	31.9%
遠隔モニタリング管理業務	59	25.1%
APD 装置の治療業務 (治療操作・設定など)	38	16.2%
PD 外来業務	36	15.3%
接続器関連業務 (操作・患者教育など)	34	14.5%
CAPD 業務 (治療操作・患者教育など)	31	13.2%
腹膜機能評価関連業務	31	13.2%
APD 装置の導入指導 (操作方法, APD 装置機種を選択など)	30	12.8%
腎代替療法選択外来業務	27	11.5%
PD カテーテル出口部の観察	20	8.5%
体液量の測定 (インピーダンス法などを含む)	19	8.1%
外来での患者からの治療状況のヒアリング	17	7.2%
PD カテーテル先端チューブの交換	16	6.8%
PD カテーテル出口部の消毒	13	5.5%
腹膜透析排液からの検体採取	11	4.7%
処方設定変更	11	4.7%
在宅患者宅への訪問	6	2.6%
PD カテーテル手術業務	6	2.6%
その他	64	27.2%

その他: 関わっていない(30), 行っていない(11), 看護師が対応(3)

解説

院内の PD 関連機器管理業務や遠隔モニタリング管理を行っている施設が約 2 ~ 3 割あった。



問13 アフェレシス及びCRRT業務を実施していますか（単一回答）

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT業務を実施しているか把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT業務を実施しているか選択してください。

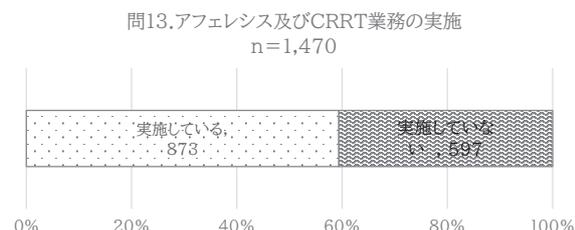
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：1,470

項目	n	割合
実施している	873	59.4%
実施していない	597	40.6%

解説

6割の施設で実施していた。



問14 アフェレシス及びCRRT業務に携わっているCEの人数を教えてください。（単一回答）

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT業務を実施できるCEがどの程度いるかを把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT業務を担当するCEの人数を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

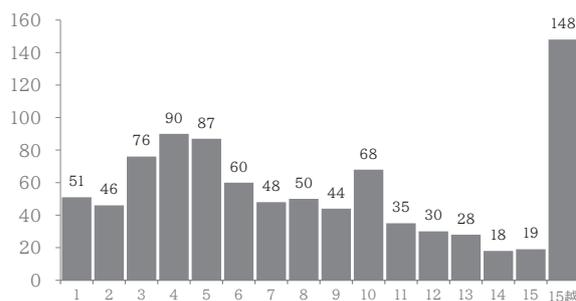
有効回答数：898

項目	n	割合
1	51	5.7%
2	46	5.1%
3	76	8.5%
4	90	10.0%
5	87	9.7%
6	60	6.7%
7	48	5.3%
8	50	5.6%
9	44	4.9%
10	68	7.6%
11	35	3.9%
12	30	3.3%
13	28	3.1%
14	18	2.0%
15	19	2.1%
15超	148	16.5%

解説

15人以上携わっている施設が多かった。

問14.アフェレシス及びCRRT業務に携わっているCEの人数
n=898



問15 アフェレシス及びCRRT療法に用いる装置は何台保有していますか。（単一回答）

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT療法に用いる装置をどの程度保有しているか把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT療法に用いる装置の保有台数を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

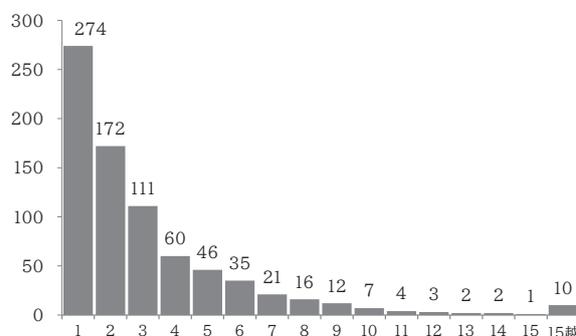
有効回答数：776

項目	n	割合
1	274	35.3%
2	172	22.2%
3	111	14.3%
4	60	7.7%
5	46	5.9%
6	35	4.5%
7	21	2.7%
8	16	2.1%
9	12	1.5%
10	7	0.9%
11	4	0.5%
12	3	0.4%
13	2	0.3%
14	2	0.3%
15	1	0.1%
15超	10	1.3%

解説

約半数の施設で保有台数は1～2台だった。

問15.アフェレシス及びCRRTに用いる装置の保有数
n=776



問16 アフェレシス及びCRRT装置の定期点検を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT装置の定期点検を行っている主な職種を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT装置の定期点検を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：823

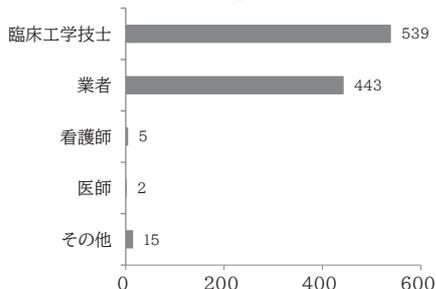
項目	n	割合
臨床工学技士	539	65.5%
業者	443	53.8%
看護師	5	0.6%
医師	2	0.2%
その他	15	1.8%

その他：レンタル(7), 製造メーカー(1)

解説

臨床工学技士や業者が約半数を占めていた。

問16.アフェレシス及びCRRT装置の定期点検を行っている主な職種
n=823



問17 アフェレシス及びCRRT業務で行っている治療方法を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT業務で行っている治療方法を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT業務で行っている治療方法を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：868

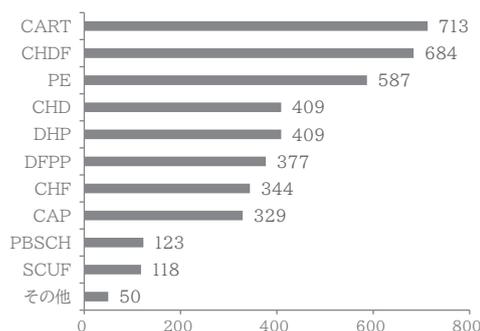
項目	n	割合
CART	713	82.1%
CHDF	684	78.8%
PE	587	67.6%
CHD	409	47.1%
DHP	409	47.1%
DFPP	377	43.4%
CHF	344	39.6%
CAP	329	37.9%
PBSCH	123	14.2%
SCUF	118	13.6%
その他	50	5.8%

その他：PA(13), LDL 吸着(12), IAPP(3)

解説

約8割の施設がCART, CHDFを実施していた。

問17.アフェレシス及びCRRT業務で行っている治療法
n=868



問18 アフェレシス及びCRRT装置の組立及び回路の洗浄・充填を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT装置の組立及び回路の洗浄・充填を行っている主な職種を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT装置の組立及び回路の洗浄・充填を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

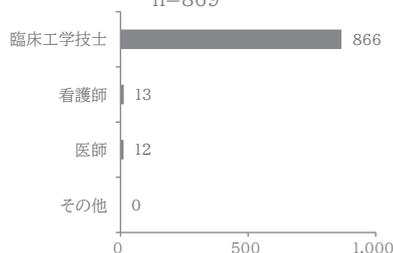
有効回答数：869

項目	n	割合
臨床工学技士	866	99.7%
看護師	13	1.5%
医師	12	1.4%
その他	0	0.0%

解説

ほとんどの施設で組立及び回路の洗浄・充填をCEが行っていた。

問18.アフェレシス及びCRRT装置の組立及び回路の洗浄・充填を行っている主な職種
n=869



問19 アフェレシス及びCRRT治療に必要な薬剤、治療材料、運転条件(治療時間、血液流量、除水量、置換液量等)の設定及び変更を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT治療に必要な薬剤、治療材料、運転条件(治療時間、血液流量、除水量、置換液量等)の設定及び変更を行っている主な職種を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT治療に必要な薬剤、治療材料、運転条件(治療時間、血液流量、除水量、置換液量等)の設定及び変更を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

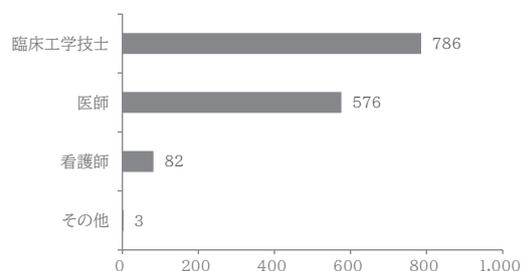
有効回答数：869

項目	n	割合
臨床工学技士	786	90.4%
医師	576	66.3%
看護師	82	9.4%
その他	3	0.3%
その他：薬剤師(1), メーカー(1), 医師の指示のもとCE(1)		

解説

9割の施設で臨床工学技士が行い、また6割の施設で医師が行っていた。

問19.アフェレシス及びCRRT治療に必要な薬剤、治療材料、運転条件の設定及び変更を行っている主な職種 n=869



問20 アフェレシス及びCRRT治療中に灌流液、抗凝固薬等の交換を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT治療中に灌流液、抗凝固薬等の交換を行っている主な職種を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT治療中に灌流液、抗凝固薬等の交換を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

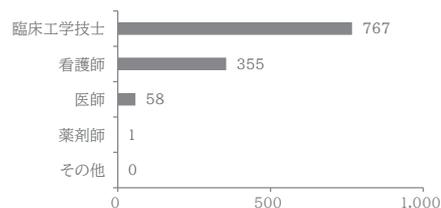
有効回答数：862

項目	n	割合
臨床工学技士	767	89.0%
看護師	355	41.2%
医師	58	6.7%
薬剤師	1	0.1%
その他	0	0.0%

解説

約8割の施設でCEが行っていた。

問20.アフェレシス及びCRRT治療中に灌流液、抗凝固薬等の交換を行っている主な職種 n=862



問21 アフェレシス及びCRRT治療中の装置データ等を監視・記録(血液流量、回路内圧、除水速度、置換液量等)を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT治療中の装置データ等を監視・記録(血液流量、回路内圧、除水速度、置換液量等)を行っている主な職種を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT治療中の装置データ等を監視・記録(血液流量、回路内圧、除水速度、置換液量等)を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：869

項目	n	割合
臨床工学技士	816	93.9%
看護師	408	47.0%
医師	57	6.6%
その他	2	0.2%
その他：透析通信システム(1), 自動記録(1)		

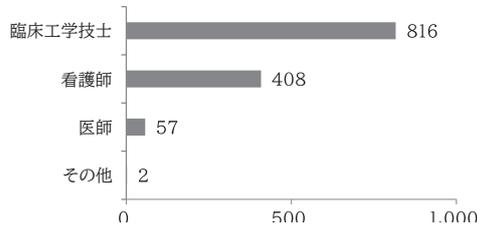
解説

9割の施設でCE, 約半数の施設で看護師が行っていた。

解説

9割の施設でCE, 約半数の施設で看護師が行っていた。

問21.アフェレシス及びCRRT治療中の装置データ等を監視・記録を行っている主な職種 n=869



問22 アフェレシス及びCRRT治療中のバイタルサインの経時的監視とその記録を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT治療中のバイタルサインの経時的監視とその記録を行っている主な職種を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT治療中のバイタルサインの経時的監視とその記録を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

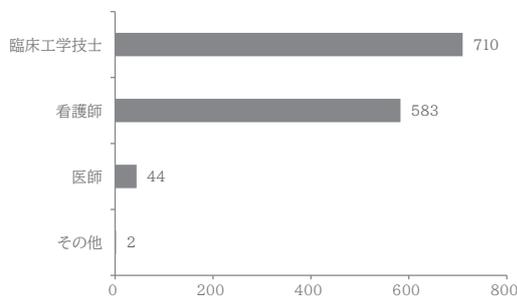
有効回答数：862

項目	n	割合
臨床工学技士	710	82.4%
看護師	583	67.6%
医師	44	5.1%
その他	2	0.2%
その他:透析通信システム(1), 自動記録(1)		

解説

約8割の施設でCE, 約6割の施設で看護師が行っていた。

問22.アフェレシス及びCRRT治療中のバイタルサインの経時的監視とその記録を行っている主な職種 n=862



問23 アフェレシス及びCRRT治療に於いてバスキュラーアクセス (VA) への穿刺及び留置カテーテルとの接続を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT治療に於いてバスキュラーアクセス (VA) への穿刺及び留置カテーテルとの接続を行っている主な職種を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT治療に於いてバスキュラーアクセス (VA) への穿刺及び留置カテーテルとの接続を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

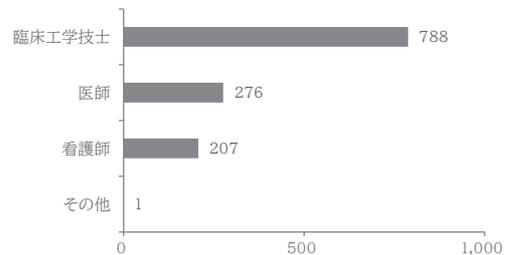
有効回答数：863

項目	n	割合
臨床工学技士	788	91.3%
医師	276	32.0%
看護師	207	24.0%
その他	1	0.1%
その他:穿刺を行っているが留置カテーテルとの接続は行っていない(1)		

解説

約9割の施設でCEが行っていた。

問23.アフェレシス及びCRRT治療に於いてVAへの穿刺及び留置カテーテルとの接続を行っている主な職種 n=863



問24 アフェレシス及びCRRT治療に於いて血液ガス分圧、血液凝固時間の測定と評価を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT治療に於いて血液ガス分圧、血液凝固時間の測定と評価を行っている主な職種を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT治療に於いて血液ガス分圧、血液凝固時間の測定と評価を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

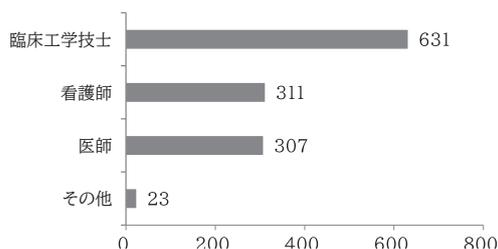
有効回答数：819

項目	n	割合
臨床工学技士	631	77.0%
看護師	311	38.0%
医師	307	37.5%
その他	23	2.8%
その他：実施していない(16)、臨床検査技師(7)		

解説

約7割の施設でCEが行っていた。

問24.アフェレシス及びCRRT治療に於いて血液ガス分圧、血液凝固時間の測定と評価を行っている主な職種 n=819



問25 アフェレシス及びCRRT治療終了時にVAからの抜去及び止血処置を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT治療終了時にVAからの抜去及び止血処置を行っている主な職種を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT治療終了時にVAからの抜去及び止血処置を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

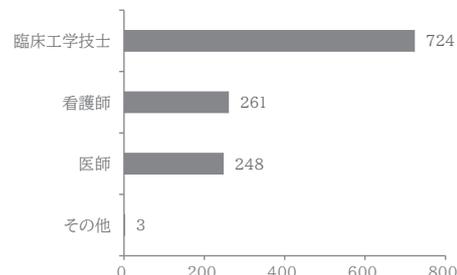
有効回答数：861

項目	n	割合
臨床工学技士	724	84.1%
看護師	261	30.3%
医師	248	28.8%
その他	3	0.3%
その他：診療看護師(1)、NP(1)、アフェレシス及びCRRTのVAはカテテルなので抜去と言われると臨床工学技士ではない(1)		

解説

約8割の施設でCEが行っていた。

問25.アフェレシス及びCRRT治療終了時にVAからの抜去及び止血処置を行っている主な職種 n=861



問26 アフェレシス及びCRRT治療に於いて各種検査データによる浄化効率や条件の評価を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でアフェレシス及びCRRT治療に於いて各種検査データによる浄化効率や条件の評価を行っている主な職種を把握する。

定義：アフェレシス及びCRRT治療に於いて各種検査データによる浄化効率や条件の評価を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

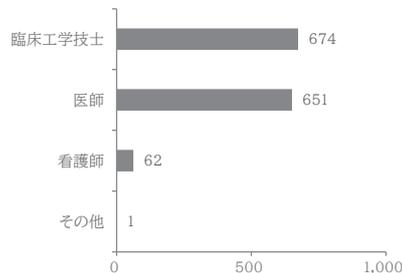
有効回答数：854

項目	n	割合
臨床工学技士	674	78.9%
医師	651	76.2%
看護師	62	7.3%
その他	1	0.1%
その他：薬剤師		

解説

約8割の施設でCEと医師が行っていた。

問26.アフェレシス及びCRRT治療に於いて各種検査データによる浄化効率や条件の評価を行っている主な職種 n=854



V. 施設報告 呼吸治療アドオン

問1 所属する都道府県技士会, 問2 施設名は省略する.

問3 貴施設において, 呼吸療法業務に携わっている CE の人数を選択してください.

目的: CE の人員のうち, 呼吸療法に関わるスタッフが兼任を含め何名いるか把握するため.

定義: 貴院の呼吸療法業務に関わっている CE の人員を選択する.

対象: 2023 年 10 月 1 日時点

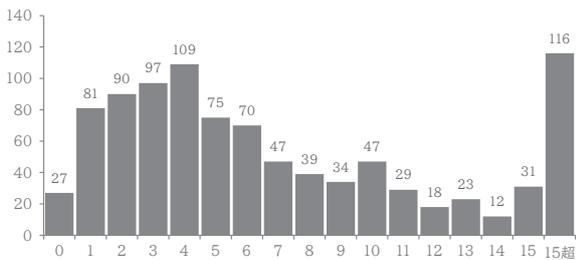
有効回答数: 945

項目	n	割合
0	27	2.9%
1	81	8.6%
2	90	9.5%
3	97	10.3%
4	109	11.5%
5	75	7.9%
6	70	7.4%
7	47	5.0%
8	39	4.1%
9	34	3.6%
10	47	5.0%
11	29	3.1%
12	18	1.9%
13	23	2.4%
14	12	1.3%
15	31	3.3%
15 超	116	12.3%

解説

5 名以下の施設が多かった. 一方, 15 名以上で携わっている施設も多かった. 専従もしくは専任で携わっている施設が分かれている可能性が考えられた.

設問3 貴施設において, 呼吸療法業務に携わっている CE の人数を選択してください, n=945



問4 貴施設において, 2022 年度から 2023 年度の 1 年間で, CE が新規で介入ようになった呼吸療法業務を記載してください. (複数回答)

目的: CE の呼吸療法業務の新規介入状況を把握する.

定義: 1 年間で新規に関わるようになった呼吸療法業務を記載する.

対象: 2023 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 945

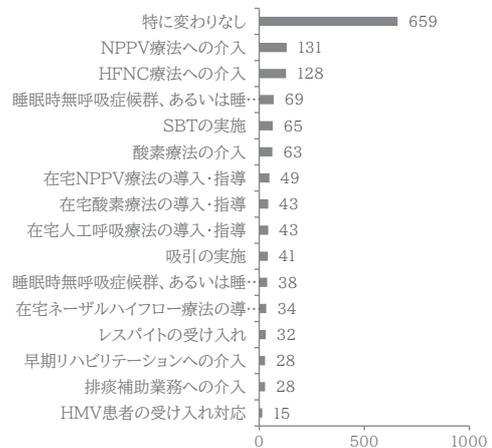
項目	n	割合
特に変わりなし	659	69.7%
NPPV 療法への介入	131	13.9%
HFNC 療法への介入	128	13.5%
睡眠時無呼吸症候群, あるいは睡眠中の低換気に対する CPAP・ASV や NPPV への介入	69	7.3%
SBT の実施	65	6.9%
酸素療法の介入	63	6.7%
在宅 NPPV 療法の導入・指導	49	5.2%
在宅酸素療法の導入・指導	43	4.6%
在宅人工呼吸療法の導入・指導	43	4.6%
吸引の実施	41	4.3%
睡眠時無呼吸症候群, あるいは睡眠中の低換気に対する PSG などへの介入	38	4.0%
在宅ネーザルハイフロー療法の導入・指導	34	3.6%
レスパイトの受け入れ	32	3.4%
早期リハビリテーションへの介入	28	3.0%
排痰補助業務への介入	28	3.0%
HMV 患者の受け入れ対応	15	1.6%

解説

新たに介入することとなった呼吸療法業務は, NPPV 療法および HFNC 療法がともに 14% と多かった.

変わりが無い施設は 70% を占めた.

設問4 貴施設において, 2022 年度から 2023 年度の 1 年間で, CE が新規で介入ようになった呼吸療法業務を記載してください. (複数回答) n=945



問5 設問4にて「変わりなし」とお答えの貴施設において、その要因を記載してください。(複数回答)

目的：新規介入できていない要因を把握する。

定義：「変わらない」要因を記載する。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：656

項目	n	割合
呼吸療法の新規介入の要望がない	316	48.2%
すでに業務を実施している	276	42.1%
人員不足	147	22.4%
新しく診療報酬がついていない	83	12.7%
必要性を感じない	73	11.1%
その他	29	4.4%
その他:症例が少ない(6),業務拡大を行っていない(6),スタッフのスキル(2),検討中(2)		

解説

変わりが無い要因として要望がないことが48%と多く挙げられた。CEから介入の提案をしてもよいかもしれない。次に人員不足が22%を占めた。

設問5 設問4にて「変わりなし」とお答えの貴施設において、その要因を記載してください。(複数回答) n=656



問6 CEが人工呼吸器(NPPV・麻酔用人工呼吸器除く)について実施する業務はどれですか。(複数回答)

目的：CEが人工呼吸器において実施する業務を把握する。

定義：CEが人工呼吸器においてCEが実施する業務をすべて選択してください。※NPPV・麻酔用人工呼吸器除く、一部実施でも選択可能とする。

対象：2023年10月1日時点

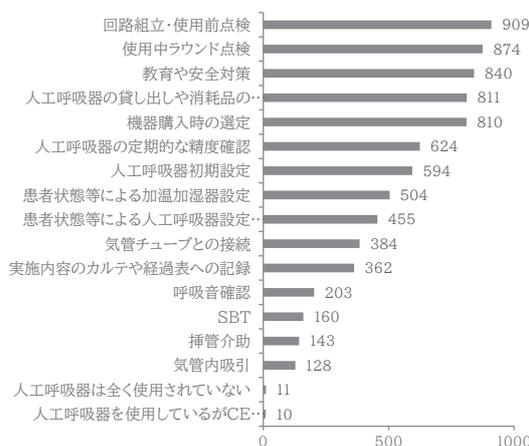
有効回答数：945

項目	n	割合
回路組立・使用前点検	909	96.2%
使用中ラウンド点検	874	92.5%
教育や安全対策	840	88.9%
人工呼吸器の貸し出しや消耗品の払い出し	811	85.8%
機器購入時の選定	810	85.7%
人工呼吸器の定期的な精度確認	624	66.0%
人工呼吸器初期設定	594	62.9%
患者状態等による加温加湿器設定	504	53.3%
患者状態等による人工呼吸器設定変更	455	48.1%
気管チューブとの接続	384	40.6%
実施内容のカルテや経過表への記録	362	38.3%
呼吸音確認	203	21.5%
SBT	160	16.9%
挿管介助	143	15.1%
気管内吸引	128	13.5%
人工呼吸器は全く使用されていない	11	1.2%
人工呼吸器を使用しているがCEは全く関与していない	10	1.1%

解説

回路組立・使用前点検、使用中ラウンド点検は90%以上の施設で行われており、使用前・使用中の点検はCEが担っていると考えられた。また、教育や安全対策についても多くの施設で関わっていた。

設問6 CEが人工呼吸器(NPPV・麻酔用人工呼吸器除く)について実施する業務はどれですか。(複数回答) n=945



問7 CEがNPPVについて実施する業務はどれですか。(複数回答)

目的：CEがNPPVについて実施する業務を把握する。

定義：CEがNPPVについて実施する業務をすべて選択してください。※一部実施でも選択可能とする。

対象：2023年10月1日時点

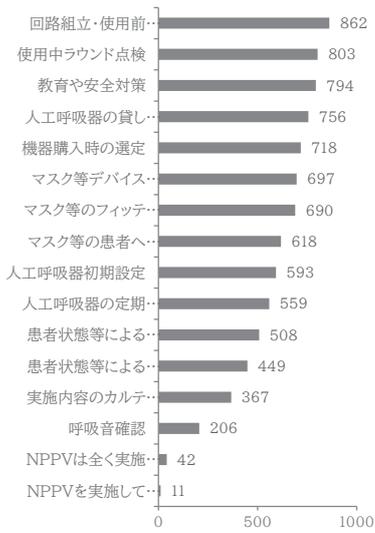
有効回答数：945

項目	n	割合
回路組立・使用前点検	862	91.2%
使用中ラウンド点検	803	85.0%
教育や安全対策	794	84.0%
人工呼吸器の貸し出しや消耗品の払い出し	756	80.0%
機器購入時の選定	718	76.0%
マスク等デバイスの選択	697	73.8%
マスク等のフィッティング調整	690	73.0%
マスク等の患者への装着	618	65.4%
人工呼吸器初期設定	593	62.8%
人工呼吸器の定期的な精度確認	559	59.2%
患者状態等による加温加湿器設定	508	53.8%
患者状態等による人工呼吸器設定変更	449	47.5%
実施内容のカルテや経過表への記録	367	38.8%
呼吸音確認	206	21.8%
NPPVは全く実施されていない	42	4.4%
NPPVを実施しているがCEは全く関与していない	11	1.2%

解説

回路組立・使用前点検91%、使用中ラウンド点検は85%以上の施設で行われており、使用前・使用中の点検はCEが担っていると考えられた。また、教育や安全対策についても多くの施設で関わっていた。

設問7 CEがNPPVについて実施する業務はどれですか。(複数回答) n=945



問8 CEは人工呼吸器の初期設定についてどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CEが実施する人工呼吸器の初期設定の状況を把握する。

定義：CEが実施する人工呼吸器の初期設定の程度を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

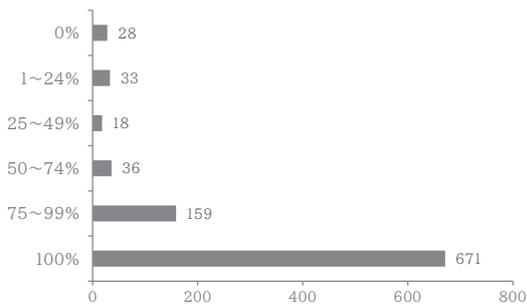
有効回答数：945

項目	n	割合
0%	28	3.0%
1~24%	33	3.5%
25~49%	18	1.9%
50~74%	36	3.8%
75~99%	159	16.8%
100%	671	71.0%

解説

100% CEが実施している施設が71%と最も多かった。75~99%実施している施設を合わせると全体の88%の施設はCEが実施している。

設問8 CEが人工呼吸器(NPPV含む)の回路組立・使用前点検を実施しているのは、病院全体のどの程度の割合ですか。(単一回答) n=945



問9 CEは院内で人工呼吸器の使用ラウンド点検をどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CEが行う人工呼吸器の使用ラウンド点検実施状況を把握する。

定義：CEが院内で行う人工呼吸器の使用ラウンド点検実施状況を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

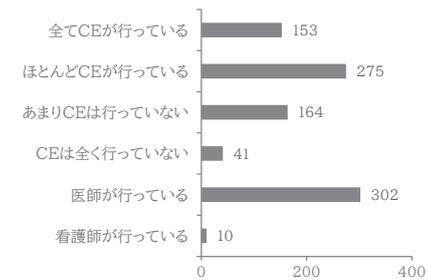
有効回答数：945

項目	n	割合
全てCEが行っている	153	16.2%
ほとんどCEが行っている	275	29.1%
あまりCEは行っていない	164	17.4%
CEは全く行っていない	41	4.3%
医師が行っている	302	32.0%
看護師が行っている	10	1.1%

解説

全て・ほとんどCEが行っている施設は合計45%だった。32%は医師が行っている施設だった。

設問9 CEは人工呼吸器の初期設定についてどの程度実施していますか。(単一回答)n=945



問10 CEは血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更をどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CEが行う血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更の状況を把握する。

定義：CEが行う血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更の状況を選択してください。

(タスク・シフト関連)

対象：2023年10月1日時点

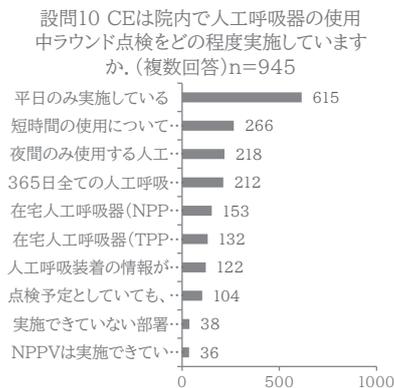
有効回答数：945

項目	n	割合
平日のみ実施している	615	65.1%
短時間の使用については実施できない場合がある	266	28.1%
夜間のみ使用する人工呼吸器は実施できていない	218	23.1%
365日全ての人工呼吸器使用中ラウンド点検を実施している	212	22.4%
在宅人工呼吸器(NPPV)は実施できていない	153	16.2%
在宅人工呼吸器(TPPV)は実施できていない	132	14.0%
人工呼吸装置の情報が伝わらない場合がある	122	12.9%
点検予定としていても、実施できていない日がある	104	11.0%
実施できていない部署がある	38	4.0%
NPPVは実施できていない	36	3.8%

解説

平日のみ実施している施設が65%であり、休日対応が出来ていない施設が多いと推定された。また、

夜間のみ使用する人工呼吸器に対する対応は23%の施設が対応できていなかった。休日、夜間の体制強化が望まれる。



問11 CEが「血液ガス分析のための動脈留置カテーテル採血」をどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CEが血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施している状況を把握する。

定義：CEが血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施している状況を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

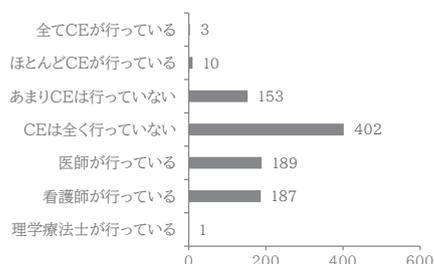
有効回答数：945

項目	n	割合
全てCEが行っている	3	0.3%
ほとんどCEが行っている	10	1.1%
あまりCEは行っていない	153	16.2%
CEは全く行っていない	402	42.5%
医師が行っている	189	20.0%
看護師が行っている	187	19.8%
理学療法士が行っている	1	0.1%

解説

CEが実施している施設は17%しかなく、医師または看護師が実施している施設が40%であった。

設問11 CEが「血液ガス分析のための動脈留置カテーテル採血」をどの程度実施していますか。(単一回答) n=945



問12 CEは血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更をどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CEが行う血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更の状況を把握する。

定義：CEが行う血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更の状況を選択してください。

(タスク・シフト関連)

対象：2023年10月1日時点

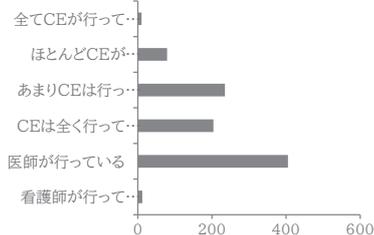
有効回答数：945

項目	n	割合
全てCEが行っている	10	1.1%
ほとんどCEが行っている	79	8.4%
あまりCEは行っていない	235	24.9%
CEは全く行っていない	204	21.6%
医師が行っている	405	42.9%
看護師が行っている	12	1.3%

解説

全てまたはほとんどCEが実施している施設は9%であり多くない。あまりCEが実施していない施設は25%であり、今後増加してくる可能性が示唆された。

設問12 CEは血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更をどの程度実施していますか。(単一回答) n=945



問13 CEは人工呼吸器装着患者のSBTをどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CEが実施する人工呼吸器装着患者のSBTの状況を把握する。

定義：CEが具体的指示を受けて実施する人工呼吸器装着患者のSBTの状況を選択してください。

※SBTとは自発呼吸試験とする。

対象：2023年10月1日時点

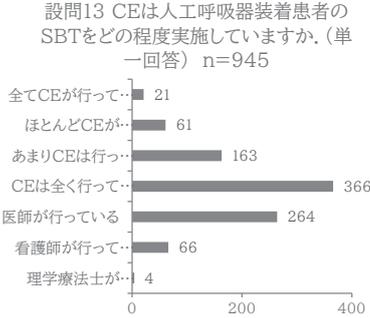
有効回答数：945

項目	n	割合
全てCEが行っている	21	2.2%
ほとんどCEが行っている	61	6.5%
あまりCEは行っていない	163	17.2%
CEは全く行っていない	366	38.7%
医師が行っている	264	27.9%
看護師が行っている	66	7.0%
理学療法士が行っている	4	0.4%

解説

全てまたはほとんどCEが実施している施設は8%

であり多くない。あまり CE が実施していない施設は 17% であり、今後増加してくる可能性が示唆された。



問14 CE は人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引を行っていますか。(単一回答)

目的：CE が実施する人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引の状況を把握する。

定義：CE が実施する人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引の状況を選択してください。(タスク・シフト関連)

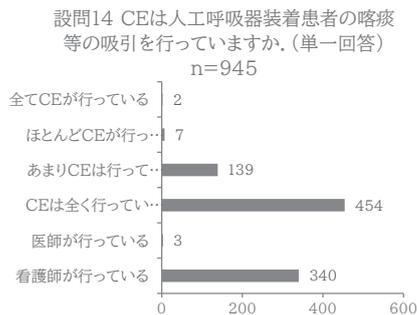
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：945

項目	n	割合
全て CE が行っている	2	0.2%
ほとんど CE が行っている	7	0.7%
あまり CE は行っていない	139	14.7%
CE は全く行っていない	454	48.0%
医師が行っている	3	0.3%
看護師が行っている	340	36.0%

解説

CE が全く実施していない施設が 48% であり約半数は実施していない。



問15 CE が HFNC において実施する業務どれですか。(複数回答)

目的：CE が実施する HFNC の状況を把握する。

定義：CE が実施する HFNC の状況を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：945

項目	n	割合
機器の貸し出しや消耗品の払い出し準備	707	74.8%
機器の貸し出しや消耗品の払い出し準備	666	70.5%
カニューラや装置の選択	511	54.1%
CEによる機器の定期的な精度確認	501	53.0%
患者へのカニューラ等の装着	424	44.9%
酸素流量・酸素濃度・加温加湿器設定	398	42.1%
患者状態による加温加湿器設定の変更	344	36.4%
患者状態等による酸素流量・酸素濃度の変更	288	30.5%
実施内容のカルテや経過表への記録	250	26.5%
HFNC は全く使用されていない	150	15.9%
HFNC を使用しているが CE は全く関与していない	22	2.3%

解説

貸出 75%、準備 70% が多かった。接続や設定は 40% 台であり、人工呼吸器と同様の関りを行っている施設も見られた。

設問15 CEがHFNCにおいて実施する業務どれですか。(複数回答) n=945



問16 CEが酸素療法（HFNCは除く）について実施する業務はどれですか。（複数回答）

目的：CEが実施する酸素療法（HFNCは除く）の状況を把握する。

定義：CEが実施する酸素療法（HFNCは除く）の状況を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

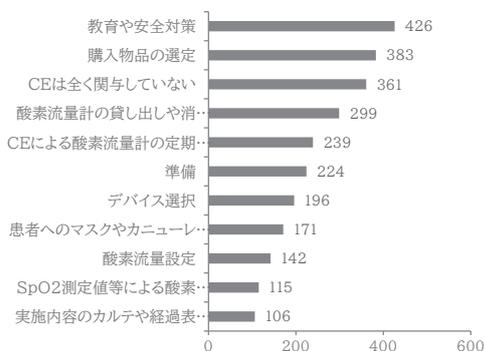
有効回答数：945

項目	n	割合
教育や安全対策	426	45.1%
購入物品の選定	383	40.5%
CEは全く関与していない	361	38.2%
酸素流量計の貸し出しや消耗品の払い出し	299	31.6%
CEによる酸素流量計の定期的な精度確認	239	25.3%
準備	224	23.7%
デバイス選択	196	20.7%
患者へのマスクやカニューレの装着	171	18.1%
酸素流量設定	142	15.0%
SpO2測定値等による酸素流量の変更	115	12.2%
実施内容のカルテや経過表への記録	106	11.2%

解説

酸素療法への関りは教育や安全対策が45%と最も多かった。次いで、物品の選定、全く関りなしと続いた。

設問16 CEが酸素療法(HFNCは除く)について実施する業務はどれですか。(複数回答)n=945



問17 CEが実施する排痰補助装置の業務はどれですか。（複数回答）

目的：CEが実施する排痰補助装置の状況を把握する。

定義：CEが実施する排痰補助装置の状況を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：945

項目	n	割合
排痰補助装置は全く使用されていない	474	50.2%
排痰補助装置を使用しているがCEは全く関与していない	201	21.3%
排痰補助装置の貸し出しや消耗品の払い出し	180	19.0%
機器購入時の選定	154	16.3%
教育や安全対策	153	16.2%
準備	148	15.7%
デバイス選択	138	14.6%
初期設定	113	12.0%
患者への装着	97	10.3%
CEによる機器の定期的な精度確認	89	9.4%
患者状態等による設定の変更	81	8.6%
実施内容のカルテや経過表への記録	49	5.2%
排痰療法実施時の呼気介助やスクイーミング	35	3.7%
気管チューブ挿入患者での気管内吸引	30	3.2%

解説

気管内吸引やスクイーミング等は関りが低かった。その他も10%台と全体的に関わりが低いことが推定された。

設問17 CEが実施する排痰補助装置の業務はどれですか。(複数回答)n=945



問18 CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の業務はどれですか。(複数回答)

目的：CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の状況を把握する。

定義：CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の状況を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

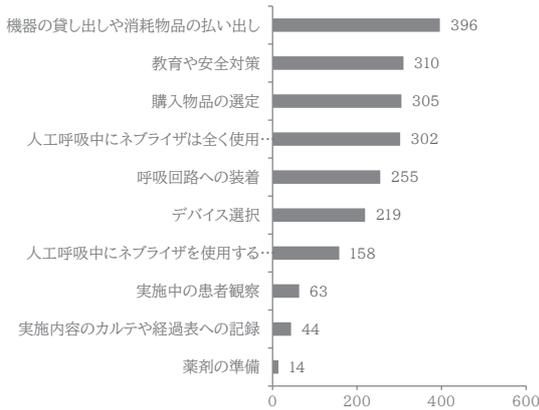
有効回答数：945

項目	n	割合
機器の貸し出しや消耗物品の払い出し	396	41.9%
教育や安全対策	310	32.8%
購入物品の選定	305	32.3%
人工呼吸中にネブライザは全く使用されていない	302	32.0%
呼吸回路への装着	255	27.0%
デバイス選択	219	23.2%
人工呼吸中にネブライザを使用することがあるがCEは全く関与していない	158	16.7%
実施中の患者観察	63	6.7%
実施内容のカルテや経過表への記録	44	4.7%
薬剤の準備	14	1.5%

解説

機器の貸し出しや消耗物品の払い出しが42%と最も多かった。その他は、安全対策、物品の選定と続いた。

設問18 CEが実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の業務はどれですか。(複数回答)n=945



問19 CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対するCPAP・ASVやNPPVの業務はどれですか。(複数回答)

目的：CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対するCPAP、ASVやNPPVの業務の状況を把握する。

定義：CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対するCPAP、ASVやNPPVの業務の状況を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：945

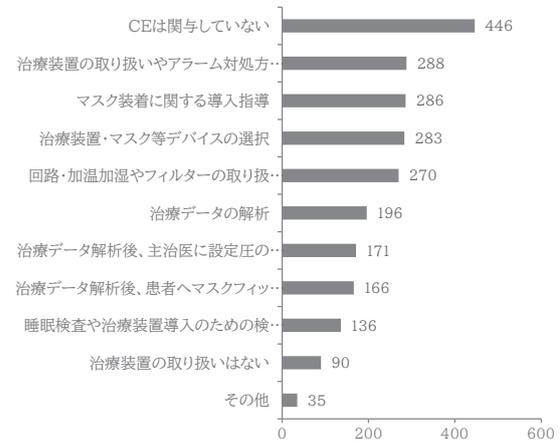
項目	n	割合
CEは関与していない	446	47.2%
治療装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	288	30.5%
マスク装着に関する導入指導	286	30.3%
治療装置・マスク等デバイスの選択	283	29.9%
回路・加温加湿やフィルターの取り扱いに関する導入指導	270	28.6%
治療データの解析	196	20.7%
治療データ解析後、主治医に設定圧の変更提案やマスクや治療装置の変更提案を行っている	171	18.1%
治療データ解析後、患者へマスクフィッティングの再指導を行っている	166	17.6%
睡眠検査や治療装置導入のための検査、あるいは評価の業務に関わっている。	136	14.4%
治療装置の取り扱いはない	90	9.5%
その他	35	3.7%

その他: 必要時のみ対応(10)、貸出・レンタル・業者対応(6)、遠隔モニタリングデータ取り込み(4)、臨床検査技師が開導している(3)、介入予定(2)

解説

治療装置の取り扱いやアラーム対応方法に関する導入指導、マスク装置に関する導入指導、治療装置・マスク等デバイスの選択に約3割が関与していたが、CEは関与していない施設が47%あり、今後増加して来る可能性が示唆された。

設問19 CEが院内で実施する睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対するCPAP・ASVやNPPVの業務はどれですか。(複数回答)n=945



問20 在宅酸素療法を使用される患者が入院する際、CEが実施する業務内容を選択してください。(複数回答)

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅酸素療法の具体的な内容を把握する。

定義：CEが入院時の在宅酸素療法に関して実施する業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：778

項目	n	割合
ラウンド点検	300	38.6%
作動状況のチェック	282	36.2%
受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	224	28.8%
入院受け入れは行っていない	118	15.2%
設定の見直し	108	13.9%
自宅から搬送	17	2.2%
その他	194	24.9%

その他：関与していない(109), 必要時・トラブル対応のみ(19), 業者・メーカー対応(13), ポンベ残量確認(6), 教育(4), 回路交換や人工呼吸器の交換(4), 看護師が対応(3), 対象患者なし(2),

解説

対応は、作動状況のチェック 36%、ラウンド点検 39%であった。一方、関与していない施設は 109 施設、必要時・トラブル対応のみは 19 施設だった。

設問20 在宅酸素療法を使用される患者が入院する際、CEが実施する業務内容を選択してください。(複数回答)n=778



VI. 施設報告 在宅呼吸療法アドオン

問1 所属する都道府県技士会、問2 施設名は省略する。

問3 CEが在宅医療機器の導入もしくは在宅管理を実施している機器を教えてください。(複数回答)

目的：在宅治療の実施状況を把握する。

定義：在宅治療を実施している機器を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：480

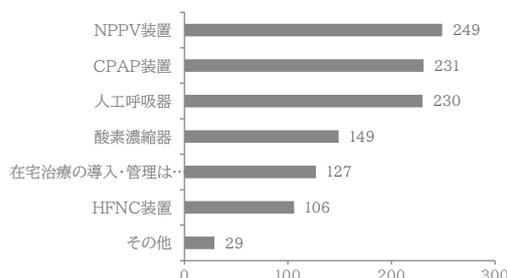
項目	n	割合
NPPV装置	249	51.9%
CPAP装置	231	48.1%
人工呼吸器	230	47.9%
酸素濃縮器	149	31.0%
在宅治療の導入・管理は実施していない	127	26.5%
HFNC装置	106	22.1%
その他	29	6.0%

経静脈栄養、経腸栄養ポンプ(5), 行っていない(4), PCAポンプ(3), NICU, 小児科のみ(3), 入院中の導入のみ実施(2), ASV(2), 補助人工心臓(2)

解説

半数の施設でCEが人工呼吸器、NPPV装置、CPAP装置の導入、管理に関わっている。

設問3 CEが在宅医療機器の導入もしくは在宅管理を実施している機器を教えてください n=480



問4 CEが在宅機器の導入時の機種選定について関わっている項目はどれですか。(複数回答)

目的：在宅機器導入時の機種選定の関与を把握する。

定義：在宅機器の導入時の機種選定について関わりを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

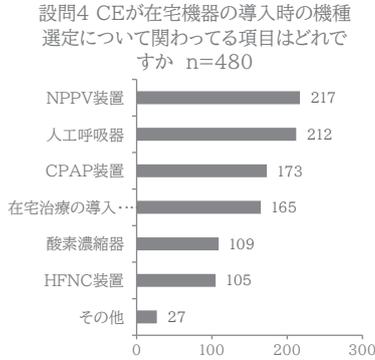
有効回答数：480

項目	n	割合
NPPV装置	217	45.2%
人工呼吸器	212	44.2%
CPAP装置	173	36.0%
在宅治療の導入・管理は実施していない	165	34.4%
酸素濃縮器	109	22.7%
HFNC装置	105	21.9%
その他	27	5.6%

その他：関与していない(13), 医師の判断(9), NICU, 小児科のみ(3), 経長栄養ポンプ 経管栄養ポンプ(3), ASV(2)

解説

CE が在宅機器の導入時の機種選定について関わる項目は、NPPV 装置が最も多く 45%、次いで人工呼吸器 44%、CPAP 装置 36% であった。一方、在宅治療の導入・管理は実施していないは 34% であった。



問5 CE が在宅管理の移行に向けて人工呼吸管理 (TPPV) の導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的:在宅管理の移行に向け人工呼吸管理 (TPPV) の導入後から退院までの関与を把握する。

定義:在宅管理の移行に向け人工呼吸管理 (TPPV) の導入後から退院までの関与を選択してください。

対象:2023年10月1日時点

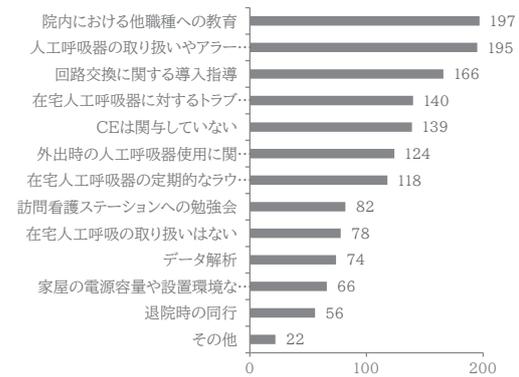
有効回答数:480

項目	n	割合
院内における他職種への教育	197	41.0%
人工呼吸器の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	195	40.6%
回路交換に関する導入指導	166	34.6%
在宅人工呼吸器に対するトラブル対応	140	29.2%
CEは関与していない	139	29.0%
外出時の人工呼吸器使用に関する導入指導	124	25.8%
在宅人工呼吸器の定期的なラウンド点検	118	24.6%
訪問看護ステーションへの勉強会	82	17.1%
在宅人工呼吸の取り扱いはない	78	16.3%
データ解析	74	15.4%
家屋の電源容量や設置環境などの調査	66	13.8%
退院時の同行	56	11.7%
その他	22	4.6%

解説

導入指導や多職種の教育に関わることが多い。業者に連絡のみ行う施設もみられる。

設問5 CEが在宅管理の移行に向けて人工呼吸管理 (TPPV) の導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか n=480



問6 CE が在宅管理の移行に向け NPPV の導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的:在宅管理の移行に向け NPPV の導入後から退院までの関与を把握する。

定義:在宅管理の移行に向け NPPV の導入後から退院までの関与を選択してください。 ※ NPPV に睡眠時無呼吸に対する CPAP と ASV は含まない

対象:2023年10月1日時点

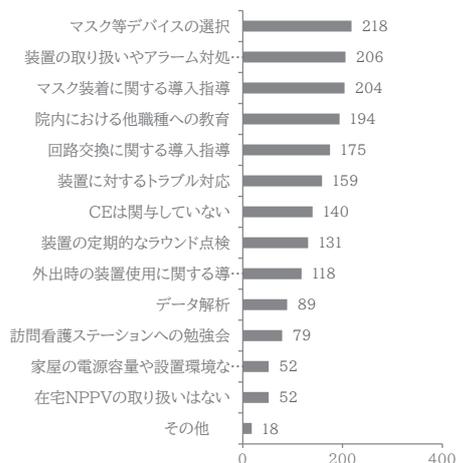
有効回答数:480

項目	n	割合
マスク等デバイスの選択	218	45.4%
装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	206	42.9%
マスク装着に関する導入指導	204	42.5%
院内における他職種への教育	194	40.4%
回路交換に関する導入指導	175	36.5%
装置に対するトラブル対応	159	33.1%
CEは関与していない	140	29.2%
装置の定期的なラウンド点検	131	27.3%
外出時の装置使用に関する導入指導	118	24.6%
データ解析	89	18.5%
訪問看護ステーションへの勉強会	79	16.5%
家屋の電源容量や設置環境などの調査	52	10.8%
在宅 NPPV の取り扱いはない	52	10.8%
その他	18	3.8%

解説

マスクなどのデバイス選択や導入指導を実施している施設が多い。

設問6 CEが在宅管理の移行に向けNPPVの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか n=480



設問7 CEが在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか n=480



問7 CEが在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的：在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までの関与の把握する。

定義：在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までの関与を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：480

項目	n	割合
CEは関与していない	192	40.0%
在宅NPPVの取り扱いはない	123	25.6%
装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	104	21.7%
カニユーレ等デバイスの選択	97	20.2%
院内における他職種への教育	93	19.4%
カニユーレ装着に関する導入指導	87	18.1%
回路交換に関する導入指導	84	17.5%
装置に対するトラブル対応	77	16.0%
装置の定期的なラウンド点検	66	13.8%
外出時の装置使用に関する導入指導	58	12.1%
訪問看護ステーションへの勉強会	41	8.5%
家屋の電源容量や設置環境などの調査	37	7.7%
データ解析	14	2.9%
その他	44	9.2%

解説

HFNCを取り扱っていない施設が約3割であり、CEがHFNCに関与している施設が少ない。

問8 CEが在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関わりにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的：在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関与の把握する。

定義：在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関与を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

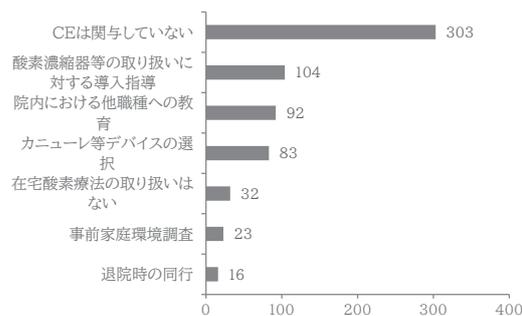
有効回答数：480

項目	n	割合
CEは関与していない	303	63.1%
酸素濃縮器等の取り扱いに対する導入指導	104	21.7%
院内における他職種への教育	92	19.2%
カニユーレ等デバイスの選択	83	17.3%
在宅酸素療法の取り扱いはない	32	6.7%
事前家庭環境調査	23	4.8%
退院時の同行	16	3.3%
その他	24	5.0%

解説

半数以上の施設でCEが関与していない。その他として、メーカーへの連絡係として関わっている施設もある。

設問8 CEが在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関わりにおいて、どのようなことを実施されていますか n=480



問9 在宅用医療機器を使用している患者が入院により在宅用医療機器を院内に持ち込み使用される際、どのような機器の場合 CE へ連絡が来る体制となっているか。(複数回答)

目的：在宅患者が入院する場合の連絡体制構築状況を把握する。

定義：入院時の連絡体制は、どの機種における体制を構築しているか選択してください。

対象：2023年10月1日時点

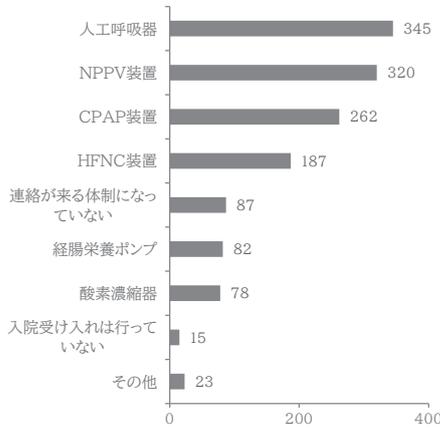
有効回答数：480

項目	n	割合
人工呼吸器	345	71.9%
NPPV 装置	320	66.7%
CPAP 装置	262	54.6%
HFNC 装置	187	39.0%
連絡が来る体制になっていない	87	18.1%
経腸栄養ポンプ	82	17.1%
酸素濃縮器	78	16.3%
入院受け入れは行っていない	15	3.1%
その他	23	4.8%

解説

院内持ち込み機器として人工呼吸器や NPPV 装置がある場合は CE に連絡が来る施設が多い。課題として連絡がくる場合と来ない場合がある。

設問9 在宅用医療機器を使用している患者が入院により在宅用医療機器を院内に持ち込み使用される際、どのような機器の場合 CE へ連絡が来る体制となっているか n=480



問10 問9で人工呼吸器 (TPPV や NPPV) 患者入院時に CE へ連絡が来る体制になっていないと回答した施設へ質問です。体制の構築をされていない要因や理由を教えてください。(複数回答)

目的：体制の構築をされていない要因や理由を把握する。

定義：体制を構築されていない要因や理由を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

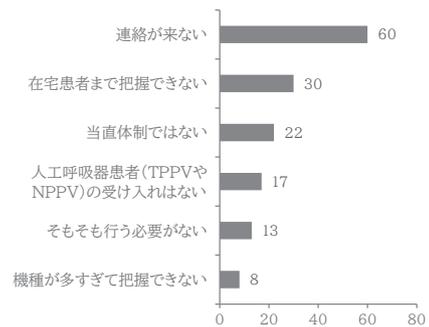
有効回答数：105

項目	n	割合
連絡が来ない	60	57.1%
在宅患者まで把握できない	30	28.6%
当直体制ではない	22	21.0%
人工呼吸器患者 (TPPV や NPPV) の受け入れはない	17	16.2%
そもそも行う必要がない	13	12.4%
機種が多すぎて把握できない	8	7.6%

解説

連絡がこないのは、連絡体制が無いのか、連絡体制はあっても連絡がこないのか不明である。また、人員不足や夜間体制などの課題がある。

設問10 体制の構築をされていない要因や理由を教えてください n=105



問11 在宅人工呼吸器 (TPPV) を使用される患者が入院する際、CE はどのようなことを実施しますか。実施することがある業務内容を選択してください。(複数回答)

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅人工呼吸器の具体的な内容について把握する。

定義：CE が入院時の在宅人工呼吸器に関して実施する業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：436

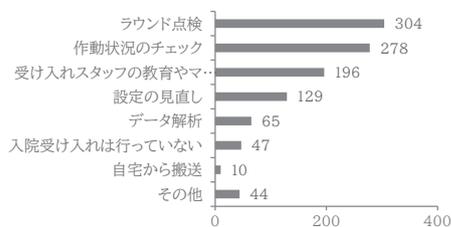
項目	n	割合
ラウンド点検	304	69.7%
作動状況のチェック	278	63.8%
受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	196	45.0%
設定の見直し	129	29.6%
データ解析	65	14.9%
入院受け入れは行っていない	47	10.8%
自宅から搬送	10	2.3%
その他	44	10.1%

その他:関与していない(7),依頼があれば対応する(5),院内機器への交換(4),症例なし(4),使用機材の準備(3),業者との連絡(3),機器トラブル時の対応(夜勤者が夜間は対応)(3)

解説

半数以上の施設がラウンド点検や作動状況のチェックを実施している。トラブル対応のみの施設もみられる。

設問11 在宅人工呼吸器(TPPV)を使用される患者が入院する際、CEはどのようなことを実施しますか、実施することがある業務内容を選択してください n=436



問12 在宅NPPVを使用される患者が入院する際、CEが実施する業務内容を選択してください。(複数回答)

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅NPPVの具体的な内容の把握する。

定義：CEが入院時の在宅NPPVに関して実施する業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

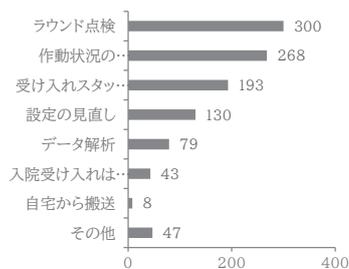
有効回答数：434

項目	n	割合
ラウンド点検	300	69.1%
作動状況のチェック	268	61.8%
受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	193	44.5%
設定の見直し	130	30.0%
データ解析	79	18.2%
入院受け入れは行っていない	43	9.9%
自宅から搬送	8	1.8%
その他	47	10.8%

解説

半数以上の施設がラウンド点検や作動状況のチェックを実施している。TPPV同様トラブル対応のみの施設もみられる。

設問12 在宅NPPVを使用される患者が入院する際、CEが実施する業務内容を選択してください n=434



問13 在宅HFNCを使用される患者が入院する際、CEが実施する業務内容を選択してください。(複数回答)

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅HFNCの具体的な内容について把握する。

定義：CEが入院時の在宅HFNCに関して実施する業務を選択してください。

有効回答数：408

項目	n	割合
ラウンド点検	185	45.3%
作動状況のチェック	157	38.5%
受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	115	28.2%
入院受け入れは行っていない	115	28.2%
設定の見直し	77	18.9%
データ解析	33	8.1%
自宅から搬送	7	1.7%
その他	80	19.6%

その他：症例無し(32),関与していない(12),院内機器への交換(6),機器トラブル対応(3),業者との連絡(3)

解説

ラウンド点検や作動状況のチェックを実施している施設が多い。一方、在宅HFNC受け入れ実績がなく関与していない施設も半数の施設でみられる。

設問13 在宅HFNCを使用される患者が入院する際、CEが実施する業務内容を選択してください n=408



問14 在宅療養中の人工呼吸患者(TPPV)に対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅人工呼吸患者(TPPV)への関与の把握する。

定義：在宅人工呼吸患者(TPPV)への関与を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

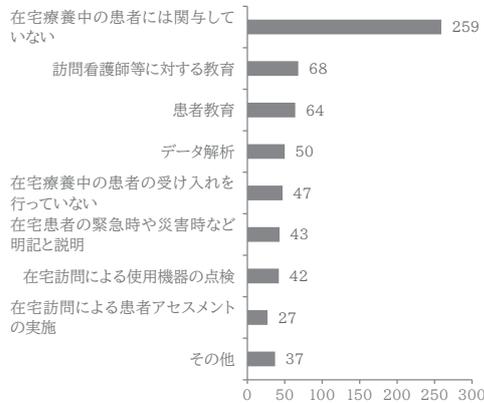
有効回答数：439

項目	n	割合
在宅療養中の患者には関与していない	259	59.0%
訪問看護師等に対する教育	68	15.5%
患者教育	64	14.6%
データ解析	50	11.4%
在宅療養中の患者の受け入れを行っていない	47	10.7%
在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明	43	9.8%
在宅訪問による使用機器の点検	42	9.6%
在宅訪問による患者アセスメントの実施	27	6.2%
その他	37	8.4%

解説

在宅療養中の患者には関与していない施設が多い。
外来受診時のみ対応する施設もみられる。

設問14 在宅療養中の人工呼吸患者(TPPV) に対して関わっている業務を教えてください n=439



問15 在宅療養中のNPPVに対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅NPPVへの関与を把握する。

定義：在宅NPPVへの関与を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

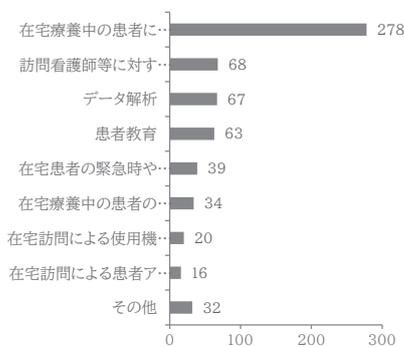
有効回答数：439

項目	n	割合
在宅療養中の患者には関与していない	278	63.3%
訪問看護師等に対する教育	68	15.5%
データ解析	67	15.3%
患者教育	63	14.4%
在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明	39	8.9%
在宅療養中の患者の受け入れを行っていない	34	7.7%
在宅訪問による使用機器の点検	20	4.6%
在宅訪問による患者アセスメントの実施	16	3.6%
その他	32	7.3%

解説

TPPV同様、在宅療養中の患者には関与していない施設が多い。外来受診時のみ対応する施設もみられる。

設問15 在宅療養中のNPPVに対して関わっている業務を教えてください n=439



問16 在宅療養中のHFNCに対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅HFNCへの関与を把握する。

定義：在宅HFNCへの関与を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

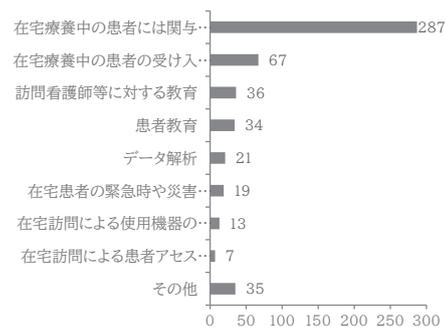
有効回答数：427

項目	n	割合
在宅療養中の患者には関与していない	287	67.2%
在宅療養中の患者の受け入れを行っていない	67	15.7%
訪問看護師等に対する教育	36	8.4%
患者教育	34	8.0%
データ解析	21	4.9%
在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明	19	4.4%
在宅訪問による使用機器の点検	13	3.0%
在宅訪問による患者アセスメントの実施	7	1.6%
その他	35	8.2%

解説

TPPV, NPPV同様、在宅療養中の患者には関与していない施設が多い。対象患者が少ないことも関与していない要因のひとつと考えられる。

設問16 在宅療養中のHFNCに対して関わっている業務を教えてください n=427



問17 在宅療養中の酸素療法に対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅酸素療法の関与を把握する。

定義：在宅酸素療法の関与を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

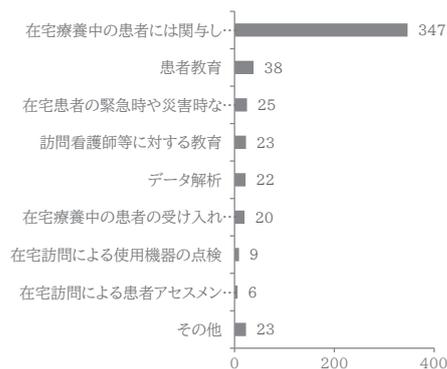
有効回答数：440

項目	n	割合
在宅療養中の患者には関与していない	347	78.9%
患者教育	38	8.6%
在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明	25	5.7%
訪問看護師等に対する教育	23	5.2%
データ解析	22	5.0%
在宅療養中の患者の受け入れを行っていない	20	4.5%
在宅訪問による使用機器の点検	9	2.0%
在宅訪問による患者アセスメントの実施	6	1.4%
その他	23	5.2%

解説

酸素療法に関わっている施設は約2割程度であり、在宅療養業務のなかで最も低い。

設問17 在宅療養中の酸素療法に対して関わっている業務を教えてください n=440



問18 在宅用医療機器の管理はどのようにされていますか。該当するものを選択してください。(複数回答)

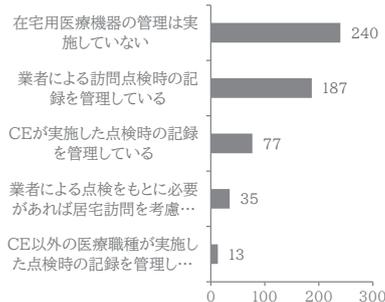
目的：在宅管理機器の管理について把握する。
 定義：在宅管理機器の管理について選択してください。
 対象：2023年10月1日時点
 有効回答数：480

項目	n	割合
在宅用医療機器の管理は実施していない	240	50.0%
業者による訪問点検時の記録を管理している	187	39.0%
CEが実施した点検時の記録を管理している	77	16.0%
業者による点検をもとに必要があれば居宅訪問を考慮する	35	7.3%
CE以外の医療職種が実施した点検時の記録を管理している	13	2.7%

解説

半数の施設で在宅用医療機器の管理は実施していない。業者による点検記録を管理している施設は約4割みられる。

設問18 在宅用医療機器の管理はどのようにされていますか。該当するものを選択してください n=480



問19 在宅管理機器の点検記録を保管されている施設へお伺いします。管理されている機種は何ですか。(複数回答)

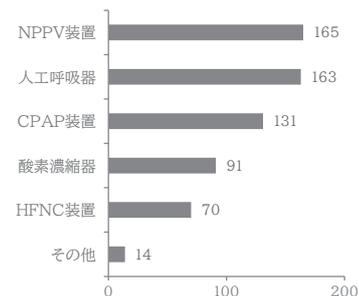
目的：在宅管理機器の点検記録を保管している機種を把握する。
 定義：点検記録を保管している在宅管理機器の種類を選択してください。
 対象：2023年10月1日時点
 有効回答数：223

項目	n	割合
NPPV装置	165	74.0%
人工呼吸器	163	73.1%
CPAP装置	131	58.7%
酸素濃縮器	91	40.8%
HFNC装置	70	31.4%
その他	14	6.3%

解説

人工呼吸器、NPPV装置の点検記録を管理している施設がほとんどであり、次いでCPAP装置が多い。その他として、経腸ポンプやPCAポンプがある。

設問19 在宅管理機器の点検記録を保管されている施設へお伺いします。管理されている機種は何ですか n=223



問20 呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を教えてください。(複数回答)

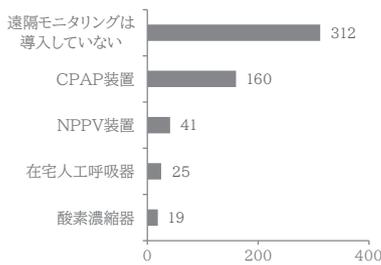
目的：呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種の把握する。
 定義：呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を選択してください。
 対象：2023年10月1日時点
 有効回答数：480

項目	n	割合
遠隔モニタリングは導入していない	312	65.0%
CPAP装置	160	33.3%
NPPV装置	41	8.5%
在宅人工呼吸器	25	5.2%
酸素濃縮器	19	4.0%

解説

約6割の施設が遠隔モニタリングを行っていない。遠隔モニタリングを行っている施設ではCPAP装置が最も多い。

設問20 呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を教えてください n=480



問21 呼吸関係の遠隔モニタリングにて、設定変更が必要な場合どのような対応を行なっていますか。(複数回答)

目的：データを解析してどのような対応を行なっているのか把握する。

定義：データを解析に対する対応方法を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

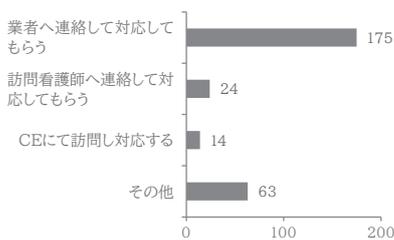
有効回答数：241

項目	n	割合
業者へ連絡して対応してもらう	175	72.6%
訪問看護師へ連絡して対応してもらう	24	10.0%
CEにて訪問し対応する	14	5.8%
その他	63	26.1%

解説

ほとんどの施設が業者に対応してもらっている。その他として、遠隔モニタリングでCEもしくは医師が設定変更する場合や外来受診時に対応する場合もみられる。

設問21 呼吸関係の遠隔モニタリングにて、設定変更が必要な場合どのような対応を行なっていますか



問22 在宅で起こったトラブルを知る手段について教えてください。(複数回答)

目的：在宅で起こったトラブルを知る手段を把握する。
定義：在宅で起こったトラブルを知る手段を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

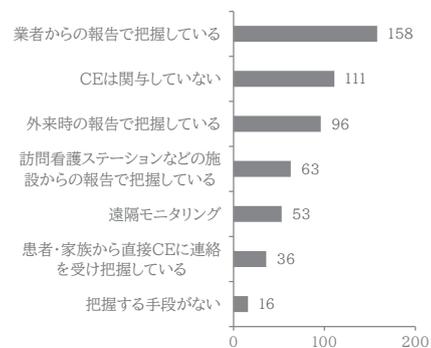
有効回答数：301

項目	n	割合
業者からの報告で把握している	158	52.5%
CEは関与していない	111	36.9%
外来時の報告で把握している	96	31.9%
訪問看護ステーションなどの施設からの報告で把握している	63	20.9%
遠隔モニタリング	53	17.6%
患者・家族から直接CEに連絡を受け把握している	36	12.0%
把握する手段がない	16	5.3%

解説

業者からの報告で把握している施設が半数である。

設問22 在宅で起こったトラブルを知る手段について教えてください n=301



問23 在宅で発生したトラブルなどの情報をインシデントやヒヤリハット報告などにより情報の共有化を行っていますか。(単一回答)

目的：在宅で発生したトラブル（インシデントやヒヤリハット）などの報告体制が構築している施設がどこから情報は共有されるか把握する。

定義：在宅で発生したトラブル（インシデントやヒヤリハット）などの情報共有方法を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

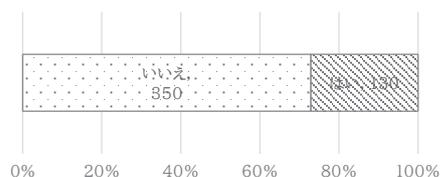
有効回答数：480

項目	n	割合
いいえ	700	84.3%
はい	130	15.7%

解説

ほとんどの施設が共有化していない。

設問23 在宅で発生したトラブルなどの情報をインシデントやヒヤリハット報告などにより情報の共有化を行っていますか n=480



問24 CE が在宅呼吸療法の在宅訪問を行った際に診療報酬点数が取得できるようになった場合、どのようなことがあれば退院前在宅訪問（事前家庭環境調査など）を開始もしくは対象範囲拡大を実施しますか。（複数回答）

目的：診療報酬の取得によってCEの業務拡大につながるのか把握する。

定義：診療報酬取得後の業務対応を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：480

項目	n	割合
要望があれば退院前在宅訪問を開始する	188	39.2%
人員補充があれば退院前在宅訪問を開始する	151	31.5%
要望があれば退院前在宅訪問の範囲を拡大する	70	14.6%
人員補充があれば退院前在宅訪問の範囲を拡大する	58	12.1%
診療報酬取得にかかわらず退院前在宅訪問は実施しない	53	11.1%
すぐに退院前在宅訪問を開始する	43	9.0%
診療報酬取得にかかわらず退院前在宅訪問の範囲は拡大しない	36	7.5%
すぐに退院前在宅訪問の範囲を拡大する	18	3.8%
既に全ての患者で退院前在宅訪問を実施している	17	3.5%
その他	42	8.8%

解説

約8割の施設が要望や人員補充があれば開始もしくは拡大を検討している。

設問24 CEが在宅呼吸療法の在宅訪問を行った際に診療報酬点数が取得できるようになった場合、どのようなことがあれば退院前在宅訪問（事前家庭環境調査など）を開始もしくは対象範囲拡大を実施しますか n=480



VII. 施設報告 集中治療・救急アドオン

問1 所属する都道府県技士会、問2 施設名は省略する。

問3 算定されている集中治療関連の特定入院料を選択してください（複数回答）。

目的：集中治療室関連の設置状況を把握する。

定義：算定されている集中治療関連の特定入院料を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

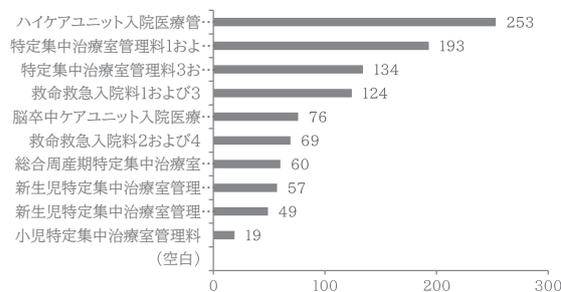
有効回答数：467

項目	n	割合
ハイケアユニット入院医療管理料	253	54.2%
特定集中治療室管理料1および2	193	41.3%
特定集中治療室管理料3および4	134	28.7%
救命救急入院料1および3	124	26.6%
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	76	16.3%
救命救急入院料2および4	69	14.8%
総合周産期特定集中治療室管理料	60	12.8%
新生児特定集中治療室管理料2	57	12.2%
新生児特定集中治療室管理料1	49	10.5%
小児特定集中治療室管理料	19	4.1%

解説

ハイケアユニット入院医療管理料を算定している施設が最も多く54%であった。

設問3 算定されている集中治療関連の特定入院料を選択してください（複数回答） n=467



問4 問3で、特定集中治療室管理料1～4・救命救急入院料2および4を算定していると回答された施設にお尋ねします。令和4年度に新設された重症患者対応体制強化加算を算定していますか。算定していない場合は、その理由を選択してください。(複数回答)

目的：新設された加算獲得に対する弊害要因を把握する。

定義：重症患者対応体制強化加算を算定できない理由を選択してください。※専従とは、担当者となっており、その他の業務は緊急時以外は行わないものとする。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：328

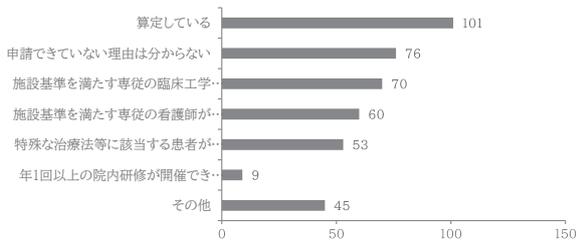
項目	n	割合
算定している	101	30.8%
申請できていない理由は分からない	76	23.2%
施設基準を満たす専従の臨床工学技士が不在	70	21.3%
施設基準を満たす専従の看護師が不在	60	18.3%
特殊な治療法等に該当する患者が1割5分未満である	53	16.2%
年1回以上の院内研修が開催できない	9	2.7%
その他	45	13.7%

その他：特定機能病院であるため(10)、不明(9)、算定要件を満たしていない(4)、医師がいらない(1)、総合入院体制加算を届け出しているため(1)、大学病院での算定ができない(1)、人員不足(1)、外部受講の未受講(1)、院内の体制が整っていない(1)、現在構築中(1)。

解説

重症患者対応体制強化加算を算定している病院は約3割であり、申請できてない理由として施設基準を満たすCEが不在との回答が21%だった。

設問4 令和4年度に新設された重症患者対応体制強化加算を算定していますか。算定していない場合は、その理由を選択してください。(複数回答) n=328



問5 ICU (CCU・EICU・PICU 含む) を標榜している総ベッド数を教えてください。

目的：ICUの総ベッド数を把握する。

定義：ICUのベッド数を入力してください。ない場合は0を選択してください。※0を入力した場合は、設問12に進んでください。

対象：2023年10月1日時点

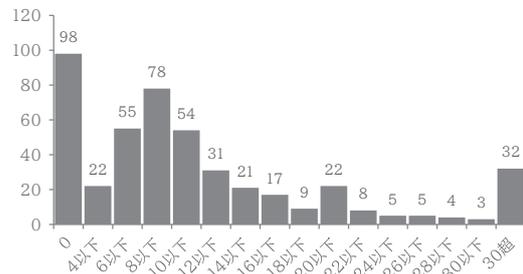
有効回答数：464

項目	n	割合
0	98	21.1%
4以下	22	4.7%
6以下	55	11.9%
8以下	78	16.8%
10以下	54	11.6%
12以下	31	6.7%
14以下	21	4.5%
16以下	17	3.7%
18以下	9	1.9%
20以下	22	4.7%
22以下	8	1.7%
24以下	5	1.1%
26以下	5	1.1%
28以下	4	0.9%
30以下	3	0.6%
30超	32	6.9%

解説

1～10床の施設で45%を占めた。

問5 ICU(CCU・EICU・PICU含む)を標榜している総ベッド数を教えてください。 n=464



問6 平日の日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) におけるCEの配置数(平均的な数値)を選択してください。

目的:平日のICUのCE人員配置の実態を把握する。
 定義:平日の日勤帯にICU業務を行っているCEの人数を入力してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を選択。

対象:2023年10月1日時点

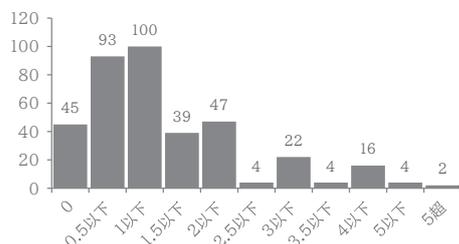
有効回答数:376

項目	n	割合
0	45	12.0%
0.5以下	93	24.7%
1以下	100	26.6%
1.5以下	39	10.4%
2以下	47	12.5%
2.5以下	4	1.1%
3以下	22	5.9%
3.5以下	4	1.1%
4以下	16	4.3%
5以下	4	1.1%
5超	2	0.5%

解説

0が約1割、0.5以下、1以下で約5割51.3%を占めた。

問6 平日の日勤帯にICU(CCU・EICU・PICU含む)におけるCEの配置数(平均的な数値)を選択してください。n=376



問7 休日の日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) におけるCEの配置数(平均的な数値)を選択してください。

目的:休日のICUのCE人員配置の実態を把握する。
 定義:休日の日勤帯にICU業務を行っているCEの人数を入力してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を選択。

対象:2023年10月1日時点

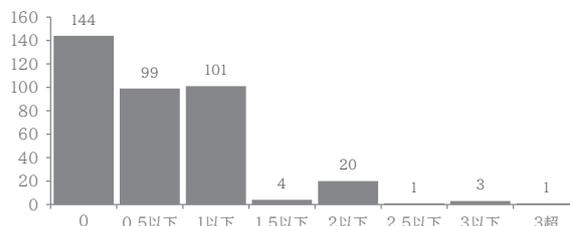
有効回答数:373

項目	n	割合
0	144	38.6%
0.5以下	99	26.5%
1以下	101	27.1%
1.5以下	4	1.1%
2以下	20	5.4%
2.5以下	1	0.3%
3以下	3	0.8%
3超	1	0.3%

解説

0が約4割と最も多く、0.5以下、1以下で約5割を占めた。

問7 休日の日勤帯にICU(CCU・EICU・PICU含む)におけるCEの配置数(平均的な数値)を選択してください。n=373



問8 夜勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) におけるCEの配置数(平均的な数値)を選択してください。

目的:夜勤帯のICUのCE人員配置の実態を把握する。

定義:夜勤帯にICU業務を行っているCEの人数を入力してください。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を選択。

対象:2023年10月1日時点

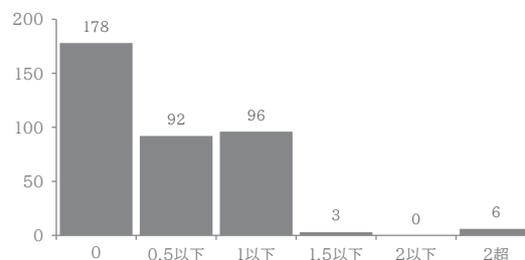
有効回答数:375

項目	n	割合
0	178	47.5%
0.5以下	92	24.5%
1以下	96	25.6%
1.5以下	3	0.8%
2以下	0	0.0%
2超	6	1.6%

解説

0が約5割と最も多く、0.5以下、1以下で約5割を占めた。

問8 夜勤帯にICU(CCU・EICU・PICU含む)におけるCEの配置数(平均的な数値)を選択してください。n=375



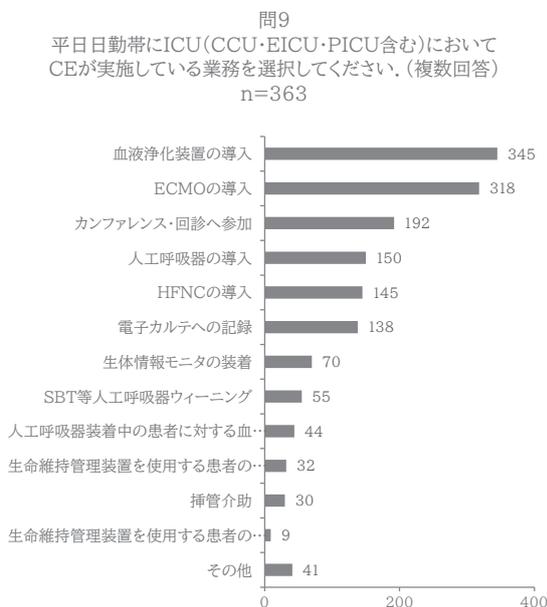
問9 平日日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU含む) においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答)

目的：平日日勤帯のICUの業務内容を把握する。
 定義：平日日勤帯に関与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。(タスク・シフト関連)
 対象：2023年10月1日時点
 有効回答数：363

項目	n	割合
血液浄化装置の導入	345	95.0%
ECMOの導入	318	87.6%
カンファレンス・回診へ参加	192	52.9%
人工呼吸器の導入	150	41.3%
HFNCの導入	145	39.9%
電子カルテへの記録	138	38.0%
生体情報モニタの装着	70	19.3%
SBT等人工呼吸器ウィーニング	55	15.2%
人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血	44	12.1%
生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更	32	8.8%
挿管介助	30	8.3%
生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去	9	2.5%
その他	41	11.3%
その他:人工呼吸器の使用 midpoint検(9)		

解説

血液浄化装置の導入が最も多く95%、次いでECMOの導入88%であった。カンファレンス・回診への参加53%であった。



問10 休日日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU含む) においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答)

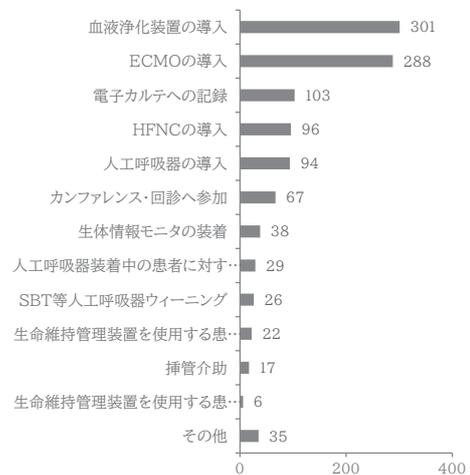
目的：休日日勤帯のICUの業務内容を把握する。
 定義：休日日勤帯に関与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする。(タスク・シフト関連)
 対象：2023年10月1日時点
 有効回答数：325

項目	n	割合
血液浄化装置の導入	301	92.6%
ECMOの導入	288	88.6%
電子カルテへの記録	103	31.7%
HFNCの導入	96	29.5%
人工呼吸器の導入	94	28.9%
カンファレンス・回診へ参加	67	20.6%
生体情報モニタの装着	38	11.7%
人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血	29	8.9%
SBT等人工呼吸器ウィーニング	26	8.0%
生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更	22	6.8%
挿管介助	17	5.2%
生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去	6	1.8%
その他	35	10.8%

解説

血液浄化装置の導入が最も多く93%であった。

設問10休日日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU含む)においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答) n=325



問11 夜勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む) においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答)

目的：夜勤帯のICUの業務内容を把握する。

定義：夜勤帯に参与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日本の日曜日および祝日とする。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする。(タスク・シフト関連)

対象：2023年10月1日時点

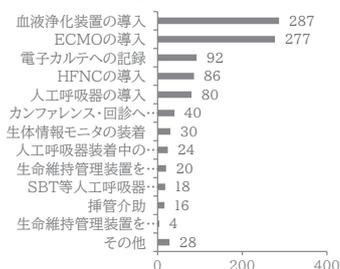
有効回答数：313

項目	n	割合
血液浄化装置の導入	287	91.7%
ECMOの導入	277	88.5%
電子カルテへの記録	92	29.4%
HFNCの導入	86	27.5%
人工呼吸器の導入	80	25.6%
カンファレンス・回診へ参加	40	12.8%
生体情報モニタの装着	30	9.6%
人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血	24	7.7%
生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更	20	6.4%
SBT等人工呼吸器ウィーニング	18	5.8%
挿管介助	16	5.1%
生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去	4	1.3%
その他	28	8.9%

解説

血液浄化装置の導入が最も多く92%であった。

問11 夜勤帯にICU(CCU・EICU・PICU含む)においてCEが実施している業務を選択してください。(複数回答) n=313



問12 NICUを標榜している総ベッド数を教えてください。

目的：NICUの総ベッド数を把握する。

定義：NICUのベッド数を選択してください。(ない場合は0を選択し、設問20にお進みください。)

対象：2023年10月1日時点

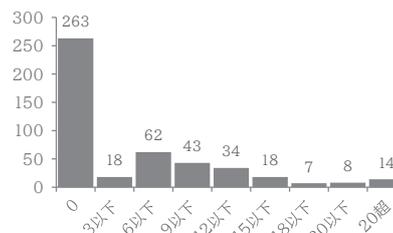
有効回答数：467

項目	n	割合
0	263	56.3%
3以下	18	3.9%
6以下	62	13.3%
9以下	43	9.2%
12以下	34	7.3%
15以下	18	3.9%
18以下	7	1.5%
20以下	8	1.7%
20超	14	3.0%

解説

1～9床で26%を占めた。

問12 NICUを標榜している総ベッド数を教えてください。n=467



問13 平日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数を選択してください。

目的：平日のNICUのCE人員配置の実態を把握する。

定義：NICU業務を行っているCEの人数(平均的な数値)を選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30がおおむね含む勤務とする。※1人あたり4時間未満の場合は0.5, 4時間以上の場合は1を選択する。

対象：2023年10月1日時点

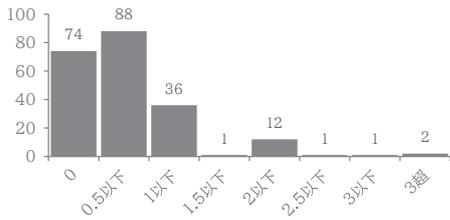
有効回答数：215

項目	n	割合
0	74	34.4%
0.5以下	88	40.9%
1以下	36	16.7%
1.5以下	1	0.5%
2以下	12	5.6%
2.5以下	1	0.5%
3以下	1	0.5%
3超	2	0.9%

解説

0.5以下, 1以下で58%を占めた。

問13 平日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数を選択してください。
n=215



問14 休日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数(平均的な数値)を選択してください。

目的: 休日の日勤帯のNICUのCE人員配置の実態を把握する。

定義: 休日の日勤帯にNICU業務を行っているCEの人数を選択してください。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする。※1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を選択する。

対象: 2023年10月1日時点

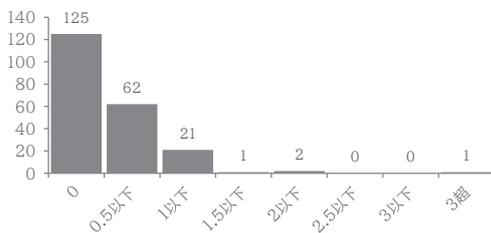
有効回答数: 212

項目	n	割合
0	125	59.0%
0.5以下	62	29.2%
1以下	21	9.9%
1.5以下	1	0.5%
2以下	2	0.9%
2.5以下	0	0.0%
3以下	0	0.0%
3超	1	0.5%

解説

0.5以下、1以下で39%を占めた。

問14 休日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数(平均的な数値)を選択してください。
n=212



問15 夜勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数(平均的な数値)を選択してください。

目的: 夜勤帯のNICUのCE人員配置の実態を把握する。

定義: 夜勤帯にNICU業務を行っているCEの人数を選択してください。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする。※1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を選択する。

対象: 2023年10月1日時点

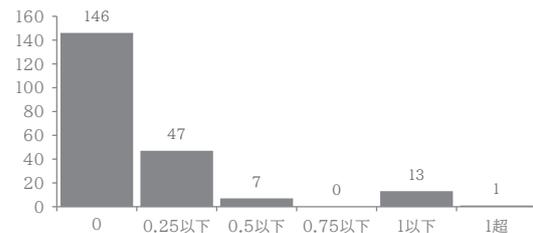
有効回答数: 214

項目	n	割合
0	146	68.2%
0.25以下	47	22.0%
0.5以下	7	3.3%
0.75以下	0	0.0%
1以下	13	6.1%

解説

0.25以下、0.5以下で25%を占めた。

問15 夜勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数(平均的な数値)を選択してください。
n=214



問16 NICUにて実施している治療を選択してください。(複数回答)

目的: NICUにおける治療の種類の実態を把握する。

定義: NICUにて実施されている治療を選択してください。※CEの実施ではない。

対象: 2023年10月1日時点

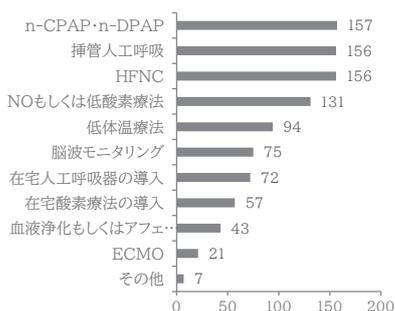
有効回答数: 189

項目	n	割合
n-CPAP・n-DPAP	157	83.1%
挿管人工呼吸	156	82.5%
HFNC	156	82.5%
NOもしくは低酸素療法	131	69.3%
低体温療法	94	49.7%
脳波モニタリング	75	39.7%
在宅人工呼吸器の導入	72	38.1%
在宅酸素療法の導入	57	30.2%
血液浄化もしくはアフエリス療法	43	22.8%
ECMO	21	11.1%
その他	7	3.7%

解説

n-CPAP・n-DPAPが83.1%と最も多く、次いで挿管人工呼吸、HFNCがそれぞれ82.5%であった。

問16 NICUにて実施している治療を選択してください。(複数回答) n=189



問17 NICUにてCEが回路装着・使用前点検を実施している業務について選択してください。(複数回答)

目的：NICUにおけるCEの回路装着・使用前点検業務の実態を把握する。

定義：NICUにてCEが実施している業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

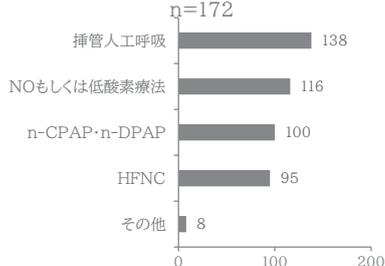
有効回答数：172

項目	n	割合
挿管人工呼吸	138	80.2%
NOもしくは低酸素療法	116	67.4%
n-CPAP・n-DPAP	100	58.1%
HFNC	95	55.2%
その他	8	4.7%

解説

挿管人工呼吸が80%と最も多かった。

問17 NICUにてCEが回路装着・使用前点検を実施している業務について選択してください。(複数回答) n=172



問18 NICUにてCEが回路交換を実施している業務について選択してください。(複数回答)

目的：NICUにおけるCEの回路交換業務の実態を把握する。

定義：NICUにてCEが回路交換を行なっている業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

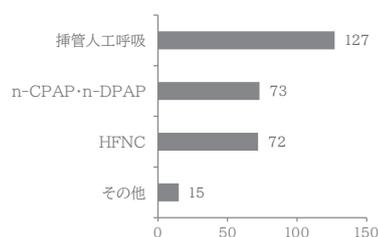
有効回答数：144

項目	n	割合
挿管人工呼吸	127	88.2%
n-CPAP・n-DPAP	73	50.7%
HFNC	72	50.0%
その他	15	10.4%

解説

挿管人工呼吸が88.2%と最も多かった。

問18 NICUにてCEが回路交換を実施している業務について選択してください。(複数回答) n=144



問19 NICUにてCEが導入・装着に関与している治療もしくは関与している業務について選択してください。(複数回答)

目的：NICUにおけるCEの導入・装着に関与している業務の実態を把握する。

定義：NICUにて導入・装着を行なっている業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

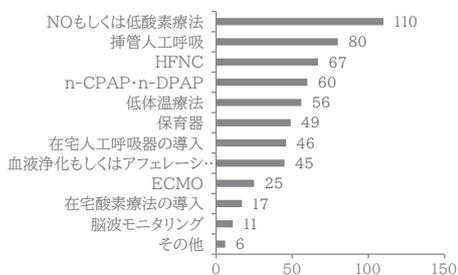
有効回答数：158

項目	n	割合
NOもしくは低酸素療法	110	69.6%
挿管人工呼吸	80	50.6%
HFNC	67	42.4%
n-CPAP・n-DPAP	60	38.0%
低体温療法	56	35.4%
保育器	49	31.0%
在宅人工呼吸器の導入	46	29.1%
血液浄化もしくはアフエーシス療法	45	28.5%
ECMO	25	15.8%
在宅酸素療法の導入	17	10.8%
脳波モニタリング	11	7.0%
その他	6	3.8%

解説

NOもしくは低酸素療法が最も多く70%、次いで挿管人工呼吸51%、HFNC42%であった。

問19 NICUにてCEが導入・装着に関与している治療もしくは関与している業務について選択してください。(複数回答) n=158



問20 救急初療室は設置されていますか。(複数回答)

目的：救急初療室の設置実態を把握する。

定義：救急初療室の有無と種別を把握する。

対象：2023年10月1日時点

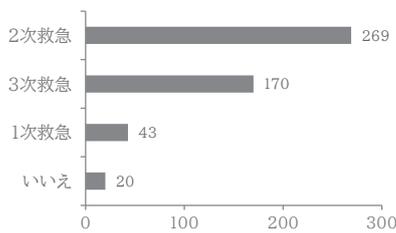
有効回答数：453

項目	n	割合
2次救急	269	59.4%
3次救急	170	37.5%
1次救急	43	9.5%
いいえ	20	4.4%

解説

2次救急が最も多く59.4%であった。

問20 救急初療室は設置されていますか。(複数回答) n=453



問21 救急初療室における業務にCEが対応している時間帯を選択してください。(複数回答)

目的：CEが救急初療室における業務に対応している時間帯の実態を把握する。

定義：対応している時間帯を選択してください。ただし機器ラウンド点検などで使用中点検のみは除きます。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする。

対象：2023年10月1日時点

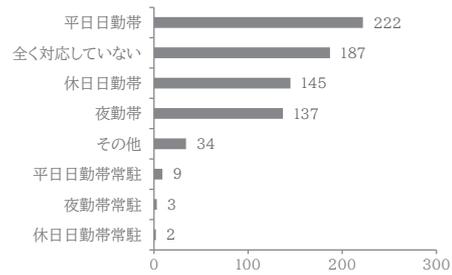
有効回答数：440

項目	n	割合
平日日勤帯	222	50.5%
全く対応していない	187	42.5%
休日日勤帯	145	33.0%
夜勤帯	137	31.1%
その他	34	7.7%
平日日勤帯常駐	9	2.0%
夜勤帯常駐	3	0.7%
休日日勤帯常駐	2	0.5%

解説

平日日勤帯が最も多く、50.5%であった。

設問21 救急初療室における業務にCEが対応している時間帯を選択してください。(複数回答) n=440



問22 救急初療室にてCEが実施することがある業務を選択してください。(複数回答)

目的：CEが救急初療室において対応している業務の実態を把握する。

定義：対応している業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

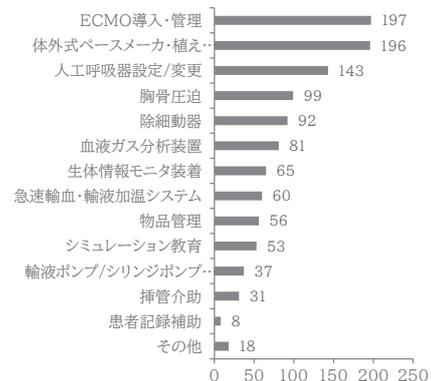
有効回答数：284

項目	n	割合
ECMO導入・管理	197	69.4%
体外式ペースメーカー・植え込みデバイス設定/変更	196	69.0%
人工呼吸器設定/変更	143	50.4%
胸骨圧迫	99	34.9%
除細動器	92	32.4%
血液ガス分析装置	81	28.5%
生体情報モニタ装着	65	22.9%
急速輸血・輸液加温システム	60	21.1%
物品管理	56	19.7%
シミュレーション教育	53	18.7%
輸液ポンプ/シリンジポンプの設定/変更	37	13.0%
挿管介助	31	10.9%
患者記録補助	8	2.8%
その他	18	6.3%

解説

ECMO導入・管理が最も多く、69.4%であった。

問22 救急初療室にてCEが実施することがある業務を選択してください。(複数回答) n=284



問23 CE が立ち会う院内搬送時患者を選択してください。(複数回答)

目的：CE が院内搬送に対応している業務の実態を把握する。

定義：CE が立ち会う院内搬送患者を選択してください。人工呼吸器は用手式を除きます。

対象：2023年10月1日時点

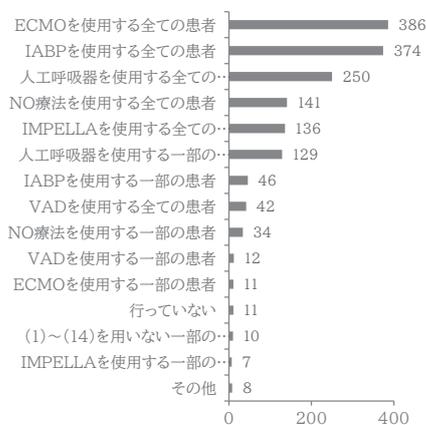
有効回答数：467

項目	n	割合
ECMO を使用する全ての患者	386	82.7%
IABP を使用する全ての患者	374	80.1%
人工呼吸器を使用する全ての患者	250	53.5%
NO療法を使用する全ての患者	141	30.2%
IMPELLA を使用する全ての患者	136	29.1%
人工呼吸器を使用する一部の患者	129	27.6%
IABP を使用する一部の患者	46	9.9%
VAD を使用する全ての患者	42	9.0%
NO療法を使用する一部の患者	34	7.3%
VAD を使用する一部の患者	12	2.6%
ECMO を使用する一部の患者	11	2.4%
行っていない	11	2.4%
(1)~(14)を用いない一部の患者	10	2.1%
IMPELLA を使用する一部の患者	7	1.5%
その他	8	1.7%

解説

ECMO を使用する全ての患者が最も多く 82.7% であった。

問23 CEが立ち会う院内搬送時患者を選択してください。(複数回答) n=467



問24 CE が立ち会う院外搬送時患者を選択してください。(複数回答)

目的：CE が院外搬送に対応している業務の実態を把握する。

定義：CE が立ち会う院外搬送患者を選択してください。人工呼吸器は用手式を除きます。

対象：2023年10月1日時点

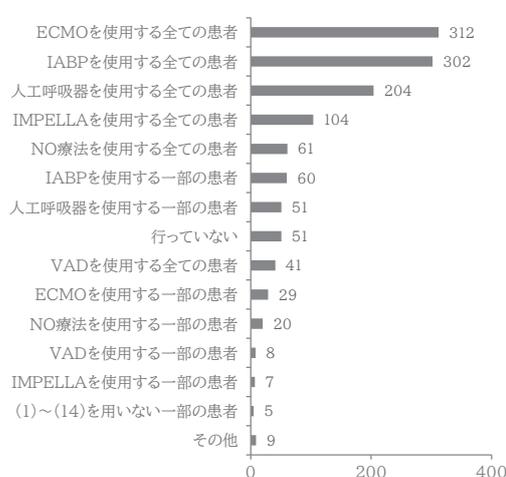
有効回答数：467

項目	n	割合
ECMO を使用する全ての患者	312	66.8%
IABP を使用する全ての患者	302	64.7%
人工呼吸器を使用する全ての患者	204	43.7%
IMPELLA を使用する全ての患者	104	22.3%
NO療法を使用する全ての患者	61	13.1%
IABP を使用する一部の患者	60	12.8%
人工呼吸器を使用する一部の患者	51	10.9%
行っていない	51	10.9%
VAD を使用する全ての患者	41	8.8%
ECMO を使用する一部の患者	29	6.2%
NO療法を使用する一部の患者	20	4.3%
VAD を使用する一部の患者	8	1.7%
IMPELLA を使用する一部の患者	7	1.5%
(1)~(14)を用いない一部の患者	5	1.1%
その他	9	1.9%

解説

ECMO を使用する全ての患者が最も多く 66.8% であった。

問24 CEが立ち会う院外搬送時患者を選択してください。(複数回答) n=467



問25 ドクターカー（医療機関所有の、患者搬送機能を有する救急車）に関する業務としてCEが行っていることを選択してください。（複数回答）

目的：CEが行なっているドクターカーに関する業務の実態を把握する。

定義：CEが対応している業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

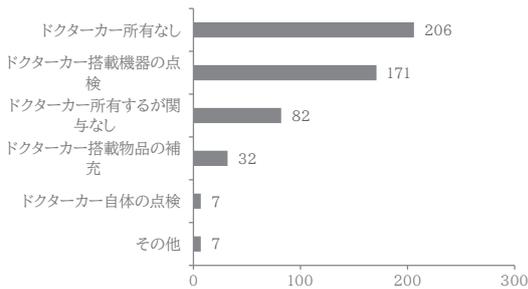
有効回答数：467

項目	n	割合
ドクターカー所有なし	206	44.1%
ドクターカー搭載機器の点検	171	36.6%
ドクターカー所有するが関与なし	82	17.6%
ドクターカー搭載物品の補充	32	6.9%
ドクターカー自体の点検	7	1.5%
その他	7	1.5%

解説

ドクターカー所有なしが最も多く44%、次いでドクターカー搭載機器の点検37%、ドクターカー所有するが関与なし18%であった。

設問25ドクターカー（医療機関所有の、患者搬送機能を有する救急車）に関する業務としてCEが行っていることを選択してください。（複数回答） n=467



問26 ICUおよびそれに準ずる治療室（CCU, SCU, NICU, HCU, PICU）、救急外来、病棟において、（清潔）介助業務を実施していますか。（複数回答）

目的：CEの（清潔）介助業務の実施状況の把握する。

定義：CEが（清潔）介助業務を実施しているか記入してください。（タスク・シフト関連）

対象：2023年10月1日時点

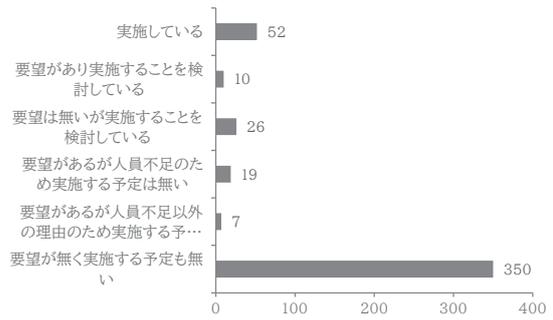
有効回答数：464

項目	n	割合
実施している	52	11.2%
要望があり実施することを検討している	10	2.2%
要望は無いが実施することを検討している	26	5.6%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	19	4.1%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	7	1.5%
要望が無く実施する予定も無い	350	75.4%
有効回答数	464	100.0%

解説

実施しているは11%であった。要望に関わらず検討しているは8%であった。

問26 ICUおよびそれに準ずる治療室、救急外来、病棟において、（清潔）介助業務を実施していますか。（複数回答） n=464



問27（清潔）介助業務をどこの部門で実施していますか。（複数回答）

目的：CEの（清潔）介助業務の実施状況の把握する。

定義：CEが（清潔）介助業務を実施しているか記入してください。（タスク・シフト関連）

対象：2023年10月1日時点

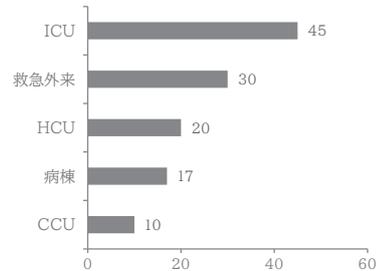
有効回答数：66

項目	n	割合
ICU	45	68.2%
救急外来	30	45.5%
HCU	20	30.3%
病棟	17	25.8%
CCU	10	15.2%

解説

ICUは68%と最も多かった。

問27（清潔）介助業務をどこの部門で実施していますか。（複数回答） n=66



問28 CEが実施している（清潔）介助業務を全て選択してください。（複数回答）

目的：CEが実施している（清潔）介助業務を把握する。

定義：CEが実施している（清潔）介助業務を選択してください。（タスク・シフト関連）

対象：2023年10月1日時点

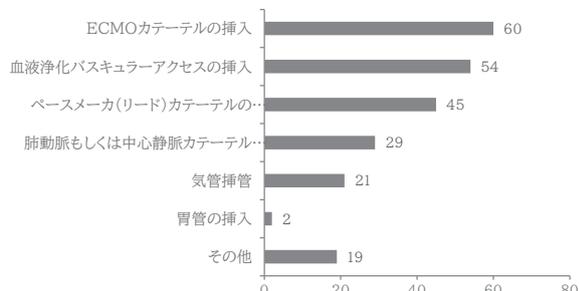
有効回答数：108

項目	n	割合
ECMOカテーテルの挿入	60	55.6%
血液浄化バスキュラーアクセスの挿入	54	50.0%
ペースメーカ(リード)カテーテルの挿入	45	41.7%
肺動脈もしくは中心静脈カテーテル挿入	29	26.9%
気管挿管	21	19.4%
胃管の挿入	2	1.9%
その他	19	17.6%

解説

ECMO カテーテルの挿入が最も多く 56%，次いで血液浄化バスキュラーアクセスの挿入 50%，ペースメーカ（リード）カテーテルの挿入 42%であった。

問28 CEが実施している(清潔)介助業務を全て選択してください。(複数回答) n=108



問29 人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施していますか。(単一回答)

目的：人工呼吸器装着中の患者に対する、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血の実施状況を把握する。

定義：CEが人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施しているか選択してください。(タスク・シフト関連)

対象：2023年10月1日時点

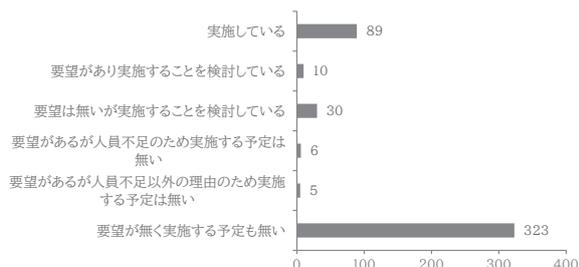
有効回答数：463

項目	n	割合
実施している	89	19.2%
要望があり実施することを検討している	10	2.2%
要望は無いが実施することを検討している	30	6.5%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	6	1.3%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	5	1.1%
要望が無く実施する予定も無い	323	69.8%

解説

実施している 19%，要望に関わらず実施することを検討している 9%であった。

問29 人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施していますか。(単一回答) n=463



問30 CEは生命維持管理装置に必要な静脈路の確保を実施していますか。(単一回答)

目的：生命維持管理装置に必要な静脈路の確保の実施状況を把握する。

定義：生命維持管理装置に必要な静脈路の確保の実施予定を選択してください。(タスク・シフト関連)

対象：2023年10月1日時点

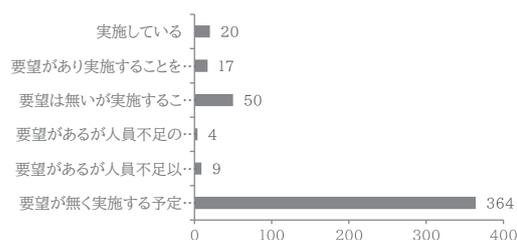
有効回答数：464

項目	n	割合
実施している	20	4.3%
要望があり実施することを検討している	17	3.7%
要望は無いが実施することを検討している	50	10.8%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	4	0.9%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	9	1.9%
要望が無く実施する予定も無い	364	78.4%

解説

実施しているは 4%，要望に関わらず実施することを検討しているは 15%であった。

設問30 CEは生命維持管理装置に必要な静脈路の確保を実施していますか。(単一回答) n=464



問31 院内防災対策にCEがどれだけ関与していますか。(複数回答)

目的：院内防災へのCEの関与を把握する。

定義：院内防災対策に関与しているものを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

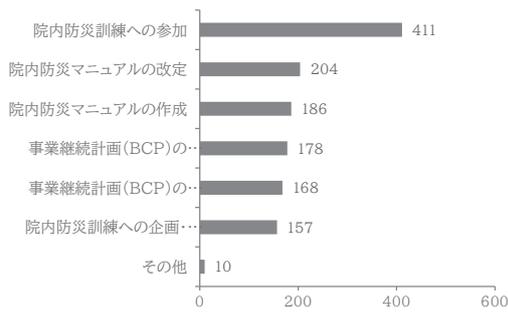
有効回答数：442

項目	n	割合
院内防災訓練への参加	411	93.0%
院内防災マニュアルの改定	204	46.2%
院内防災マニュアルの作成	186	42.1%
事業継続計画(BCP)の作成	178	40.3%
事業継続計画(BCP)の改定	168	38.0%
院内防災訓練への企画・運営	157	35.5%
その他	10	2.3%

解説

院内防災訓練への参加が最も多く 93%であった。

問31 院内防災対策にCEがどれだけ関与していますか。(複数回答)n=442



VIII. 施設報告 心臓・血管カテーテルアドオン

問1 所属する都道府県技士会, 問2 施設名は省略する。

問3 カテーテル室(ハイブリッド室含む)はいくつありますか。(単一回答)

目的: カテーテル室の数を把握する。

定義: カテーテル室の数を選択してください。(ハイブリッド室を含める)

対象: 2023年10月1日時点

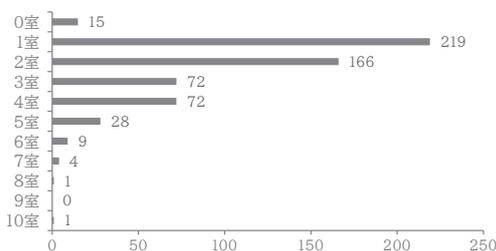
有効回答数: 587

項目	n	割合
0室	15	2.6%
1室	219	37.3%
2室	166	28.3%
3室	72	12.3%
4室	72	12.3%
5室	28	4.8%
6室	9	1.5%
7室	4	0.7%
8室	1	0.2%
9室	0	0.0%
10室	1	0.2%

解説

1室または2室は66%であった。

設問3 カテーテル室(ハイブリッド室含む)はいくつありますか。(単一回答) n=587



問4 心・血管カテーテル検査もしくは治療にCEが関与していますか。(単一回答)

目的: 心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与を把握する。

定義: 心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与の有無を選択してください。

対象: 2023年10月1日時点

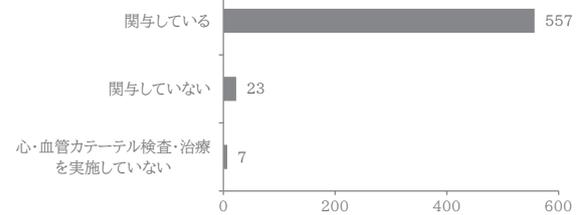
有効回答数: 587

項目	n	割合
関与している	557	94.9%
関与していない	23	3.9%
心・血管カテーテル検査・治療を実施していない	7	1.2%

解説

CEが心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与している施設は95%であった。

設問4 心・血管カテーテル検査もしくは治療にCEが関与していますか。(単一回答) n=587



問5 CEが関与している心・血管カテーテル検査もしくは治療について教えてください。(複数回答)

目的: 心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与を把握する。

定義: 心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与の有無を選択してください。

※構造的な疾患とは、もともと心臓の構造に異常がある疾患群とする。

※大動脈領域とは、ステントグラフト等を指す。

※腹部血管領域とは、腎動脈等が含まれる。

※肺血管領域とは、肺動脈、気管支動脈等が含まれる。

対象: 2023年10月1日時点

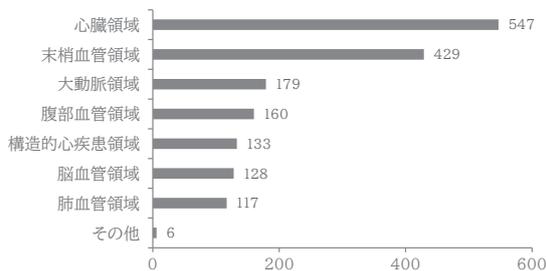
有効回答数: 556

項目	n	割合
心臓領域	547	98.4%
末梢血管領域	429	77.2%
大動脈領域	179	32.2%
腹部血管領域	160	28.8%
構造的な疾患領域	133	23.9%
脳血管領域	128	23.0%
肺血管領域	117	21.0%
その他	6	1.1%
その他: 下肢(2), TAVI(1), VAIVT(1), 長期留置用バスキュラーアクセス挿入時(1)		

解説

CEが関与する心・血管カテーテル検査もしくは治療の領域別では、心臓領域98%, 末梢血管領域77%,

大動脈領域 32.2%、腹部血管領域 29% の順で多かった。
 設問5 CEが関与している心・血管カテーテル検査もしくは治療について
 教えてください。(複数回答) n=556



問6 右心カテーテル検査 (SG) の1年間あたりの
 症例数について教えてください。(単一回答)

目的: カテーテル検査・治療における各症例数を把握する。

定義: 実施された右心カテーテル検査 (SG) の症
 例数を選択してください。

対象: 2022年4月1日～2023年3月31日

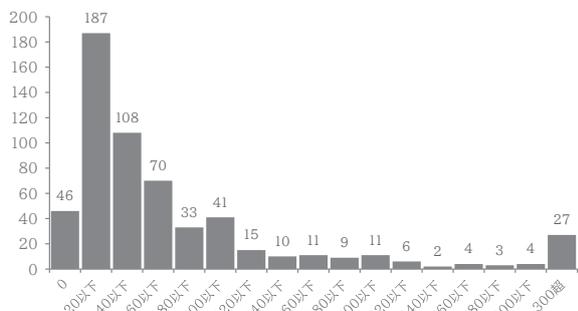
有効回答数: 587

項目	n	割合
0	46	7.8%
20以下	187	31.9%
40以下	108	18.4%
60以下	70	11.9%
80以下	33	5.6%
100以下	41	7.0%
120以下	15	2.6%
140以下	10	1.7%
160以下	11	1.9%
180以下	9	1.5%
200以下	11	1.9%
220以下	6	1.0%
240以下	2	0.3%
260以下	4	0.7%
280以下	3	0.5%
300以下	4	0.7%
300超	27	4.6%

解説

右心カテーテル検査 (SG) の1年間あたりの症例
 数は、0 から 60 症例以下で 70%であった。

設問6 右心カテーテル検査 (SG) の1年間あたりの症例数につ
 いて教えてください。(単一回答) n=587



問7 冠動脈造影検査 (CAG) の1年間あたりの
 症例数について教えてください。(単一回答)

目的: カテーテル検査・治療における各症例数を把握する。

定義: 実施された冠動脈造影検査 (CAG) の症
 例数を選択してください。

対象: 2022年4月1日～2023年3月31日

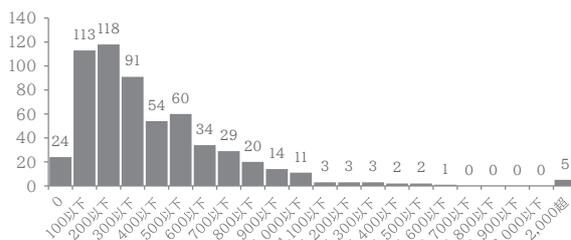
有効回答数: 587

項目	n	割合
0	24	4.1%
100以下	113	19.3%
200以下	118	20.1%
300以下	91	15.5%
400以下	54	9.2%
500以下	60	10.2%
600以下	34	5.8%
700以下	29	4.9%
800以下	20	3.4%
900以下	14	2.4%
1,000以下	11	1.9%
1,100以下	3	0.5%
1,200以下	3	0.5%
1,300以下	3	0.5%
1,400以下	2	0.3%
1,500以下	2	0.3%
1,600以下	1	0.2%
1,700以下	0	0.0%
1,800以下	0	0.0%
1,900以下	0	0.0%
2,000以下	0	0.0%
2,000超	5	0.9%

解説

冠動脈造影検査 (CAG) の1年間あたりの症例数
 は、0 ～ 200 症例以下は 40%、0 ～ 600 症例以下
 は 84%であった。

設問7 冠動脈造影検査 (CAG) の1年間あたりの症例数につ
 いて教えてください。(単一回答) n=587



問8 待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) の1年間あたりの症例数について教えてください。(単一回答)
 目的: カテーテル検査・治療における各症例数を把握する。

定義: 実施された待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) の症例数を選択してください。

対象: 2022年4月1日～2023年3月31日

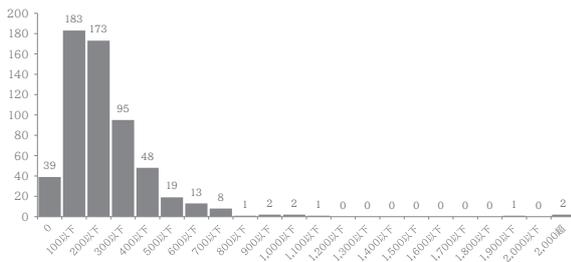
有効回答数: 587

項目	n	割合
0	39	6.6%
100以下	183	31.2%
200以下	173	29.5%
300以下	95	16.2%
400以下	48	8.2%
500以下	19	3.2%
600以下	13	2.2%
700以下	8	1.4%
800以下	1	0.2%
900以下	2	0.3%
1,000以下	2	0.3%
1,100以下	1	0.2%
1,200以下	0	0.0%
1,300以下	0	0.0%
1,400以下	0	0.0%
1,500以下	0	0.0%
1,600以下	0	0.0%
1,700以下	0	0.0%
1,800以下	0	0.0%
1,900以下	1	0.2%
2,000以下	0	0.0%
2,000超	2	0.3%

解説

待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) の1年間あたりの症例数は、0～200症例以下は67%、0～500症例以下は95%であった。

設問8 待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) の1年間あたりの症例数について教えてください。(単一回答) n=587



問9 緊急カテーテル検査・治療の1年間あたりの総数について教えてください。(単一回答)

目的: カテーテル検査・治療における各症例数を把握する。

定義: 実施された緊急カテーテル検査・治療の総数を選択してください。

対象: 2022年4月1日～2023年3月31日

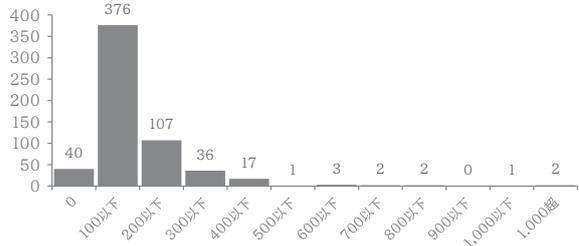
有効回答数: 587

項目	n	割合
0	40	6.8%
100以下	376	64.1%
200以下	107	18.2%
300以下	36	6.1%
400以下	17	2.9%
500以下	1	0.2%
600以下	3	0.5%
700以下	2	0.3%
800以下	2	0.3%
900以下	0	0.0%
1,000以下	1	0.2%
1,000超	2	0.3%

解説

緊急カテーテル検査・治療の1年間あたりの総数は、0～100症例以下は71%、0～300症例以下は95%であった。

設問9 緊急カテーテル検査・治療の1年間あたりの総数について教えてください。(単一回答) n=587



問10 構造的な心疾患 (SHD) 治療件数1年間あたりの症例数について教えてください。(単一回答)

目的: カテーテル検査・治療における各症例数を把握する。

定義: 実施された構造的な心疾患 (SHD) 治療件数の症例数を選択してください。

対象: 2022年4月1日～2023年3月31日

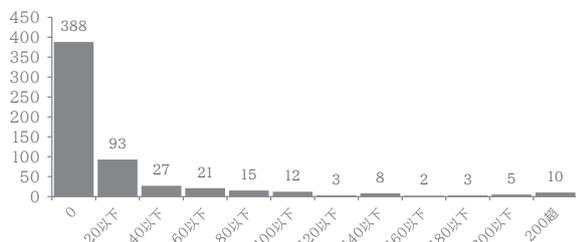
有効回答数: 587

項目	n	割合
0	388	66.1%
20以下	93	15.8%
40以下	27	4.6%
60以下	21	3.6%
80以下	15	2.6%
100以下	12	2.0%
120以下	3	0.5%
140以下	8	1.4%
160以下	2	0.3%
180以下	3	0.5%
200以下	5	0.9%
200超	10	1.7%

解説

構造的心疾患 (SHD) 治療件数1年間あたりの症例数は、0 症例 66%、20～100 症例以下は 29%であった。

設問10 構造的心疾患(SHD)治療件数1年間あたりの症例数について教えてください。(単一回答) n=587



問11 心臓・血管カテーテル検査・治療に使用する各機器について教えてください。(単一回答)

目的：IVUS の年間使用件数を把握する。

定義：IVUS の年間使用件数を選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

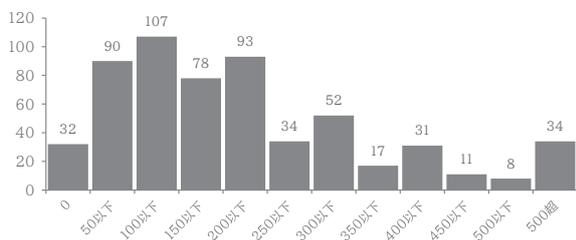
有効回答数：587

項目	n	割合
0	32	5.5%
50以下	90	15.3%
100以下	107	18.2%
150以下	78	13.3%
200以下	93	15.8%
250以下	34	5.8%
300以下	52	8.9%
350以下	17	2.9%
400以下	31	5.3%
450以下	11	1.9%
500以下	8	1.4%
500超	34	5.8%

解説

IVAS の年間症例数 0 は 6%、0 超～50 以下は 15%、0 超～300 以下は 77%であった。

設問11 IVUSの年間使用件数について教えてください。(単一回答) n=587



問12 心臓・血管カテーテル検査・治療に使用する各機器について教えてください。(単一回答)

目的：OCT/OFDI の年間使用件数を把握する。

定義：OCT/OFDI の年間使用件数を選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

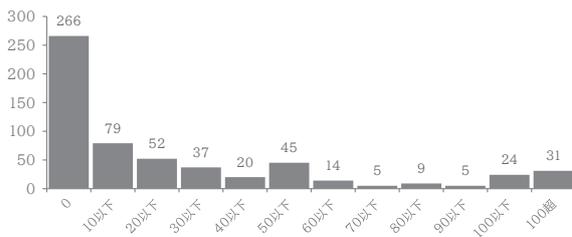
有効回答数：587

項目	n	割合
0	266	45.3%
10以下	79	13.5%
20以下	52	8.9%
30以下	37	6.3%
40以下	20	3.4%
50以下	45	7.7%
60以下	14	2.4%
70以下	5	0.9%
80以下	9	1.5%
90以下	5	0.9%
100以下	24	4.1%
100超	31	5.3%

解説

OCT/OFDI の年間使用件数は、0 件 45%、0 超～50 件以下は 40%であった。

設問12 OCT/OFDIの年間使用件数を選択してください。(単一回答) n=587



問13 心臓・血管カテーテル検査・治療に使用する各機器について教えてください。(単一回答)

目的：FFR/Resting Index が測定可能な機器の年間使用件数を把握する。

定義：FFR/Resting Index が測定可能な機器の年間使用件数を選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

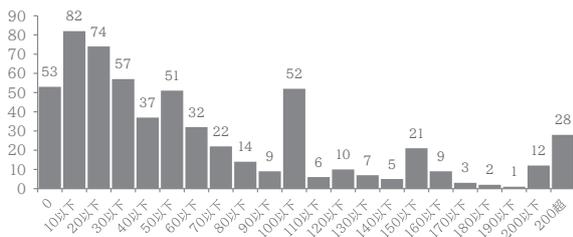
有効回答数：

項目	n	割合
0	53	9.0%
10以下	82	14.0%
20以下	74	12.6%
30以下	57	9.7%
40以下	37	6.3%
50以下	51	8.7%
60以下	32	5.5%
70以下	22	3.7%
80以下	14	2.4%
90以下	9	1.5%
100以下	52	8.9%
110以下	6	1.0%
120以下	10	1.7%
130以下	7	1.2%
140以下	5	0.9%
150以下	21	3.6%
160以下	9	1.5%
170以下	3	0.5%
180以下	2	0.3%
190以下	1	0.2%
200以下	12	2.0%
200超	28	4.8%

解説

FFR/Resting Index の年間使用件数は、0件9%、0超～100件以下は73%であった。90超～100件以下は9%であった。

設問13 FFR/Resting Indexの年間使用件数について教えてください。(単一回答) n=587



問14 心臓・血管カテーテル検査・治療に使用する各機器について教えてください。(単一回答)

目的：デバルキングデバイス(Rotablator, Diamondback, C4 コロナリー IVL カテーテル等) の年間使用件数を把握する。

定義：デバルキングデバイス(Rotablator, Diamondback, C4 コロナリー IVL カテーテル等) の年間使用件数を選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

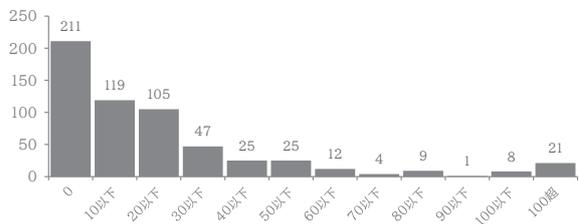
有効回答数：587

項目	n	割合
0	211	35.9%
10以下	119	20.3%
20以下	105	17.9%
30以下	47	8.0%
40以下	25	4.3%
50以下	25	4.3%
60以下	12	2.0%
70以下	4	0.7%
80以下	9	1.5%
90以下	1	0.2%
100以下	8	1.4%
100超	21	3.6%

解説

デバルキングデバイスの年間使用件数は、0件36%、0超～100件以下は61%であった。

設問14 デバルキングデバイス(Rotablator, Diamondback, C4 コロナリー IVL カテーテル等)の年間使用件数について教えてください。(単一回答) n=587



問15 カテーテル検査治療に関わる CE の人数は全部で何人ですか。(単一回答)

目的：カテーテル検査治療に従事する専任者および兼任者数を把握する。

定義：カテーテル検査治療に関わる CE の専任者および兼任者数を選択してください。※専任者とは、担当者となっており、その他の診療を兼任しても差し支えないものとする。ただし、その就業の少なくとも5割以上、当該業務に従事している必要があるものとする。

対象：2023年10月1日時点

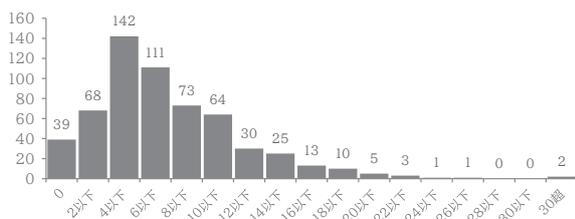
有効回答数：587

項目	n	割合
0	39	6.6%
2以下	68	11.6%
4以下	142	24.2%
6以下	111	18.9%
8以下	73	12.4%
10以下	64	10.9%
12以下	30	5.1%
14以下	25	4.3%
16以下	13	2.2%
18以下	10	1.7%
20以下	5	0.9%
22以下	3	0.5%
24以下	1	0.2%
26以下	1	0.2%
28以下	0	0.0%
30以下	0	0.0%
30超	2	0.3%

解説

カテーテル検査治療に関わる CE の人数は、2超～4人以下が最も多く24%であった。

設問15 カテーテル検査治療に関わるCEの人数は全部で何人ですか。(単一回答) n=587



問16 カテーテル検査治療に関わる CE の専任人数は全部で何人ですか。(単一回答)

目的：カテーテル検査治療に従事する専任者を把握する。

定義：カテーテル検査治療に関わる CE の専任者を選択してください。※専任者とは、担当者となっており、その他の診療を兼任しても差し支えないものとする。ただし、その就業の少なくとも5割以上、当該業務に従事している必要があるものとする)

対象：2023年10月1日時点

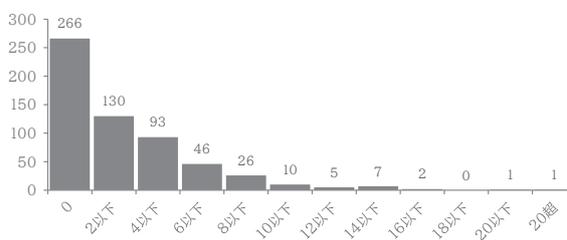
有効回答数：587

項目	n	割合
0	266	45.3%
2以下	130	22.1%
4以下	93	15.8%
6以下	46	7.8%
8以下	26	4.4%
10以下	10	1.7%
12以下	5	0.9%
14以下	7	1.2%
16以下	2	0.3%
18以下	0	0.0%
20以下	1	0.2%
20超	1	0.2%

解説

カテーテル検査治療に従事する専任者は、0人45%、0超～6人以下は46%であった。専任者がいない施設が多い状況が伺えた。

設問16 カテーテル検査治療に関わるCEの専任人数は全部で何人ですか。(単一回答) n=587



問17 右心カテーテル検査 (SG) 1症例あたりの CE の人数について教えて下さい。(単一回答)

目的：各施設におけるカテーテル検査治療の人員配置の実態を調査する。

定義：右心カテーテル検査 (SG) 1症例にあたる人数を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

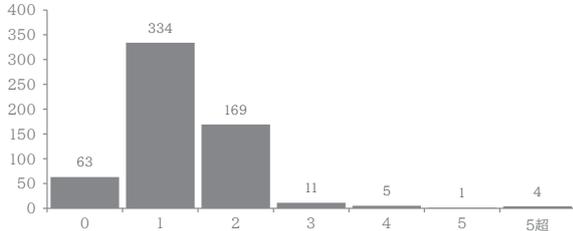
有効回答数：587

項目	n	割合
0	63	10.7%
1	334	56.9%
2	169	28.8%
3	11	1.9%
4	5	0.9%
5	1	0.2%
5超	4	0.7%

解説

右心カテーテル検査 (SG) 1 症例あたりの CE の人数は、1 人が最も多く 57%、次いで 2 人が 29% であった。

設問17 右心カテーテル検査 (SG)1症例あたりのCEの人数について教えてください。(単一回答) n=587



問18 冠動脈造影検査 (CAG) 1 症例あたりの CE の人数について教えてください。(単一回答)

目的: 各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義: 冠動脈造影検査 (CAG) 1 症例にあたる人数を選択してください。

対象: 2023 年 10 月 1 日時点

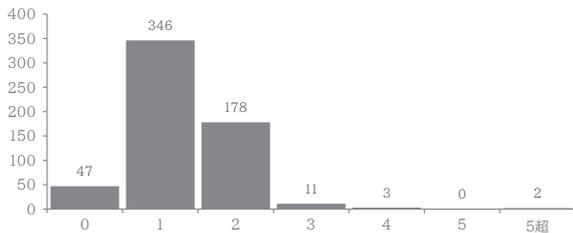
有効回答数: 587

項目	n	割合
0	47	8.0%
1	346	58.9%
2	178	30.3%
3	11	1.9%
4	3	0.5%
5	0	0.0%
5超	2	0.3%

解説

冠動脈造影検査 (CAG) 1 症例あたりの CE の人数は、1 人が最も多く 59%、次いで 2 人が 30% であった。

設問18 冠動脈造影検査 (CAG)1症例あたりのCEの人数について教えてください。(単一回答) n=587



問19 待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) 1 症例あたりの CE の人数について教えてください。(単一回答)

目的: 各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義: 待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) 1 症例にあたる人数を選択してください。

対象: 2023 年 10 月 1 日時点

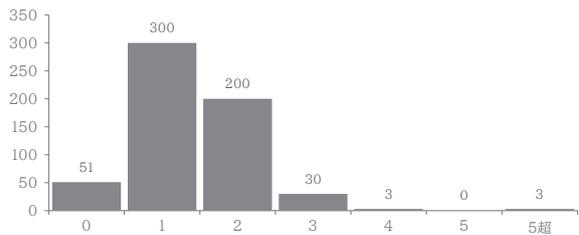
有効回答数: 587

項目	n	割合
0	51	8.7%
1	300	51.1%
2	200	34.1%
3	30	5.1%
4	3	0.5%
5	0	0.0%
5超	3	0.5%

解説

待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI) 1 症例あたりの CE の人数は、1 人が最も多く 51%、次いで 2 人が 34% であった。

設問19 待機的な経皮的冠動脈形成術 (PCI)1症例あたりのCEの人数について教えてください。(単一回答) n=587



問20 緊急カテーテル検査治療 1 症例あたりの CE の人数について教えてください。(単一回答)

目的: 各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義: 緊急カテーテル検査治療 1 症例にあたる人数を選択してください。

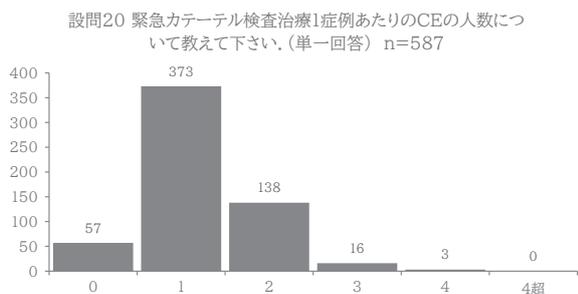
対象: 2023 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 587

項目	n	割合
0	57	9.7%
1	373	63.5%
2	138	23.5%
3	16	2.7%
4	3	0.5%
4超	0	0.0%

解説

緊急カテーテル検査治療 1 症例あたりの CE の人数は、1 人が最も多く 64% であった。次いで 2 人が 24% であった。



問21 構造的心疾患 (SHD) 治療件数1症例あたりのCEの人数について教えてください。(単一回答)

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：構造的心疾患 (SHD) 治療件数1症例にあたる人数を選択してください。

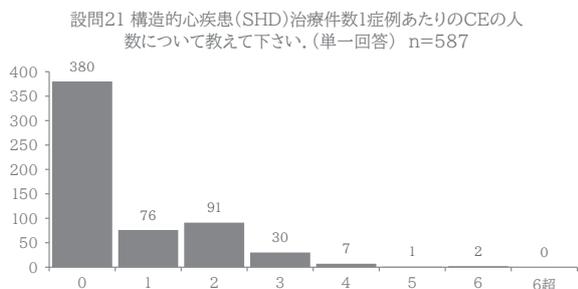
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：587

項目	n	割合
0	380	64.7%
1	76	12.9%
2	91	15.5%
3	30	5.1%
4	7	1.2%
5	1	0.2%
6	2	0.3%
6超	0	0.0%

解説

構造的心疾患 (SHD) 治療件数1症例あたりのCEの人数は、0人が最も多く65%であった。次いで2人が16%であった。



問22 心・血管カテーテルにおいてCEが実施している業務を全て選択してください。(複数回答)

目的：心・血管カテーテル室で使用可能な医療機器を調査する

定義：CEが実施している業務を選択回答(複数選択可)

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：569

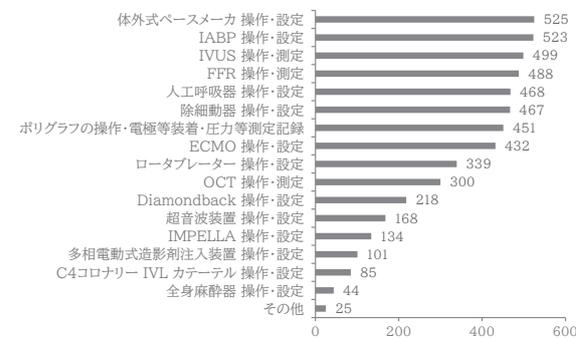
項目	n	割合
体外式ペースメーカ 操作・設定	525	92.3%
IABP 操作・設定	523	91.9%
IVUS 操作・測定	499	87.7%
FFR 操作・測定	488	85.8%
人工呼吸器 操作・設定	468	82.2%
除細動器 操作・設定	467	82.1%
ポリグラフの操作・電極等装着・圧力等測定記録	451	79.3%
ECMO 操作・設定	432	75.9%
ロータプレーター 操作・設定	339	59.6%
OCT 操作・測定	300	52.7%
Diamondback 操作・設定	218	38.3%
超音波装置 操作・設定	168	29.5%
IMPELLA 操作・設定	134	23.6%
多相電動式造影剤注入装置 操作・設定	101	17.8%
C4コロナリー IVL カテーテル 操作・設定	85	14.9%
全身麻酔器 操作・設定	44	7.7%
その他	25	4.4%

その他: 清浄介助(6)、造影剤インジェクター操作(3)、レーザー(2)、経過記録(2)、透視装置 操作・設定(2)、物品出し(2)

解説

80%を超えた業務は、体外式ペースメーカ 操作・設定 92%、IABP 操作・設定 92%、IVUS 操作・測定 88%、FFR 操作・測定 86%、人工呼吸器 操作・設定 82%、除細動器 操作・設定 82%であった。

設問22 心・血管カテーテルにおいてCEが実施している業務を全て選択してください。(複数回答) n=569



問23 心・血管カテーテル業務においてCEは薬剤の準備は実施していますか。(単一回答)

目的：心・血管カテーテル業務においてCEの薬剤の準備状況を把握する。

定義：心・血管カテーテル業務においてCEの薬剤準備の有無を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

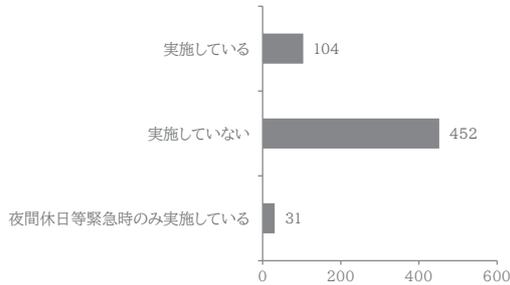
有効回答数：483

項目	n	割合
実施している	104	17.7%
実施していない	452	77.0%
夜間休日等緊急時のみ実施している	31	5.3%

解説

実施している施設は、18%であった。夜間休日等緊急時のみ実施している施設は5%であった。

設問23 心・血管カテーテル業務においてCEは薬剤の準備は実施していますか。(単一回答) n=483



問24 心・血管カテーテル業務においてCEは清潔介助業務を実施していますか。(単一回答)

目的：心・血管カテーテル業務においてCEの清潔介助業務の実施状況を把握する。

定義：心・血管カテーテル業務においてCEの清潔介助業務を実施について選択してください。(タスク・シフト関連)

対象：2023年10月1日時点

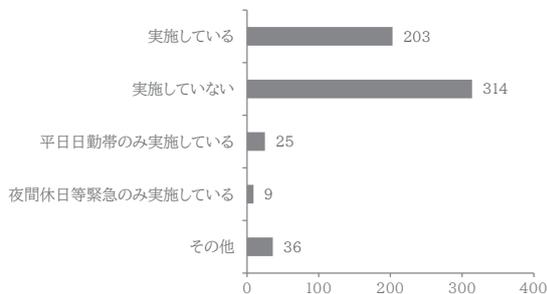
有効回答数：587

項目	n	割合
実施している	203	34.6%
実施していない	314	53.5%
平日日勤帯のみ実施している	25	4.3%
夜間休日等緊急時のみ実施している	9	1.5%
その他	36	6.1%
その他: 医師の不足時(15), 依頼時のみ(5), スタッフにより実施する(3), 状況により実施する(3)		

解説

CEは清潔介助業務は、実施していないが最も多く54%、次いで実施しているは35%であった。他に医師の不足や夜間休日緊急のみの実施があった。

設問24 心・血管カテーテル業務においてCEは清潔介助業務を実施していますか。(単一回答) n=587



問25 心・血管カテーテル業務においてCEが清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい。(複数回答)

目的：心・血管カテーテル業務においてCEが清潔介助業務の内容を把握する。

定義：心・血管カテーテル業務においてCEが行う清潔介助業務をすべて選択してください。

対象：2023年10月1日時点

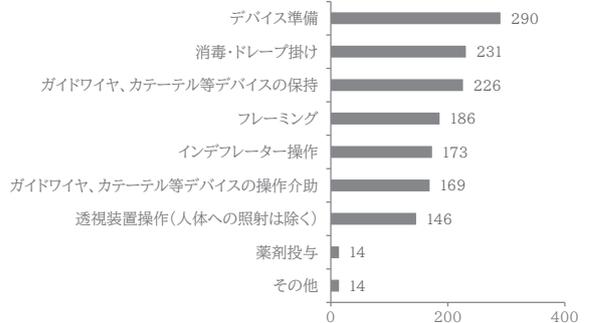
有効回答数：323

項目	n	割合
デバイス準備	290	89.8%
消毒・ドレープ掛け	231	71.5%
ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの保持	226	70.0%
フレーミング	186	57.6%
インデフレーター操作	173	53.6%
ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの操作介助	169	52.3%
透視装置操作(人体への照射は除く)	146	45.2%
薬剤投与	14	4.3%
その他	14	4.3%
その他: 実施なし(9), クライオ, アプレーターボタン操作(1), 外回り業務のみ(1), 清潔操作物品準備(1)		

解説

デバイス準備は90%の施設で実施している。次いで消毒・ドレープ掛け72%、ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの保持70%と多くの施設で実施している。

設問25 心・血管カテーテル業務においてCEが清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい。(複数回答) n=323



問26 心・血管カテーテル室においてCEが実施している項目を全て選択して下さい。(複数回答)

目的：カテーテル室で実施している業務範囲を把握する。

定義：カテーテル室で実施している業務内容を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：398

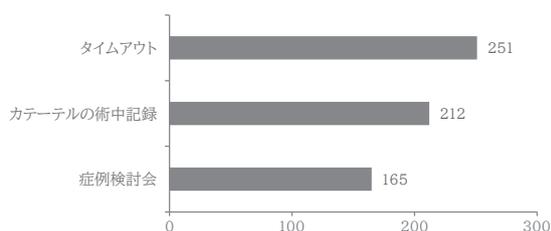
項目	n	割合
タイムアウト	251	63.1%
カテーテルの術中記録	212	53.3%
症例検討会	165	41.5%

解説

CEが実施する項目として、タイムアウトが最も多

く63%, カテーテルの術中記録53%, 症例検討会42%であった。

設問26 心・血管カテーテル室においてCEが実施している項目を全て選択して下さい。(複数回答) n=398



問27 心・血管カテーテルにおけるCEの時間外の緊急カテーテル対応について教えてください。(単一回答)

目的: 緊急カテーテル対応の実態を把握する。

定義: 心・血管カテーテルにおけるCEの時間外の緊急カテーテル対応方法を選択してください。

対象: 2023年10月1日時点

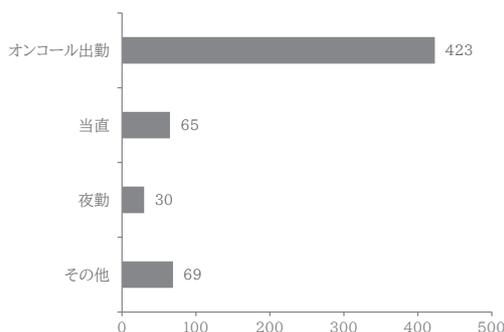
有効回答数: 587

項目	n	割合
オンコール出勤	423	72.1%
当直	65	11.1%
夜勤	30	5.1%
その他	69	11.8%
その他: 実施なし(25), オンコールもしくは当直(21), 日勤帯のみ対応(5), 検査技師が対応(2)		

解説

CEの時間外の緊急カテーテル対応は、オンコール出勤が最も多く72%であり、次いで当直11%であった。実施がない施設は4%であった。

設問27 心・血管カテーテルにおけるCEの時間外の緊急カテーテル対応について教えてください。(単一回答) n=587



問28 心・血管カテーテル検査治療の際に業者立会いは行っていますか。(単一回答)

目的: 心・血管カテーテル検査治療の業者立会い状況を把握する。

定義: 心・血管カテーテル検査治療の業者立会い状況に該当するものを選択してください。

対象: 2023年10月1日時点

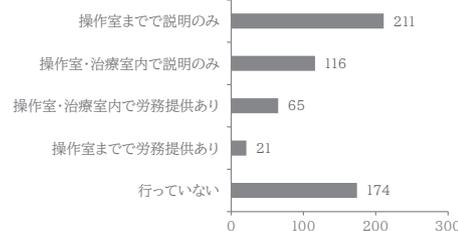
有効回答数: 587

項目	n	割合
操作室までで説明のみ	211	35.9%
操作室・治療室内で説明のみ	116	19.8%
操作室・治療室内で労務提供あり	65	11.1%
操作室までで労務提供あり	21	3.6%
行っていない	174	29.6%

解説

業者立会いは、操作室・治療室内で説明のみが最も多く36%であった。次いで、行っていない30%であった。業者立ち合いの労務提供ありは、15%であった。

設問28 心・血管カテーテル検査治療の際に業者立会いは行っていますか。(単一回答) n=587



問29 脳血管内カテーテルにおいてCEが実施している業務を全て選択してください。(複数回答)

目的: 脳血管内カテーテルでCEが担っている業務を把握する。

定義: 脳血管内カテーテルでCEが実施している業務をすべて選択してください。

対象: 2023年10月1日時点

有効回答数: 215

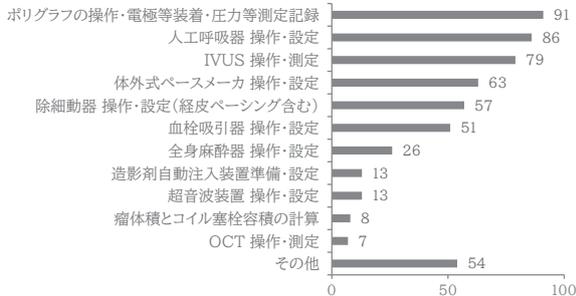
項目	n	割合
ポリグラフの操作・電極等装着・圧力等測定記録	91	42.3%
人工呼吸器 操作・設定	86	40.0%
IVUS 操作・測定	79	36.7%
体外式ペースメーカ 操作・設定	63	29.3%
除細動器 操作・設定(経皮ペースメーカ含む)	57	26.5%
血栓吸引器 操作・設定	51	23.7%
全身麻酔器 操作・設定	26	12.1%
造影剤自動注入装置準備・設定	13	6.0%
超音波装置 操作・設定	13	6.0%
瘤体積とコイル塞栓容積の計算	8	3.7%
OCT 操作・測定	7	3.3%
その他	54	25.1%
その他: 実施していない(41), NIRS 準備・測定(3), 清潔介助(2)		

解説

脳血管内カテーテルにおいてCEが実施している

業務は、ポリグラフの操作・電極等装着・圧力等測定記録 42% と最も多く、人工呼吸器 操作・設定 40%、IVUS 操作・測定 37% であった。実施していない施設は、19% あった。

設問29 脳血管内カテーテルにおいてCEが実施している業務を全て選択してください。(複数回答) n=215



問30 脳血管内カテーテル業務において CE が清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい。(複数回答)

目的：脳血管内カテーテル業務において CE が清潔介助業務の内容を把握する。

定義：脳血管内カテーテル業務において CE が行う清潔介助業務をすべて選択してください。

対象：2023 年 10 月 1 日時点

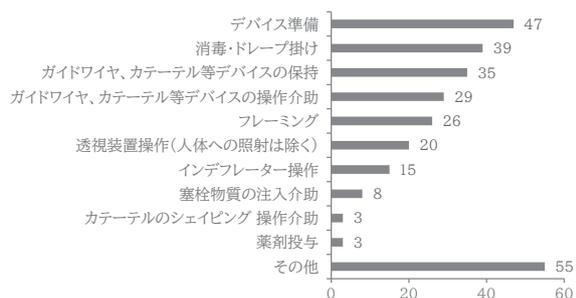
有効回答数：107

項目	n	割合
デバイス準備	47	43.9%
消毒・ドレープ掛け	39	36.4%
ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの保持	35	32.7%
ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの操作介助	29	27.1%
フレーミング	26	24.3%
透視装置操作(人体への照射は除く)	20	18.7%
インデフレーター操作	15	14.0%
塞栓物質の注入介助	8	7.5%
カテーテルのシェイピング 操作介助	3	2.8%
薬剤投与	3	2.8%
その他	55	51.4%
その他:実施していない(45)		

解説

脳血管内カテーテル業務において CE が行う清潔介助業務は、デバイス準備が最も多く 44% であった。次いでその他の行っていないが 42% であった。

設問30 脳血管内カテーテル業務においてCEが清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい。(複数回答) n=107



IX. 施設報告 内視鏡アドオン

問1 所属する都道府県技士会、問2 施設名は省略する。

問3 内視鏡室（センター）における年間の内視鏡検査治療総件数を入力してください。

目的：施設の年間の内視鏡検査治療総件数把握のため。

定義：施設の内視鏡室における年間（対象期間）内視鏡検査治療総件数を入力してください。※CEの関与は関係ない、カッコ内は稼働日 250 日を母数とした平均件数)

対象：2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日

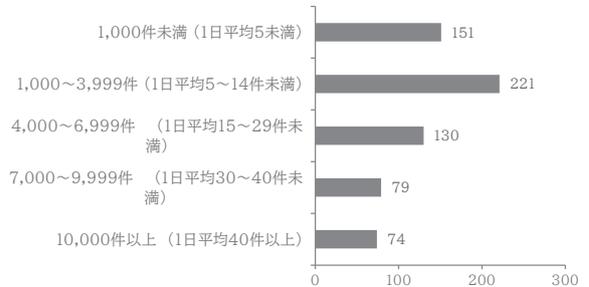
有効回答数：655

回答	n	割合
1,000 件未満 (1 日平均 5 未満)	151	23.1%
1,000～3,999 件 (1 日平均 5～14 件未満)	221	33.7%
4,000～6,999 件 (1 日平均 15～29 件未満)	130	19.8%
7,000～9,999 件 (1 日平均 30～40 件未満)	79	12.1%
10,000 件以上 (1 日平均 40 件以上)	74	11.3%

解説

内視鏡室（センター）における年間の内視鏡検査治療総件数は、1,000 ～ 3,999 件が最も多く 34% であった。次いで 1,000 件未満 23%、4,000 ～ 6,999 件 20% であった。

設問3 内視鏡室(センター)における年間の内視鏡検査治療総件数を入力してください。 n=655



問4 内視鏡室（センター）では CE が業務を行っていますか。(単一回答)

目的：施設の内視鏡室（センター）への CE 業務参画件数の把握のため。

定義：施設の内視鏡室（センター）で CE が業務を行っているか、いないかを選択してください。※必要時(呼び出し)の対応も含む

対象：2023 年 10 月 1 日時点

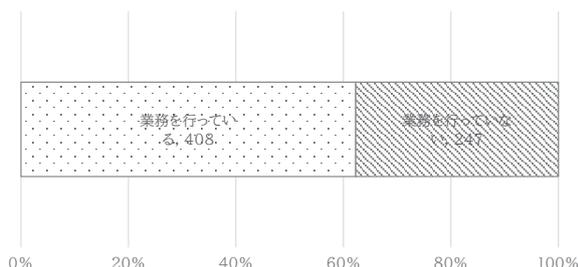
有効回答数：655

回答	n	割合
業務を行っている	408	62.3%
業務を行っていない	247	37.7%

解説

内視鏡室（センター）ではCEが業務を行っている施設は62%であった。

設問4 内視鏡室（センター）ではCEが業務を行っていますか。（単一回答） n=655



問5 内視鏡室（センター）への平日業務時間帯におけるCE配置人数（平均的な数値）を入力してください。

目的：施設の内視鏡室（センター）のCE配置人員の把握のため。

定義：内視鏡室（センター）に対する平日業務時間帯におけるCE配置人数の1日あたり平均値を入力してください（任意の1週間でも可）。※業務時間の制限はない、配置がない場合は0を入力

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

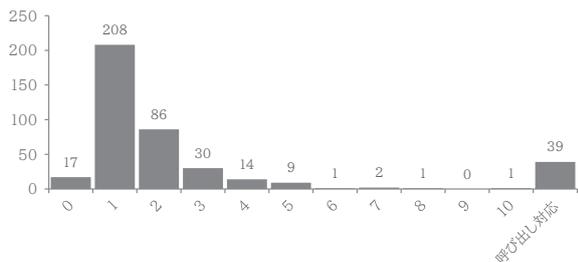
有効回答数：408

回答	n	割合
0	17	4.2%
1	208	51.0%
2	86	21.1%
3	30	7.4%
4	14	3.4%
5	9	2.2%
6	1	0.2%
7	2	0.5%
8	1	0.2%
9	0	0.0%
10	1	0.2%
呼び出し対応	39	9.6%

解説

平日勤務帯のCE配置人数は、1人が最も多く51%、次いで2人21%であった。呼び出し対応は10%であった。

設問5 内視鏡室（センター）への平日業務時間帯におけるCE配置人数（平均的な数値）を入力してください。 n=408



問6 内視鏡室（センター）でのCEの業務について選択してください。（複数回答）

目的：施設の内視鏡室（センター）のCE業務の内容把握のため。

定義：施設の内視鏡室（センター）においてCEが行っている業務について選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

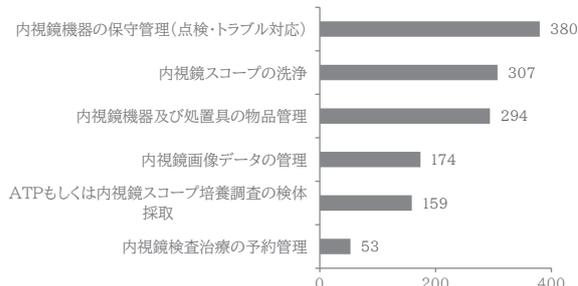
有効回答数：398

回答	n	割合
内視鏡機器の保守管理(点検・トラブル対応)	380	95.5%
内視鏡スコープの洗浄	307	77.1%
内視鏡機器及び処置具の物品管理	294	73.9%
内視鏡画像データの管理	174	43.7%
ATPもしくは内視鏡スコープ培養調査の検体採取	159	39.9%
内視鏡検査治療の予約管理	53	13.3%

解説

内視鏡室（センター）でのCEの業務は、ほとんどの施設で保守管理（点検・トラブル対応）を実施していた。内視鏡スコープの洗浄および内視鏡機器・処置具の物品管理は70%の施設が実施している。CEは、40%の施設でATPもしくは内視鏡スコープ培養調査の検体採取を実施している。

設問6 内視鏡室（センター）でのCEの業務について選択してください。（複数回答） n=398



問7 内視鏡室（センター）において、CEが鉗子及び処置具操作を実施していますか（単一回答）

目的：内視鏡室（センター）でCEが鉗子及び処置具操作をどの程度実施しているか把握のため。

定義：施設の内視鏡室（センター）における内視鏡検査治療時においてCEが鉗子及び処置具操作をどの程度実施しているか、また実施していない場合の今後の対応について選択してください。（タスク・シフト関連）

対象：2023年10月1日時点

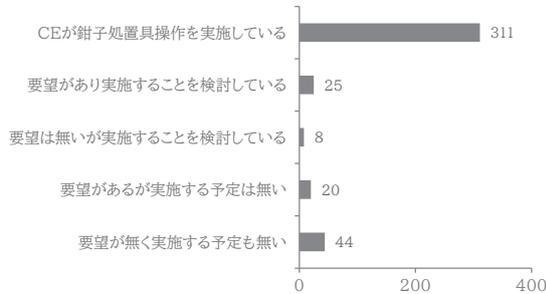
有効回答数：408

回答	n	割合
CEが鉗子処置具操作を実施している	311	76.2%
要望があり実施することを検討している	25	6.1%
要望は無いが実施することを検討している	8	2.0%
要望があるが実施する予定は無い	20	4.9%
要望が無く実施する予定も無い	44	10.8%

解説

内視鏡室（センター）においてCEが鉗子及び処置具操作を実施している施設は、76%であった。要望の有無に関わらず実施を検討している施設は8%であった。

設問7 内視鏡室(センター)において、CEが鉗子及び処置具操作を実施していますか(単一回答) n=408



問8 内視鏡室（センター）において、鉗子及び処置具操作を実施している主な職種は誰ですか（複数回答）

目的：内視鏡室（センター）で鉗子及び処置具操作を実施している職種の把握のため。

定義：施設の内視鏡室（センター）における内視鏡検査治療時において鉗子及び処置具操作をどの職種が実施しているか選択してください。（タスク・シフト関連）

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：408

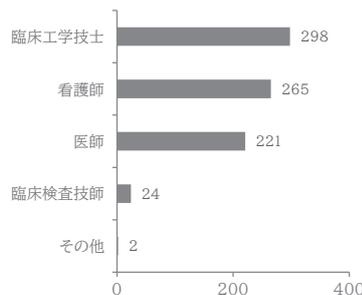
回答	n	割合
臨床工学技士	298	73.0%
看護師	265	65.0%
医師	221	54.2%
臨床検査技師	24	5.9%
その他	2	0.5%

内視鏡室(センター)において、鉗子及び処置具操作を実施している主な職種は、臨床工学技士が最も多く73%、看護師65%、医師が54%

解説

内視鏡室（センター）において、鉗子及び処置具操作を実施している主な職種は、臨床工学技士が最も多く73%、看護師65%、医師が54%

設問8 内視鏡室(センター)において、鉗子及び処置具操作を実施している主な職種は誰ですか(複数回答) n=408



問9 内視鏡室（センター）において、CEが実施している鉗子及び処置具の具体的操作について選択してください。（複数回答）

目的：内視鏡室（センター）における内視鏡検査治療時においてCEがどのような具体的鉗子及び処置具操作を実施しているか把握するため。

定義：施設の内視鏡室（センター）においてCEが実施している鉗子及び処置具の具体的な操作について選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

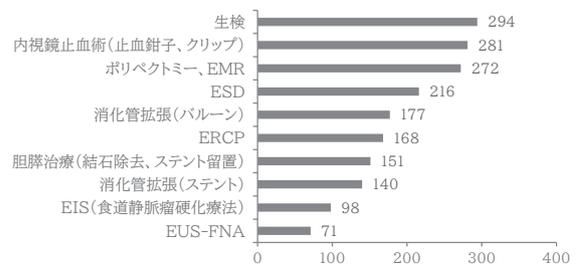
有効回答数：324

回答	n	割合
生検	294	90.7%
内視鏡止血術(止血鉗子, クリップ)	281	86.7%
ポリペクトミー, EMR	272	84.0%
ESD	216	66.7%
消化管拡張(バルーン)	177	54.6%
ERCP	168	51.9%
胆膵治療(結石除去, ステンツ留置)	151	46.6%
消化管拡張(ステント)	140	43.2%
EIS(食道静脈瘤硬化療法)	98	30.2%
EUS-FNA	71	21.9%

解説

内視鏡室（センター）において、CEが実施している鉗子及び処置具の具体的操作は、80%を超える施設で、生検、内視鏡止血術(止血鉗子, クリップ), ポリペクトミーを実施していた。

設問9 内視鏡室(センター)において、CEが実施している鉗子及び処置具の具体的操作について選択してください。(複数回答) n=324



問10 CEが鉗子及び処置具を操作するにあたり、院内の理解が得られていますか？また、認定制度などを取り入れていますか？

目的：内視鏡室（センター）で鉗子及び処置具操作を実施するにあたり院内のコンセンサスがどれだけ取れているか把握するため

定義：施設の内視鏡室（センター）においてCEが実施している鉗子及び処置具の操作についての院内の関連制について選択してください。

対象：2023年10月1日時点

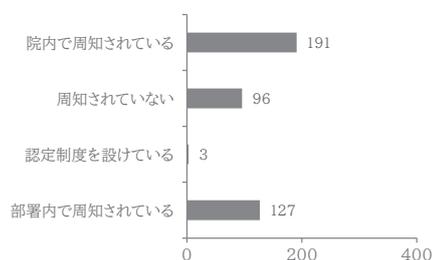
有効回答数：417

回答	n	割合
院内で周知されている	191	45.8%
周知されていない	96	23.0%
認定制度を設けている	3	0.7%
部署内で周知されている	127	30.5%

解説

内視鏡室（センター）でCEの鉗子及び処置具を操作が院内で理解を得られているかは、院内で周知されているが最も多く46%、部署内で周知されている31%、認定制度を設けている施設は1%であった。

設問10 CEが鉗子及び処置具を操作するにあたり、院内の理解が得られていますか？また、認定制度などを取り入れていますか？ n=417



問11 日臨工内視鏡業務専門認定士取得者数を選択してください。

目的：日臨工内視鏡業務専門認定士取得者数を把握する。

定義：日臨工内視鏡業務専門認定士取得者数を入力してください。 ※該当者がいない場合は0を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

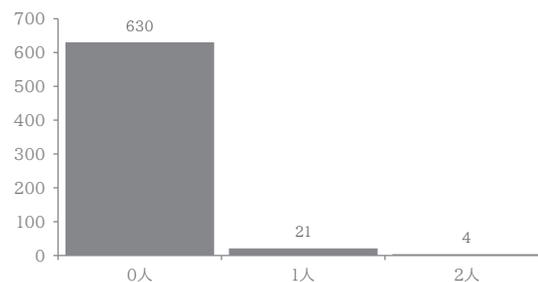
有効回答数：655

回答	n	割合
0人	630	96.2%
1人	21	3.2%
2人	4	0.6%

解説

日臨工内視鏡業務専門認定士取得者数は0人が最も多く96%、1人は3%であった。

設問11 日臨工内視鏡業務専門認定士取得者数を選択してください。 n=655



問12 CEの消化器内視鏡技師の認定者数を選択してください。

目的：CEの消化器内視鏡技師の認定者数を把握する。
定義：CEの消化器内視鏡技師の認定者数を入力してください。 ※該当者がいない場合は0を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

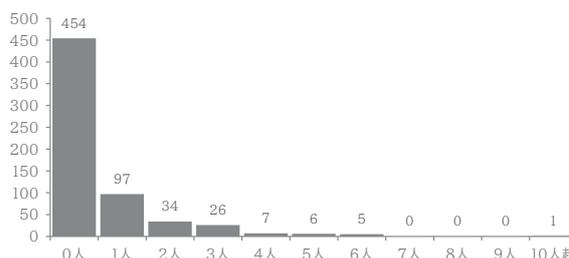
有効回答数：630

回答	n	割合
0人	454	72.1%
1人	97	15.4%
2人	34	5.4%
3人	26	4.1%
4人	7	1.1%
5人	6	1.0%
6人	5	0.8%
7人	0	0.0%
8人	0	0.0%
9人	0	0.0%
10人超	1	0.2%

解説

CEの消化器内視鏡技師の認定者数は、0人が最も多く72%、次いで1人が15%であった。また、10人超の施設は1施設あった。

設問12 CEの消化器内視鏡技師の認定者数を選択してください。 n=630



問13 CEが休日もしくは夜間における緊急内視鏡（止血や異物除去等）に備えて待機を行っていますか（単一回答）

目的：CEが緊急内視鏡に対する待機実施状況を把握する。

定義：緊急内視鏡に備え、院内もしくは自宅で待機を行っているか。

対象：2023年10月1日時点

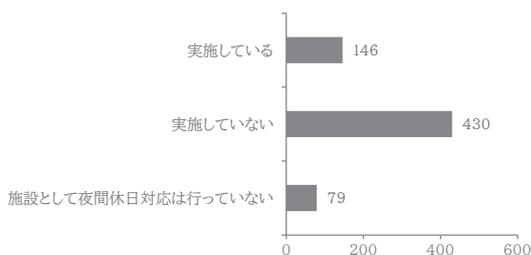
有効回答数：655

回答	n	割合
実施している	146	22.3%
実施していない	430	65.6%
施設として夜間休日対応は行っていない	79	12.1%

解説

CEが休日、夜間の緊急内視鏡に備えた待機は、実施していないが最も多く66%、実施している22%であった。

設問13 CEが休日もしくは夜間における緊急内視鏡（止血や異物除去等）に備えて待機を行っていますか（単一回答）
n=655



X. 施設報告 手術室アドオン

問1 所属する都道府県技士会、問2 施設名は省略する。

問3 CEは麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施していますか。（単一回答）

目的：麻酔管理の補助業務をCEが実施しているか把握する。

定義：CEは麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施しているか選択する。※麻酔器の機器管理などでの準備業務だけを行っている場合は含まない。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：822

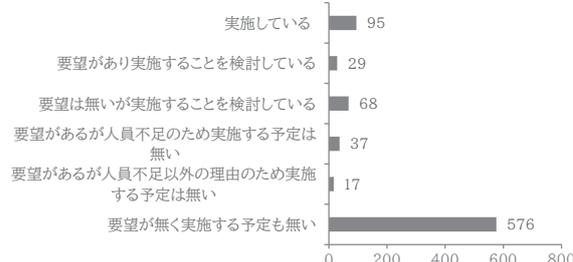
回答	n	割合
実施している	95	11.6%
要望があり実施することを検討している	29	3.5%
要望は無いが実施することを検討している	68	8.3%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	37	4.5%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	17	2.1%
要望が無く実施する予定も無い	576	70.1%

解説

CEの麻酔管理の補助業務は、要望が無く実施する

予定も無いが最も多く70%、実施しているは12%であった。要望に関わらず実施を検討している施設は12%であった。

設問3 CEは麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施していますか。（単一回答） n=822



問4 CEが行った年間の麻酔補助件数を入力してください。

目的：施設の年間のCEによる麻酔補助件数把握のため。

定義：施設における年間（対象期間）麻酔補助実施総件数を入力してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

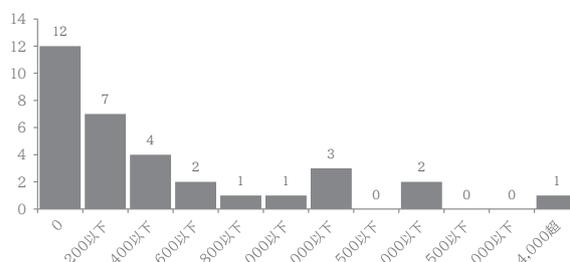
有効回答数：97

回答	n	割合
0	12	12.4%
200以下	7	7.2%
400以下	4	4.1%
600以下	2	2.1%
800以下	1	1.0%
1,000以下	1	1.0%
2,000以下	3	3.1%
2,500以下	0	0.0%
3,000以下	2	2.1%
3,500以下	0	0.0%
4,000以下	0	0.0%
4,000超	1	1.0%

解説

CEが行った年間の麻酔補助件数は、0件が最も多く12%であった。次いで200件以下7.2%、400件以下4%であった。

設問4 CEが行った年間の麻酔補助件数を入力してください。
n=97



問5 CEが実施している麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を全て選んでください。(複数回答)

目的：CEが実施する麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務の把握。

定義：CEが実施する麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務をすべて選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：137

回答	n	割合
麻酔器の使用前準備	120	87.6%
入退室時の誘導	66	48.2%
動脈圧ライン組み立て	63	46.0%
入退室時の各種ライン整理	59	43.1%
挿管介助	54	39.4%
全身麻酔器の操作・設定変更	49	35.8%
バイタルサインの確認・麻酔記録の記入	45	32.8%
気管挿管や術中麻酔に使用する薬剤の準備	42	30.7%
動脈圧ラインからの採血	38	27.7%
麻酔作動薬や循環作動薬、輸液の投与	31	22.6%
神経ブロック介助	28	20.4%
術前の患者情報収集	27	19.7%

解説

CEが実施する麻酔管理の補助業務は、麻酔器の使用前準備が最も多く88%であった。全身麻酔器の操作・設定変更は36%であった。

設問5 CEが実施している麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を全て選んでください。(複数回答) n=137



問6 CEは全身麻酔に必要な静脈路の確保を実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答)

目的：全身麻酔に必要な静脈路の確保をCEがどの程度実施するか把握する。

定義：全身麻酔に必要な静脈路の確保をCEは今後実施するかに対して近いものを選択する。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：855

回答	n	割合
実施している	32	3.7%
要望があり実施することを検討している	22	2.6%
要望は無いが実施することを検討している	71	8.3%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	16	1.9%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	10	1.2%
要望が無く実施する予定も無い	654	76.5%

解説

CEは全身麻酔に必要な静脈路の確保を実施するかは、要望が無く実施する予定も無いが最も多く77%、実施しているは4%、要望に関わらず実施を検討しているは11%であった。

設問6 CEは全身麻酔に必要な静脈路の確保を実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答) n=855



問7 手術室における清潔野補助をCEは実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答)

目的：CEの手術室における清潔野補助の実施状況を把握する。

定義：CEの手術室における清潔野補助の実施状況に対して近いものを選択する。

対象：2023年10月1日時点

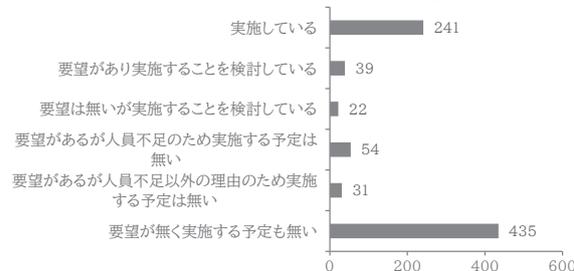
有効回答数：822

回答	n	割合
実施している	241	29.3%
要望があり実施することを検討している	39	4.7%
要望は無いが実施することを検討している	22	2.7%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	54	6.6%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	31	3.8%
要望が無く実施する予定も無い	435	52.9%

解説

手術室における清潔野補助をCEが実施しているかは、要望が無く実施する予定も無いが半数を超え53%であった。実施しているは29%、要望に関わらず実施を検討している施設は7%であった。

設問7 手術室における清潔野補助をCEは実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答) n=822



問8 CEが手術室において清潔野補助を実施している診療科をすべて選択してください。(複数回答)

目的：CEが手術室において清潔野補助を実施している診療科を把握する。

定義：CEが手術室において清潔野補助を実施している診療科を全て選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：255

回答	n	割合
一般外科	130	51.0%
心臓血管外科	86	33.7%
整形外科	79	31.0%
泌尿器科	77	30.2%
眼科	44	17.3%
呼吸器外科	42	16.5%
腎臓内科	32	12.5%
産婦人科	31	12.2%
形成外科	23	9.0%
脳神経外科	23	9.0%
乳腺外科	17	6.7%
耳鼻咽喉科頭頸部外科	16	6.3%
歯科口腔外科	15	5.9%
皮膚科	9	3.5%

解説

CEが手術室において清潔野補助を実施している診療科は、一般外科が最も多く51%、次いで心臓血管外科、整形外科、泌尿器科が30%を超えている。

設問8 CEが手術室において清潔野補助を実施している診療科をすべて選択してください。(複数回答) n=255



問9 内視鏡外科手術を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設の内視鏡外科手術の実施状況を把握する。

定義：内視鏡外科手術の実施について選択してください。※CE関与は関係ありません。手術支援ロボットを使用した手術も内視鏡外科手術に含みます。

対象：2023年10月1日時点

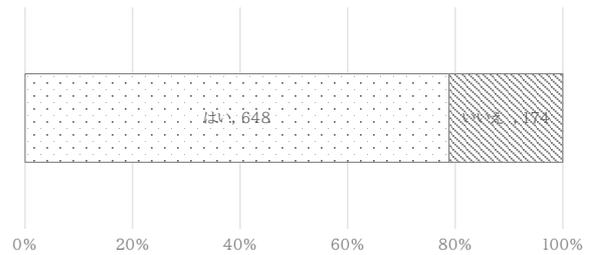
有効回答数：822

回答	n	割合
いいえ	174	21.2%
はい	648	78.8%

解説

内視鏡外科手術を実施している施設は79%であった。

設問9 内視鏡外科手術を実施していますか。(単一回答) n=822



問10 手術支援ロボットを使用した手術を実施していますか(単一回答)

目的：所属施設の手術支援ロボットを使用した手術の実施状況を把握する。

定義：手術支援ロボットを使用した手術の実施について選択してください。※CEの関与は関係ありません。

対象：2023年10月1日時点

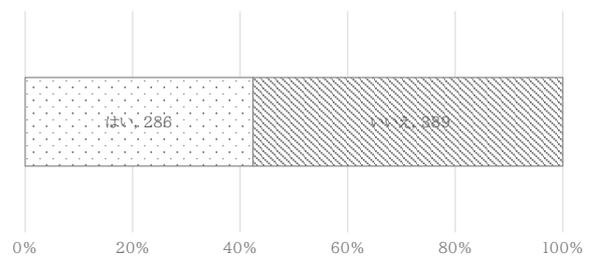
有効回答数：675

回答	n	割合
いいえ	389	57.6%
はい	286	42.4%

解説

手術支援ロボットを使用した手術を実施する施設は42%であった。

設問10 手術支援ロボットを使用した手術を実施していますか(単一回答) n=675



問11 CEはロボット支援手術業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答)

目的：CEは内視鏡外科手術におけるロボット支援手術業務をどの程度実施しているか把握する。

定義：CEは内視鏡外科手術におけるロボット支援手術業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

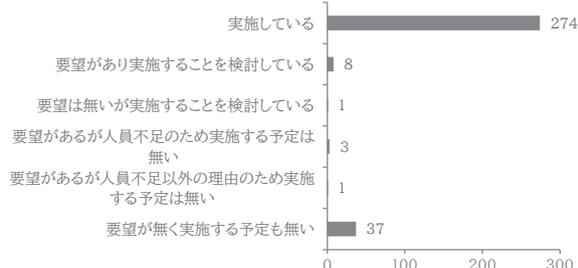
有効回答数：324

回答	n	割合
実施している	274	84.6%
要望があり実施することを検討している	8	2.5%
要望は無いが実施することを検討している	1	0.3%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	3	0.9%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	1	0.3%
要望が無く実施する予定も無い	37	11.4%

解説

CEのロボット支援手術業務は、実施しているが最も多く85%、要望に関わらず検討している施設は3%であった。

設問11 CEはロボット支援手術業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答) n=324



問12 CEが実施しているロボット支援手術業務を全て選んでください。(複数回答)

目的：CEが実施するロボット支援手術業務を把握する。

定義：CEが実施するロボット支援手術業務をすべて選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：287

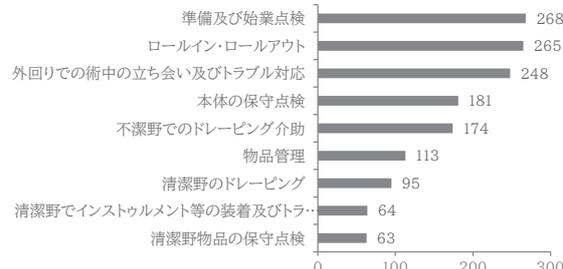
回答	n	割合
準備及び始業点検	268	93.4%
ロールイン・ロールアウト	265	92.3%
外回りでの術中の立ち会い及びトラブル対応	248	86.4%
本体の保守点検	181	63.1%
不潔野でのドレーピング介助	174	60.6%
物品管理	113	39.4%
清潔野のドレーピング	95	33.1%
清潔野でインストゥルメント等の装着及びトラブル対応	64	22.3%
清潔野物品の保守点検	63	22.0%

解説

CEが実施しているロボット支援手術業務は、準備及び始業点検93%、ロールイン・ロールアウト92%でありほとんどの施設が実施していた。次いでトラブル対応86%、本体の保守点検63%であっ

た。ロボット支援手術の清潔野の業務として、ドレーピング33%、トラブル対応、保守点検は20%以上の施設が実施している。

設問12 CEが実施しているロボット支援手術業務を全て選んでください。(複数回答) n=287



問13 CEは内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答)

目的：CEは内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務をどの程度実施しているか把握する。

定義：CEは内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

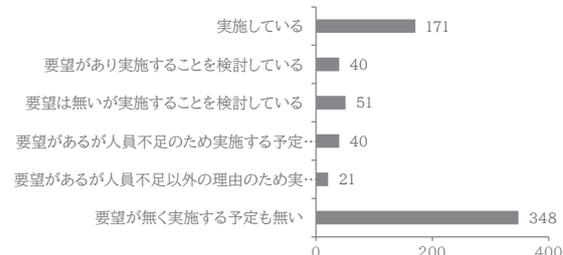
有効回答数：671

回答	n	割合
実施している	171	25.5%
要望があり実施することを検討している	40	6.0%
要望は無いが実施することを検討している	51	7.6%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	40	6.0%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	21	3.1%
要望が無く実施する予定も無い	348	51.9%

解説

CEの内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務は、要望が無く実施する予定も無いが最も多く51.9%、実施しているのは26%、要望に関わらず検討している施設は14%であった。

設問13 CEは内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答) n=671



問14 CEが行った年間のスコープオペレーター業務件数を入力してください。

目的：CEによる施設の年間のスコープオペレーター業務件数把握のため。

定義：CEによる施設における年間（対象期間）スコープオペレーター実施件数を選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

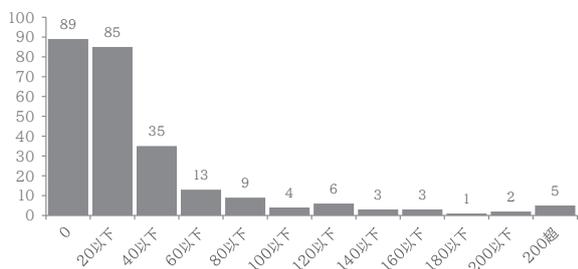
有効回答数：255

回答	n	割合
0	89	34.9%
20以下	85	33.3%
40以下	35	13.7%
60以下	13	5.1%
80以下	9	3.5%
100以下	4	1.6%
120以下	6	2.4%
140以下	3	1.2%
160以下	3	1.2%
180以下	1	0.4%
200以下	2	0.8%
200超	5	2.0%

解説

CEが行った年間のスコープオペレーター業務件数は、0件が最も多く35%、次いで20件以下は33%であった。200件を超える施設は2%であった。

設問14 CEが行った年間のスコープオペレーター業務件数を入力してください、n=255



問15 CEがスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域を全て選択してください（複数回答）

目的：CEがスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域を把握する。

定義：CEがスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域をすべて選択してください。

対象：2023年10月1日時点

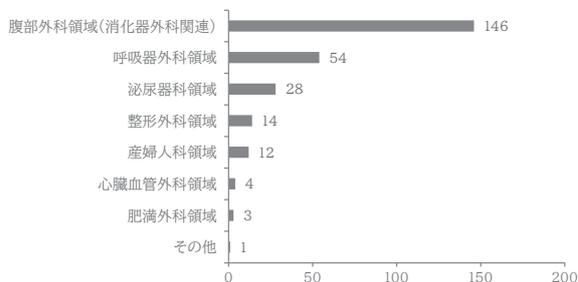
有効回答数：174

回答	n	割合
腹部外科領域(消化器外科関連)	146	83.9%
呼吸器外科領域	54	31.0%
泌尿器科領域	28	16.1%
整形外科領域	14	8.0%
産婦人科領域	12	6.9%
心臓血管外科領域	4	2.3%
肥満外科領域	3	1.7%
その他	1	0.6%
その他:なし(1)		

解説

CEがスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域は、腹部外科領域（消化器外科関連）が最も多く84%、次いで呼吸器外科領域31%、泌尿器科領域16%であった。

設問15 CEがスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域を全て選択してください(複数回答) n=174



問16 CE がスコープオペレーター業務を実施している業務を具体的に全て選択してください。(複数回答)

目的：CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術を把握する。

定義：CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術をすべて選択してください。

対象：2023年10月1日時点

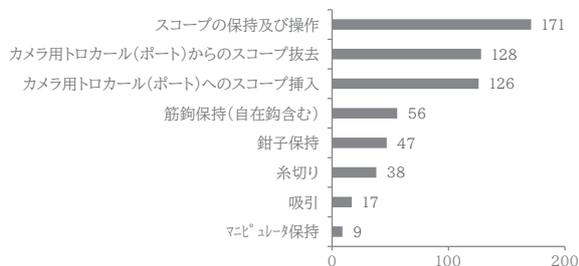
有効回答数：172

回答	n	割合
スコープの保持及び操作	171	99.4%
カメラ用トロカール(ポート)からのスコープ抜去	128	74.4%
カメラ用トロカール(ポート)へのスコープ挿入	126	73.3%
筋鉤保持(自在鉤含む)	56	32.6%
鉗子保持	47	27.3%
糸切り	38	22.1%
吸引	17	9.9%
マニピュレータ保持	9	5.2%

解説

CE の具体的なスコープオペレーター業務は、ほとんどの施設はスコープの保持及び操作 99% を実施していた。次いでカメラ用ポートからスコープの抜去・挿入は 70% 以上の施設が行っている。筋鉤保持(自在鉤含む) 33%、鉗子保持 27%、糸切り 22% の施設で実施している。

設問16 CEがスコープオペレーター業務を実施している業務を具体的に全て選択してください。(複数回答) n=172



問17 術中神経モニタリング業務を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設の術中の神経モニタリング業務の実施状況を把握する。

定義：術中の神経モニタリング業務の実施について選択してください。※ CE 関与は関係ありません。

対象：2023年10月1日時点

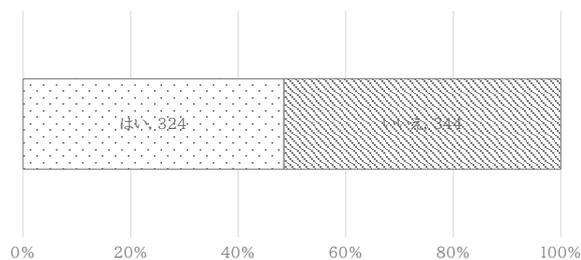
有効回答数：672

回答	n	割合
いいえ	331	49.3%
はい	341	50.7%

解説

術中神経モニタリング業務は、51%の施設で実施している。

設問17 術中神経モニタリング業務を実施していますか。(単一回答) n=672



問18 CE は術中の神経モニタリング業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答)

目的：CE は術中の神経モニタリング業務をどの程度実施しているか把握する。

定義：CE は術中の神経モニタリング業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

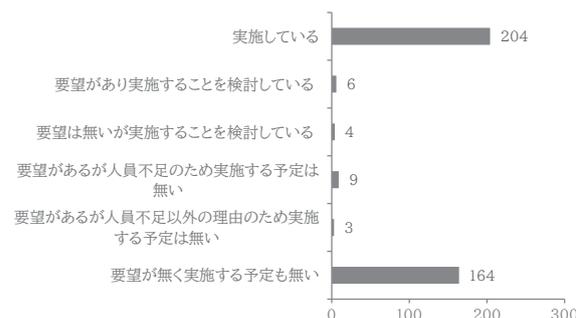
有効回答数：390

回答	n	割合
実施している	204	52.3%
要望があり実施することを検討している	6	1.5%
要望は無いが実施することを検討している	4	1.0%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	9	2.3%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	3	0.8%
要望が無く実施する予定も無い	164	42.1%

解説

CE の術中の神経モニタリング業務は、52%で実施している。要望が無く実施する予定も無いのは42%、要望に関わらず実施を検討している施設は3%であった。

設問18 CEは術中の神経モニタリング業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答) n=390



問19 CE が実施している術中の神経モニタリング業務を全て選んでください。(複数回答)

目的：CE が実施する神経モニタリング業務の把握。
 定義：CE が実施する神経モニタリング業務をすべて選択してください。

対象：2023年10月1日時点

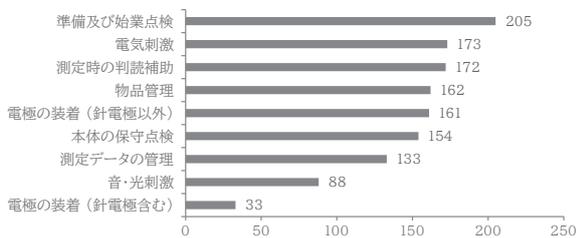
有効回答数：222

回答	n	割合
準備及び始業点検	205	92.3%
電気刺激	173	77.9%
測定時の判読補助	172	77.5%
物品管理	162	73.0%
電極の装着(針電極以外)	161	72.5%
本体の保守点検	154	69.4%
測定データの管理	133	59.9%
音・光刺激	88	39.6%
電極の装着(針電極含む)	33	14.9%

解説

CE が実施する術中の神経モニタリング業務は、準備及び始業点検が最も多く 92.3%，次いで電気刺激 78%，測定時の判読補助 78%，物品管理 73%，電極の装着(針電極以外) 73% が多く施設で実施している。

設問19 CEが実施している術中の神経モニタリング業務を全て選んでください。(複数回答) n=222



問20 術中ナビゲーション業務を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設の術中のナビゲーション業務の実施状況を把握する。

定義：術中のナビゲーション業務の実施について選択してください。 ※ CE 関与は関係ありません。

対象：2023年10月1日時点

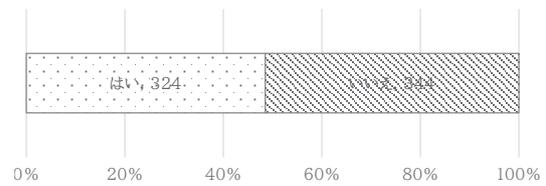
有効回答数：668

回答	n	割合
はい	324	48.5%
いいえ	344	51.5%

解説

施設で術中ナビゲーション業務を実施しているは 49% であり約半数の施設が実施している。

設問20 術中ナビゲーション業務を実施していますか。(単一回答) n=668



問21 CE は術中のナビゲーション業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答)

目的：CE は術中のナビゲーション業務をどの程度実施しているか把握する。

定義：CE は術中のナビゲーション業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

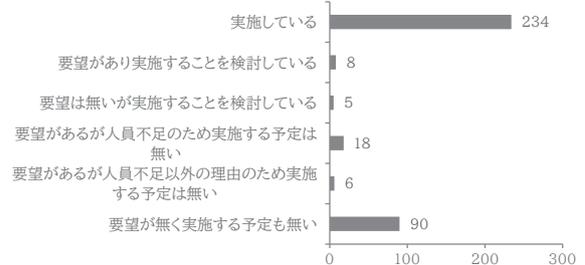
有効回答数：361

回答	n	割合
実施している	234	64.8%
要望があり実施することを検討している	8	2.2%
要望は無いが実施することを検討している	5	1.4%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	18	5.0%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	6	1.7%
要望が無く実施する予定も無い	90	24.9%

解説

術中ナビゲーション業務は、実施しているが最も多く 65% であった。要望に関わらず実施を検討している施設は 4% であった。

設問21 CEは術中のナビゲーション業務を実施していますか、または今後実施しますか。(単一回答) n=361



問22 CE が実施している術中のナビゲーション業務を全て選んでください。(複数回答)

目的：CE が実施するナビゲーション業務を把握する。
 定義：CE が実施するナビゲーション業務をすべて選択してください。

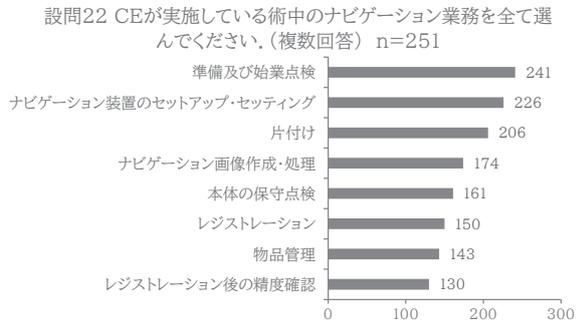
対象：2023年10月1日時点

有効回答数：251

回答	n	割合
準備及び始業点検	241	96.0%
ナビゲーション装置のセットアップ・セッティング	226	90.0%
片付け	206	82.1%
ナビゲーション画像作成・処理	174	69.3%
本体の保守点検	161	64.1%
レジストレーション	150	59.8%
物品管理	143	57.0%
レジストレーション後の精度確認	130	51.8%

解説

CE が実施している術中のナビゲーション業務は、準備及び始業点検が最も多く 96% 実施している。次いでナビゲーション装置のセットアップ・セッティング 90%、片付け 80% であった。



XI. 施設報告 不整脈アブレーション治療関連業務 アドオン

問1 所属する都道府県技士会、問2 施設名は省略する。

問3 不整脈カテーテルアブレーションに従事するCEは何名在籍していますか。(単一回答)

目的：アブレーション業務に従事している技士数の実数を把握する。

定義：従事している臨床工学技士がいない場合は0を選択。

対象：2023年10月1日時点

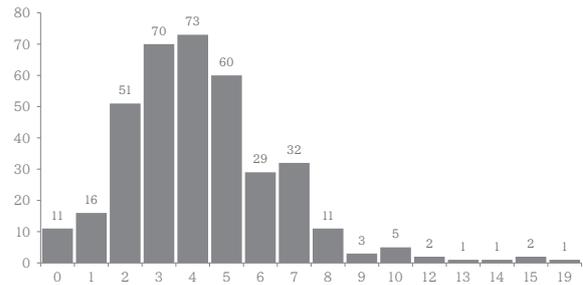
有効回答数：369

項目	n	割合
0	11	3.0%
1	16	4.3%
2	51	13.8%
3	70	19.0%
4	73	19.8%
5	60	16.3%
6	29	7.9%
7	32	8.7%
8	11	3.0%
9	3	0.8%
10	5	1.4%
12	2	0.5%
13	1	0.3%
14	1	0.3%
15	2	0.5%
15超	1	0.3%

解説

不整脈カテーテルアブレーションに従事するCEは何名在籍するかは、従事者2～5名で69%を占めていた。

設問3 不整脈カテーテルアブレーションに従事するCEは何名在籍していますか。(単一回答) n=369



問4 不整脈カテーテルアブレーションにおいてCEが担当している業務を選択してください。(複数回答)

目的：アブレーション業務実態を把握する。

定義：複数選択 (タスクシフト関連)

対象：2023年10月1日時点

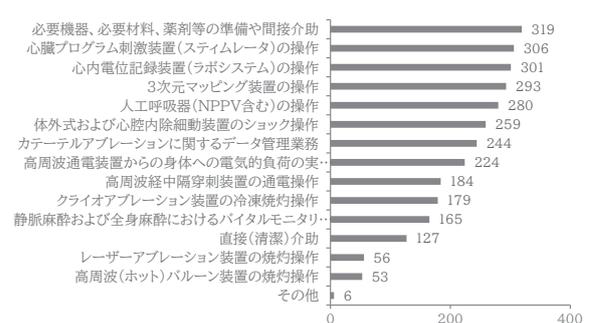
有効回答数：359

項目	n	割合
必要機器、必要材料、薬剤等の準備や間接介助	319	88.9%
心臓プログラム刺激装置(ステイムレータ)の操作	306	85.2%
心内電位記録装置(ラボシステム)の操作	301	83.8%
3次元マッピング装置の操作	293	81.6%
人工呼吸器(NPPV含む)の操作	280	78.0%
体外式および心腔内除細動装置のショック操作	259	72.1%
カテーテルアブレーションに関するデータ管理業務	244	68.0%
高周波通電装置からの身体への電気的負荷の実施(通電操作)	224	62.4%
高周波経中隔穿刺装置の通電操作	184	51.3%
クライオアブレーション装置の冷凍焼灼操作	179	49.9%
静脈麻酔および全身麻酔におけるバイタルモニタリング(EtCO2, BIS)	165	46.0%
直接(清潔)介助	127	35.4%
レーザーアブレーション装置の焼灼操作	56	15.6%
高周波(ホット)バルーン装置の焼灼操作	53	14.8%
その他	6	1.7%

解説

必要機器、必要材料、薬剤等の準備や間接介助が最も多く 88.9% であった。

設問4 不整脈カテーテルアブレーションにおいてCEが担当している業務を選択してください。(複数回答) n=359



問5 不整脈カテーテルアブレーションにおいて、外部業者(メーカーおよび販売代理店)がアブレーション関連医療機器操作を行っていますか。(単一回答)
目的: アブレーション業務における業者の操作行為を把握する。

定義: 業者の操作行為を選択する。

対象: 2023年10月1日時点

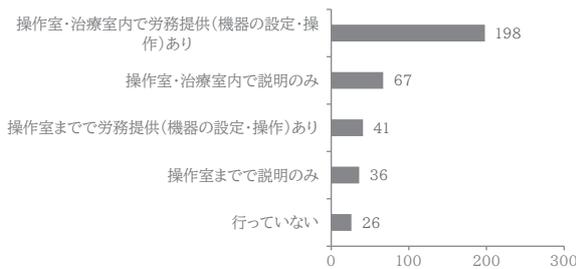
有効回答数: 368

項目	n	割合
操作室・治療室内で労務提供(機器の設定・操作)あり	198	53.8%
操作室・治療室内で説明のみ	67	18.2%
操作室までで労務提供(機器の設定・操作)あり	41	11.1%
操作室までで説明のみ	36	9.8%
行っていない	26	7.1%

解説

操作室・治療室内で労務提供(機器の設定・操作)ありは53.8%であった。

設問5 不整脈カテーテルアブレーションにおいて、外部業者(メーカーおよび販売代理店)がアブレーション関連医療機器操作を行っていますか。(単一回答) n=368



問6 不整脈カテーテルアブレーションに従事するCEのうち日臨工・不整脈治療関連専門臨床工学技士は何名在籍していますか。

目的: アブレーション業務に従事している技士数のうち専門臨床工学技士の割合を把握する。

定義: 従事している臨床工学技士がいない場合は0を入力

対象: 2023年10月1日時点

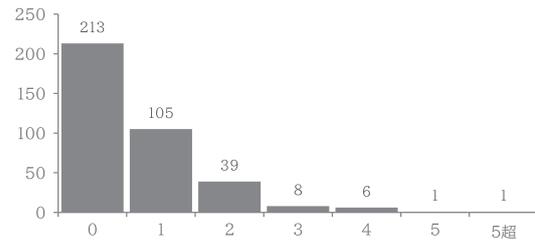
有効回答数: 373

項目	n	割合
0	213	57.1%
1	105	28.2%
2	39	10.5%
3	8	2.1%
4	6	1.6%
5	1	0.3%
5超	1	0.3%

解説

1名28%, 2名11%であった。

設問6 不整脈カテーテルアブレーションに従事するCEのうち日臨工・不整脈治療関連専門臨床工学技士は何名在籍していますか。n=373



XII. 施設報告 心臓植込み型デバイス関連業務アブレーション

問1 所属する都道府県技士会, 問2 施設名は省略する。

問3 心臓植込み型デバイス関連業務に従事する臨床工学技士は何名在籍していますか。(単一回答)

目的: デバイス関連業務に従事している技士数の実数を把握する。

定義: デバイス関連業務に従事している技士数の実数を選択してください。

対象: 2023年10月1日時点

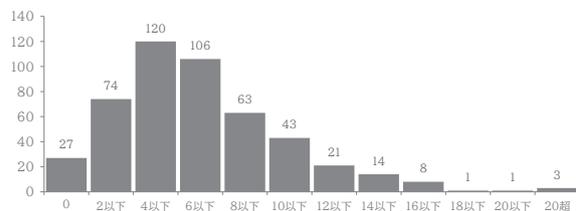
有効回答数: 481

項目	n	割合
0	27	5.6%
2以下	74	15.4%
4以下	120	24.9%
6以下	106	22.0%
8以下	63	13.1%
10以下	43	8.9%
12以下	21	4.4%
14以下	14	2.9%
16以下	8	1.7%
18以下	1	0.2%
20以下	1	0.2%
20超	3	0.6%

解説

4人以下が25%と最も多く、ついで6人以下が多かった。10人以上の施設は少なかった。

設問3 心臓植込み型デバイス関連業務に従事する臨床工学技士は何名在籍していますか。(単一回答) n=481



問4 心臓植込み型デバイス診療においてCEが担当している業務を選択してください。(複数回答)

目的：デバイス関連業務実態を把握する。

定義：心臓植込み型デバイス診療においてCEが担当している業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

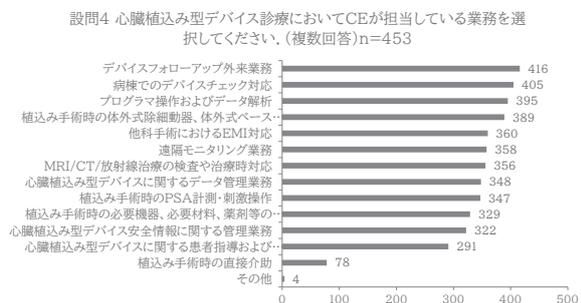
有効回答数：453

項目	n	割合
デバイスフォローアップ外来業務	416	91.8%
病棟でのデバイスチェック対応	405	89.4%
プログラマ操作およびデータ解析	395	87.2%
植込み手術時の体外式除細動器、体外式ペースメーカの操作	389	85.9%
他科手術におけるEMI対応	360	79.5%
遠隔モニタリング業務	358	79.0%
MRI/CT/放射線治療の検査や治療時対応	356	78.6%
心臓植込み型デバイスに関するデータ管理業務	348	76.8%
植込み手術時のPSA計測・刺激操作	347	76.6%
植込み手術時の必要機器、必要材料、薬剤等の準備や間接介助	329	72.6%
心臓植込み型デバイス安全情報に関する管理業務	322	71.1%
心臓植込み型デバイスに関する患者指導および説明業務	291	64.2%
植込み手術時の直接介助	78	17.2%
その他	4	0.9%

その他：高周波手術装置を使用する際のチェックおよび設定変更のみ(1)、今後する予定なのでまだ決まっていない(1)、対応していない(1)、データチェック(1)

解説

デバイスフォローアップ外来業務が92%と多く、病棟でのデバイスチェック対応、プログラマ操作およびデータ解析、植込み手術時の体外式除細動器・体外式ペースメーカの操作と続いた。植込み手術時の直接介助は17%と他と比べて実施割合は低かった。



問5 年間のプログラマによるテレメトリ業務の回数は何件ですか。(単一回答)

目的：全国の施設におけるテレメトリ業務の実数を把握する。

定義：年間のプログラマによるテレメトリ業務の回数を回答してください。

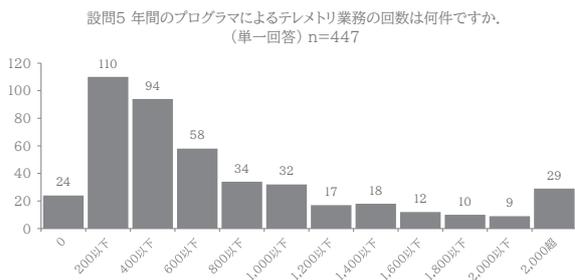
対象：2022年4月1日～2023年3月31日

有効回答数：447

項目	n	割合
0	24	5.4%
200以下	110	24.6%
400以下	94	21.0%
600以下	58	13.0%
800以下	34	7.6%
1,000以下	32	7.2%
1,200以下	17	3.8%
1,400以下	18	4.0%
1,600以下	12	2.7%
1,800以下	10	2.2%
2,000以下	9	2.0%
2,000超	29	6.5%

解説

200回以下が25%を占め、400回以下は21%だった。1,000回以上行っている施設は少ないと考えられた。



問6 心臓植込み型デバイス診療において外部業者(メーカーおよび販売代理店)がプログラマ機器操作を行っていますか。(単一回答)

目的：デバイス業務における業者の操作行為を把握する。

定義：デバイス業務における業者の操作行為を行っているかを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

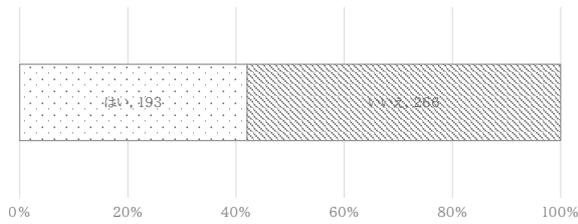
有効回答数：459

項目	n	割合
はい	193	42.0%
いいえ	266	58.0%

解説

外部業者がプログラマ操作を行っている施設は42%、自施設で行っている施設は58%だった。まだ外部業者にて操作が行われている現状が多くあると考えられた。

設問6 心臓植込み型デバイス診療において外部業者(メーカーおよび販売代理店)がプログラマ機器操作を行っていますか。(単一回答) n=459



問7 心臓植込み型デバイス関連業務に従事する臨床工学技士のうち日臨工・不整脈治療関連専門臨床工学技士は何名在籍していますか。

目的：デバイス関連業務に従事している技士数のうち専門臨床工学技士の割合を把握する。

定義：デバイス関連業務に従事している技士数を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

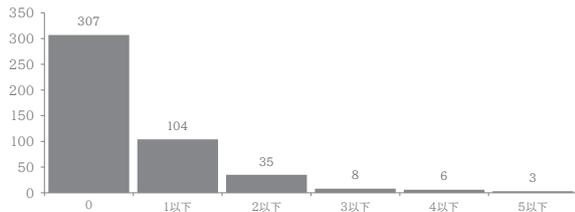
有効回答数：463

項目	n	割合
0	307	66.3%
1以下	104	22.5%
2以下	35	7.6%
3以下	8	1.7%
4以下	6	1.3%
5以下	3	0.6%

解説

66%の施設は不整脈治療関連専門臨床工学技士がいなかった。1名以下が22%、2名以下が8%と続いた。

設問7 心臓植込み型デバイス関連業務に従事する臨床工学技士のうち日臨工・不整脈治療関連専門臨床工学技士は何名在籍していますか。 n=463



XIII. 施設報告 高気圧酸素治療アドオン

問1 所属する都道府県技士会, 問2 施設名は省略する。

問3 高気圧酸素治療実施件数を選択してください。

目的：施設の高気圧酸素治療実施件数把握のため。

定義：施設の高気圧酸素治療実施件数を選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

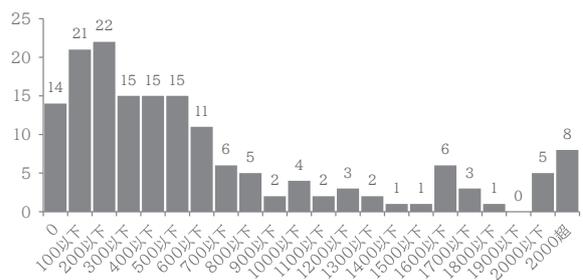
有効回答数：有効回答数：162

項目	n	割合
0	14	8.6%
100以下	21	13.0%
200以下	22	13.6%
300以下	15	9.3%
400以下	15	9.3%
500以下	15	9.3%
600以下	11	6.8%
700以下	6	3.7%
800以下	5	3.1%
900以下	2	1.2%
1000以下	4	2.5%
1100以下	2	1.2%
1200以下	3	1.9%
1300以下	2	1.2%
1400以下	1	0.6%
1500以下	1	0.6%
1600以下	6	3.7%
1700以下	3	1.9%
1800以下	1	0.6%
1900以下	0	0.0%
2000以下	5	3.1%
2000超	8	4.9%

解説

高気圧酸素治療の実施件数は、1施設あたり年間500件以下が多かった。一方、2,000件以上のハイボリュームセンターも見受けられた。

設問3 高気圧酸素治療実施件数を選択してください。 n=162



問4 高気圧酸素治療装置（第1種装置）の保有数を入力してください。（単一回答）

目的：施設の高気圧酸素治療装置（第1種装置）の台数把握のため。

定義：施設の高気圧酸素治療装置（第1種装置）の保有数を選択してください。保有していない場合は0を入力してください。

対象：2023年10月1日時点

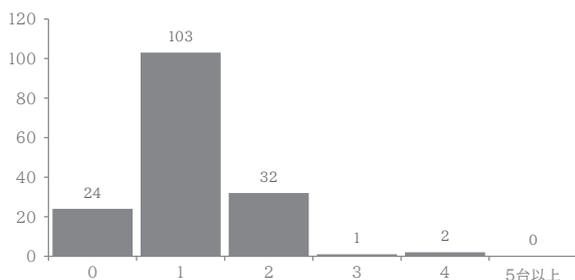
有効回答数：162

項目	n	割合
0	24	14.8%
1	103	63.6%
2	32	19.8%
3	1	0.6%
4	2	1.2%
5台以上	0	0.0%

解説

多くの施設が1台または2台を保有していた。3台以上保有している施設もあった。

設問4 高気圧酸素治療装置(第1種装置)の保有数を選択して入力してください。(単一回答) n=162



問5 高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の人数を記載してください。（単一回答）

目的：高気圧酸素治療の総従事者数を把握する。

定義：高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の専任者・兼任者を含めた総数を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

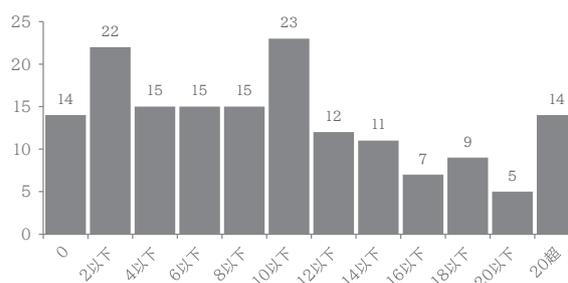
有効回答数：162

項目	n	割合
0	14	8.6%
2以下	22	13.6%
4以下	15	9.3%
6以下	15	9.3%
8以下	15	9.3%
10以下	23	14.2%
12以下	12	7.4%
14以下	11	6.8%
16以下	7	4.3%
18以下	9	5.6%
20以下	5	3.1%
20超	14	8.6%

解説

高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士は、2名以下、10名以下がそれぞれ14%と多かった。20名以上で関わっている施設も9%あった。

設問5 高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の人数を選択してください。(単一回答) n=162



問6 高気圧酸素治療装置の加圧方式を教えてください。（単一回答）

目的：高気圧酸素治療装置の加圧方式を把握する。

定義：高気圧酸素治療装置の加圧方式を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

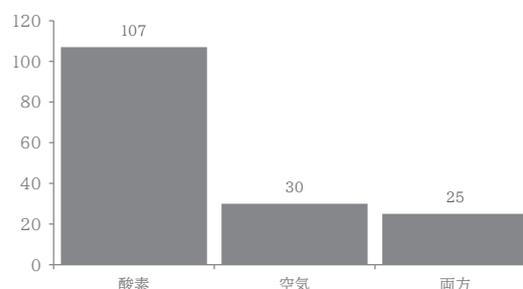
有効回答数：162

項目	n	割合
酸素	107	66.0%
空気	30	18.5%
両方	25	15.4%

解説

高気圧酸素治療装置の加圧方式は、酸素が最も多く66%であった。次いで空気が19%であった。

設問6 高気圧酸素治療装置の加圧方式を教えてください。(単一回答)n=162



問7 臨床工学技士が休日もしくは夜間における緊急の高気圧酸素治療に備えて待機を行っていますか。（単一回答）

目的：緊急高気圧酸素治療に対する待機実施状況を把握する。

定義：緊急高気圧酸素治療に備え、院内もしくは自宅で待機を行っているか。

対象：2023年10月1日時点

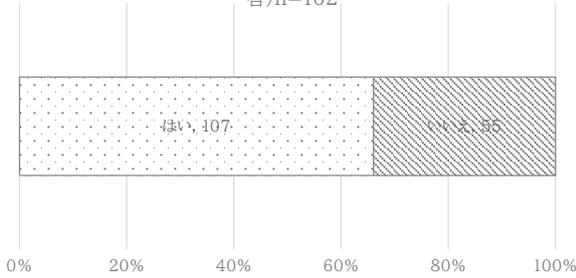
有効回答数：162

項目	n	割合
はい	107	66.0%
いいえ	55	34.0%

解説

休日または夜間における緊急的な高気圧酸素に備えて待機を行っている施設は66%あった。多くの施設では、緊急対応体制が整っていると考えられた。

設問7 臨床工学技士が休日もしくは夜間における緊急的な高気圧酸素治療に備えて待機を行っていますか。(単一回答)n=162



問8 高気圧酸素治療の災害(緊急時)訓練を行っていますか。(単一回答)

目的: 高気圧酸素治療の災害(緊急時)訓練の実施状況を把握する。

定義: 対象期間(1年間)に高気圧酸素治療の災害(緊急時)訓練の実施状況を入力してください。

対象: 2022年4月1日～2023年3月31日

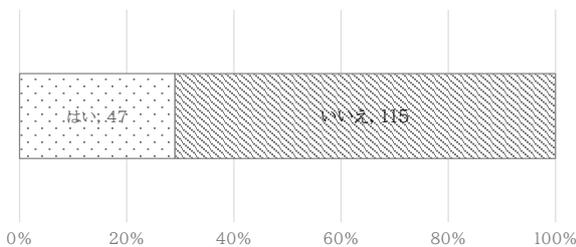
有効回答数: 162

項目	n	割合
はい	47	29.0%
いいえ	115	71.0%

解説

高気圧酸素治療の災害(緊急時)訓練を行っている施設は29%に留まった。日本高気圧環境・潜水医学会が定める安全基準では、非常事態発生の場合に対処するため、次の各号の事項について手引き書及び計画を作成して定期訓練を行わなければならない、としているため、訓練の普及が必要であると考えられた。

設問8 高気圧酸素治療の災害(緊急時)訓練を行っていますか。(単一回答)n=162



問9 高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れていますか。(単一回答)

目的: 高気圧酸素治療の臨床実習の実施状況を把握する。

定義: 高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れているか。

対象: 2023年10月1日時点

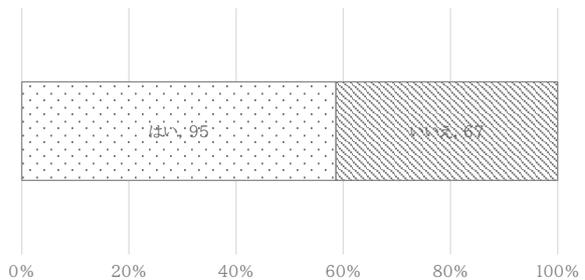
有効回答数: 162

項目	n	割合
はい	95	58.6%
いいえ	67	41.4%

解説

臨床実習の受け入れは59%の施設で行われていた。一方、41%の施設は行われておらず、高気圧酸素治療装置を保有している医療機関は絶対数が少ないため、より多くの施設での臨床実習の受け入れが望まれる。

設問9 高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れていますか。(単一回答)n=162



問10 2018年度の診療報酬改定以降、高気圧酸素治療の運用に変化がありましたか。(複数回答可)

目的: 診療報酬改定後の高気圧酸素治療の運用状況の把握のため。

定義: 施設の高気圧酸素治療の運用状況を選択。

対象: 2018年4月1日～2023年3月31日

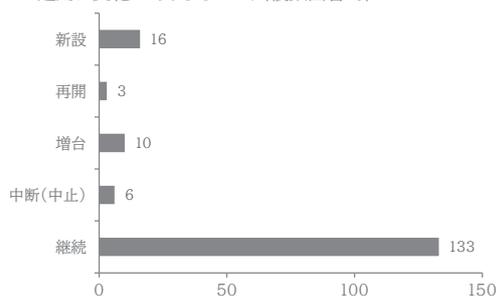
有効回答数: 162

項目	n	割合
新設	16	9.9%
再開	3	1.9%
増台	10	6.2%
中断(中止)	6	3.7%
継続	133	82.1%

解説

2018年の診療報酬改定に伴い、16施設が高気圧酸素治療を新設、3施設が再開、10施設が増台をしていた。一方、6施設は中止をしていた。

設問10 2018年度の診療報酬改定以降、高気圧酸素治療の運用に変化がありましたか。(複数回答可) n=162



XIV. 施設報告 ハイパーサーミアアドオン

問1 所属する都道府県技士会、問2 施設名は省略する。

問3 CEがハイパーサーミア業務に関与していますか (単一回答)

目的：ハイパーサーミアへの関与を把握する。

定義：ハイパーサーミアへの関与の有無を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

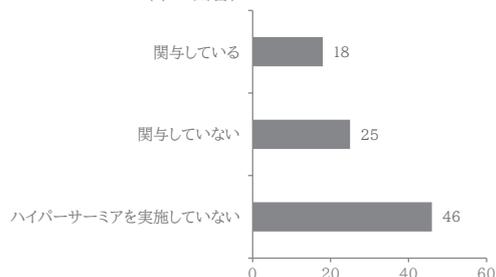
有効回答数：89

項目	n	割合
関与している	18	20.2%
関与していない	25	28.1%
ハイパーサーミアを実施していない	46	51.7%

解説

CEがハイパーサーミア業務に関与しているかは、実施していないが最も多く52%、関与しているは20%であった。

設問3 CEがハイパーサーミア業務に関与していますか (単一回答) n=89



問4 ハイパーサーミアで深在部の治療件数を選択してください。(単一回答)

目的：施設のハイパーサーミアで深在部の実施件数把握のため。

定義：施設のハイパーサーミアで深在部の実施件数を選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

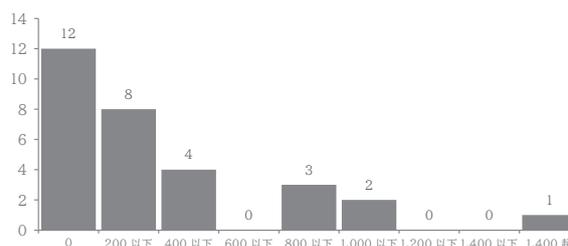
有効回答数：30

項目	n	割合
0	12	40.0%
200以下	8	26.7%
400以下	4	13.3%
600以下	0	0.0%
800以下	3	10.0%
1000以下	2	6.7%
1200以下	0	0.0%
1400以下	0	0.0%
1400超	1	3.3%

解説

ハイパーサーミアで深在部の実施件数は、0件が最も多く40%、次いで200件以下が27%であった。一方、800件を超える施設は3施設あった。

設問4 ハイパーサーミアで深在部の治療件数を選択してください。(単一回答) n=30



問5 ハイパーサーミアで浅在部の治療件数を選択してください。(単一回答)

目的：施設のハイパーサーミアで浅在部の実施件数把握のため。

定義：施設のハイパーサーミアで浅在部の実施件数を選択してください。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

有効回答数：27

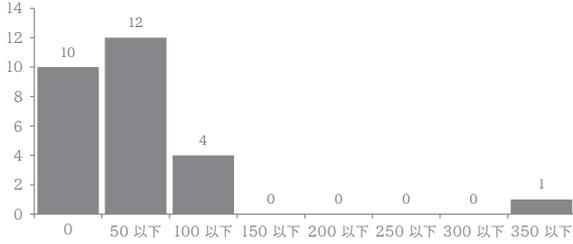
項目	n	割合
0	10	37.0%
50以下	12	44.4%
100以下	4	14.8%
150以下	0	0.0%
200以下	0	0.0%
250以下	0	0.0%
300以下	0	0.0%
350以下	1	3.7%

解説

ハイパーサーミアで浅在部の治療件数は、50件以下が最も多く44%であった。次いで0件が37%、

100 件以下が 15% であった。一方、350 件以下は 1 施設あった。

設問5 ハイパーサーミアで浅在部の治療件数を選択してください。(単一回答) n=27



問6 CE が関与したハイパーサーミアの治療件数を選択してください。(単一回答)

目的：CE が関与した施設のハイパーサーミア実施件数の把握のため。

定義：CE が関与した施設のハイパーサーミア実施件数を選択する。

対象：2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日

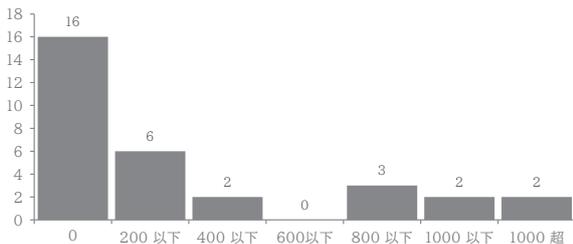
有効回答数：31

項目	n	割合
0	16	51.6%
200 以下	6	19.4%
400 以下	2	6.5%
600 以下	0	0.0%
800 以下	3	9.7%
1000 以下	2	6.5%
1000 超	2	6.5%

解説

CE が関与したハイパーサーミアの治療件数は、0 件が最も多く 52% であった。次いで 200 件以下が 19% であった。一方、800 件以下～1,000 件超の施設は 23% あり二極化している。

設問6 CEが関与したハイパーサーミアの治療件数を選択してください。(単一回答) n=31



問7 ハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）を選択してください。(複数回答)

目的：施設のハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）把握のため。

定義：施設のハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）を選択する。

対象：2023 年 10 月 1 日時点

有効回答数：36

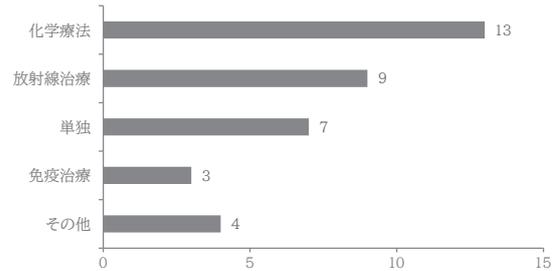
項目	n	割合
化学療法	13	36.1%
放射線治療	9	25.0%
単独	7	19.4%
免疫治療	3	8.3%
その他	4	11.1%

その他:HBO(1),高気圧酸素治療(2),不明(1)

解説

ハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）は、化学療法が最も多く 36%、次いで放射線治療 25% であった。

設問7 ハイパーサーミアの治療環境(集学的治療)を選択してください。(複数回答) n=36



問8 ハイパーサーミアにおける臨床工学技士の業務体制を選択してください。(単一回答)

目的：CE のハイパーサーミアにおける業務体制を把握するため。

定義：CE のハイパーサーミアにおける業務体制を選択する。※専従：担当者となっており、その他の業務は緊急時以外には行わないものとする

対象：2023 年 10 月 1 日時点

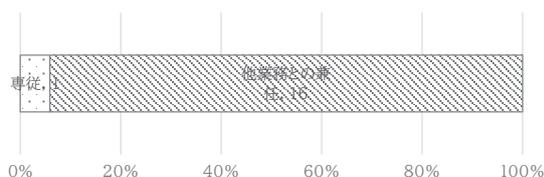
有効回答数：17

項目	n	割合
専従	1	5.9%
他業務との兼任	16	94.1%

解説

ハイパーサーミアにおける臨床工学技士の業務体制は、多業務との兼任がほとんどであった。

設問8 ハイパーサーミアにおける臨床工学技士の業務体制を選択してください。(単一回答) n=17



問9 ハイパーサーミアに関わる臨床工学技士の人数を選択してください。(単一回答)

目的：ハイパーサーミアに従事する臨床工学技士の人数を把握する。

定義：ハイパーサーミアに従事する臨床工学技士の人数を選択してください。※関与する臨床工学技士がいない場合は0を選択してください

対象：2023年10月1日時点

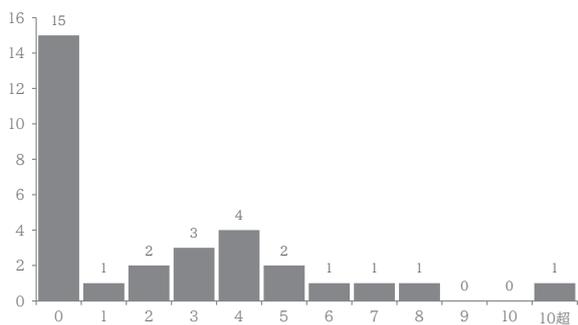
有効回答数：31

項目	n	割合
0	15	48.4%
1	1	3.2%
2	2	6.5%
3	3	9.7%
4	4	12.9%
5	2	6.5%
6	1	3.2%
7	1	3.2%
8	1	3.2%
9	0	0.0%
10	0	0.0%
10超	1	3.2%

解説

ハイパーサーミアに従事する臨床工学技士の人数は、0人が最も多く48%であった。次いで4人が13%であった。10人を超える施設は1施設あった。

設問9 ハイパーサーミアに関わる臨床工学技士の人数を選択してください。(単一回答) n=31



問10 CEがハイパーサーミアに従事する平日1日あたりの配置人数(平均的な数値)を選択してください。(単一回答)

目的：CEのハイパーサーミアに従事する配置人員を把握するため。

定義：CEがハイパーサーミアに従事する平日1日あたりの平均配置人数を選択してください。※1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合1を選択する。

対象：2022年4月1日～2023年3月31日

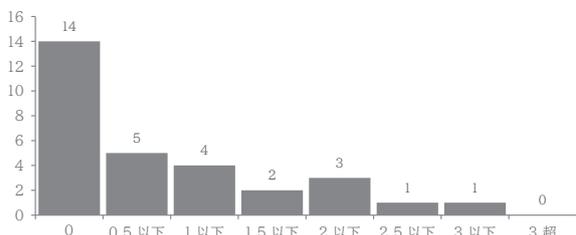
有効回答数：30

項目	n	割合
0	14	46.7%
0.5以下	5	16.7%
1以下	4	13.3%
1.5以下	2	6.7%
2以下	3	10.0%
2.5以下	1	3.3%
3以下	1	3.3%
3超	0	0.0%

解説

CEがハイパーサーミアに従事する平日1日あたりの配置人数は、0人が最も多く47%であった。0.5以下～2.5以下は50%であった。

設問10 CEがハイパーサーミアに従事する平日1日あたりの配置人数(平均的な数値)を選択してください。(単一回答) n=30



問11 ハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況について選択してください。(単一回答)

目的：施設のハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況把握のため。

定義：施設のハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況を選択する。

対象：2023年10月1日時点

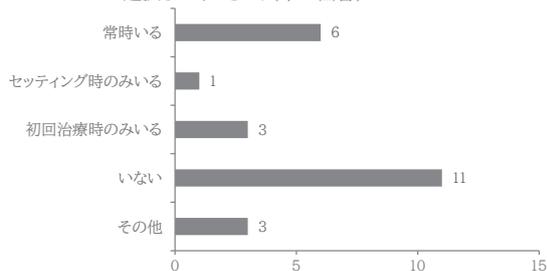
有効回答数：24

項目	n	割合
常時いる	6	25.0%
セッティング時のみいる	1	4.2%
初回治療時のみいる	3	12.5%
いない	11	45.8%
その他	3	12.5%

解説

ハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況は、いないが最も多く46%、次いで常時いるは25%であり、施設によって差が大きいことが伺える。

設問11 ハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況について選択してください。(単一回答) n=24



問12 ハイパーサーミアで発生した機器トラブルのうち、CE で問題解決できる割合はどの程度ありますか。(単一回答)

目的：ハイパーサーミア室で発生した機器トラブルのうち、CE に対応可能であるものがどの程度であるか把握する。

定義：ハイパーサーミア室で発生した機器トラブルのうち、CE で問題解決できる割合を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

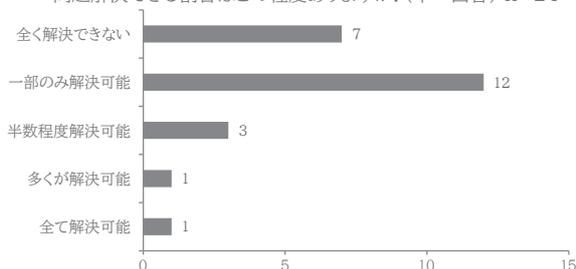
有効回答数：24

項目	n	割合
全く解決できない	7	29.2%
一部のみ解決可能	12	50.0%
半数程度解決可能	3	12.5%
多くが解決可能	1	4.2%
全て解決可能	1	4.2%

解説

ハイパーサーミアで発生した機器トラブルのうち、CE で問題解決できる割合は、一部のみ解決可能が最も多く50%であった。一方、全く解決できないは29%あることから、CE のトラブル対応は課題があると捉えられる。

設問12 ハイパーサーミアで発生した機器トラブルのうち、CE で問題解決できる割合はどの程度ありますか。(単一回答) n=24



問13 CE に対するハイパーサーミアの教育体制について選択してください。(複数回答)

目的：施設のハイパーサーミアの教育体制把握のため。定義：施設のCE に対するハイパーサーミアの教育体制を選択する。

対象：2023年10月1日時点

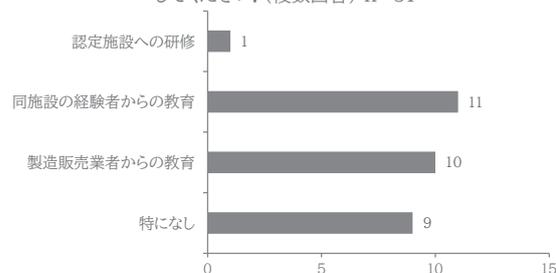
有効回答数：31

項目	n	割合
認定施設への研修	1	3.2%
同施設の経験者からの教育	11	35.5%
製造販売業者からの教育	10	32.3%
特になし	9	29.0%

解説

CE に対するハイパーサーミアの教育体制は、同施設の経験者からの教育36%、製造販売業者からの教育32%が多かった。特になしは29%あり教育体制に課題がある。

設問13 CEに対するハイパーサーミアの教育体制について選択してください。(複数回答) n=31



XV. 施設報告 医療安全アドオン

問1 所属する都道府県技士会、問2 施設名は省略する。

問3 医療安全管理部門でCE が業務を行っているか選択してください。(単一回答)

目的：医療安全部門におけるCE の関与を把握するため。

定義：医療安全部門におけるCE の関与を選択する。

対象：2023年10月1日時点

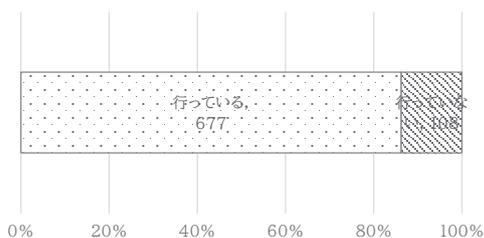
有効回答数：785

項目	n	割合
行っている	677	86.2%
行っていない	108	13.8%

解説

医療安全管理部門でCE が業務を行っている施設は86%であり、多くの施設が医療安全管理部門で業務を担っている。

設問3 医療安全管理部門でCEが業務を行っているか選択してください。(単一回答) n=785



問4 医療安全管理部門に所属する医師の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答)

目的: 医療安全管理部門に所属する人員を把握するため.

定義: 医療安全管理部門に所属する医師の人員を兼務, 専任, 専従を問わず選択する.

対象: 2023年10月1日時点

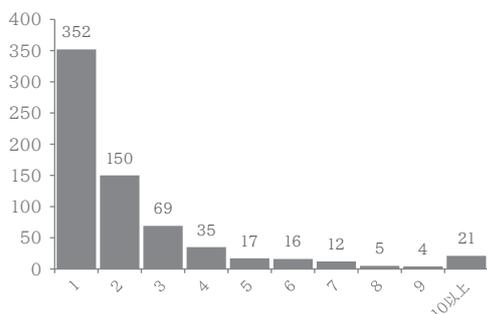
有効回答数: 681

項目	n	割合
1	352	51.7%
2	150	22.0%
3	69	10.1%
4	35	5.1%
5	17	2.5%
6	16	2.3%
7	12	1.8%
8	5	0.7%
9	4	0.6%
10以上	21	3.1%

解説

医療安全管理部門に所属する医師は, 1人が最も多く52%であり, 次いで2人が22%であった. 一方で, 10人以上の施設は3%あった.

設問4 医療安全管理部門に所属する医師の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答) n=681



問5 医療安全管理部門に所属する看護師の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答)

目的: 医療安全管理部門に所属する人員を把握するため.

定義: 医療安全管理部門に所属する看護師の人員を兼務, 専任, 専従を問わず選択する.

対象: 2023年10月1日時点

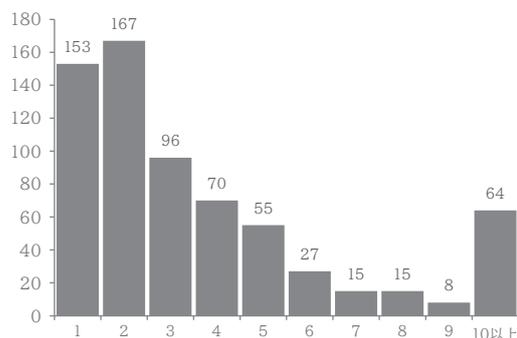
有効回答数: 670

項目	n	割合
1	153	22.8%
2	167	24.9%
3	96	14.3%
4	70	10.4%
5	55	8.2%
6	27	4.0%
7	15	2.2%
8	15	2.2%
9	8	1.2%
10以上	64	9.6%

解説

医療安全管理部門に所属する看護師は, 2人が最も多く25%, 次いで1人23%であった. 10人以上の施設は10%あった.

設問5 医療安全管理部門に所属する看護師の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答) n=670



問6 医療安全管理部門に所属する薬剤師の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答)
目的: 医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義: 医療安全管理部門に所属する薬剤師の人員を兼務, 専任, 専従を問わず選択する。

対象: 2023年10月1日時点

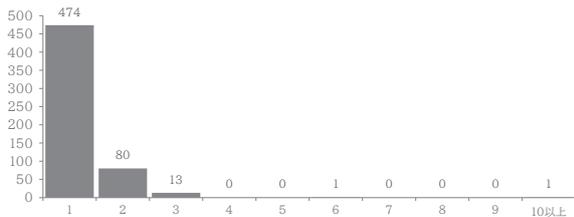
有効回答数: 569

項目	n	割合
1	474	83.3%
2	80	14.1%
3	13	2.3%
4	0	0.0%
5	0	0.0%
6	1	0.2%
7	0	0.0%
8	0	0.0%
9	0	0.0%
10以上	1	0.2%

解説

医療安全管理部門に所属する薬剤師は1人が最も多く83%であった。3人以下の所属は99%を占めた。

設問6 医療安全管理部門に所属する薬剤師の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答) n=569



問7 医療安全管理部門に所属する臨床工学士の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答)

目的: 医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義: 医療安全管理部門に所属する臨床工学士の人員を兼務, 専任, 専従を問わず選択する。

対象: 2023年10月1日時点

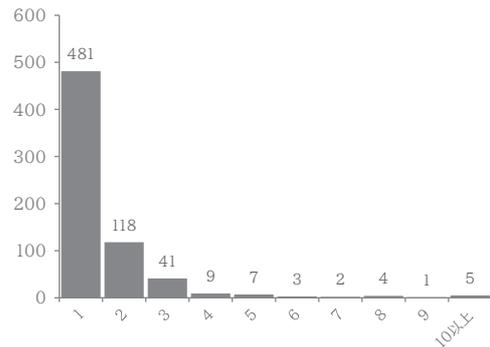
有効回答数: 671

項目	n	割合
1	481	71.7%
2	118	17.6%
3	41	6.1%
4	9	1.3%
5	7	1.0%
6	3	0.4%
7	2	0.3%
8	4	0.6%
9	1	0.1%
10以上	5	0.7%

解説

医療安全管理部門に所属する臨床工学士は、1人が最も多く72%、3人以下は95%を占めた。

設問7 医療安全管理部門に所属する臨床工学士の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答) n=671



問8 医療安全管理部門に所属する事務員の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答)
目的: 医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義: 医療安全管理部門に所属する事務員の人員を兼務, 専任, 専従を問わず選択する。

対象: 2023年10月1日時点

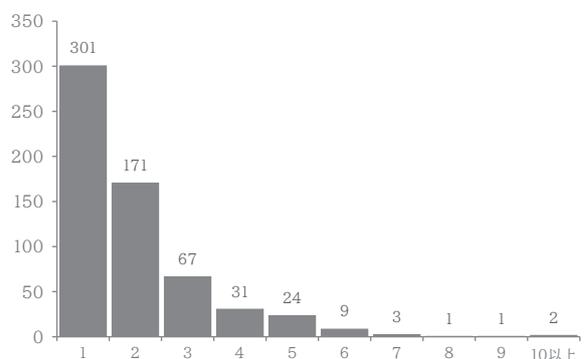
有効回答数: 610

項目	n	割合
1	301	49.3%
2	171	28.0%
3	67	11.0%
4	31	5.1%
5	24	3.9%
6	9	1.5%
7	3	0.5%
8	1	0.2%
9	1	0.2%
10以上	2	0.3%

解説

医療安全管理部門に所属する事務員は、1人が最も多く49%、3人以下は88%を占めた。

設問8 医療安全管理部門に所属する事務員の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答) n=610



問9 医療安全管理部門に所属するその他の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答)

目的: 医療安全管理部門に所属する人員を把握するため.

定義: 医療安全管理部門に所属する人員を兼務, 専任, 専従を問わず選択する.

対象: 2023年10月1日時点

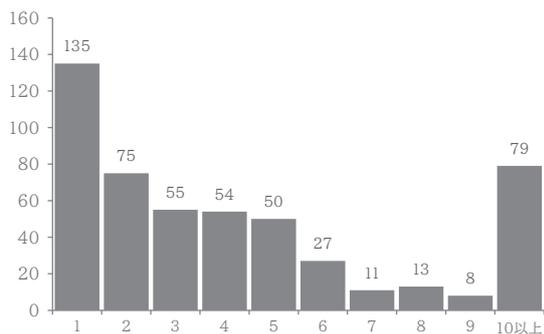
有効回答数: 507

項目	n	割合
1	135	26.6%
2	75	14.8%
3	55	10.8%
4	54	10.7%
5	50	9.9%
6	27	5.3%
7	11	2.2%
8	13	2.6%
9	8	1.6%
10以上	79	15.6%

解説

医療安全管理部門に所属するその他の人員は, 1人が最も多く27%, 次いで2人が15%であった.

設問9 医療安全管理部門に所属するその他の人数を選択してください。(兼務, 専従問わず)(単一回答) n=507



問10 医療安全管理部門のCEの業務形式を入力してください。(単一回答)

目的: 医療安全管理部門でCEの業務形式を把握するため.

定義: 医療安全管理部門のCEの業務形式を選択する. ※兼務(50%未満), 専任(50%~80%未満), 専従(80%以上)とする.

対象: 2023年10月1日時点

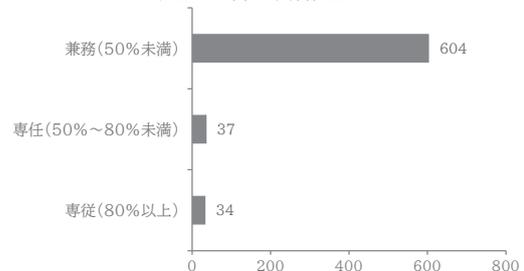
有効回答数: 675

項目	n	割合
兼務(50%未満)	604	89.5%
専任(50%~80%未満)	37	5.5%
専従(80%以上)	34	5.0%

解説

医療安全管理部門のCEの業務形式は, 兼務が最も多く90%であった. 専任6%, 専従は5%であった.

設問10 医療安全管理部門のCEの業務形式を入力してください。(単一回答) n=675



問11 医療安全管理部門の肩書き(職位)を選択してください。(単一回答)

目的: 院内での肩書き(職位)を選択してください.

定義: 医療安全管理部門のCEの肩書を選択する.

対象: 2023年10月1日時点

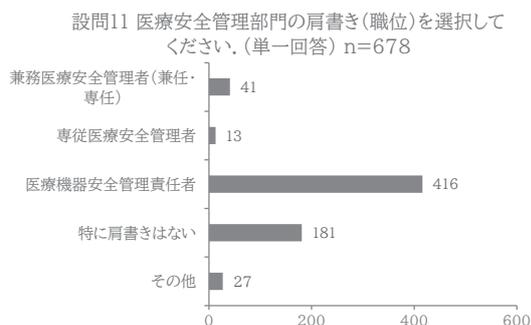
有効回答数: 678

項目	n	割合
兼務医療安全管理者(兼任・専任)	41	6.0%
専従医療安全管理者	13	1.9%
医療機器安全管理責任者	416	61.4%
特に肩書きはない	181	26.7%
その他	27	4.0%

その他: 医療機器安全管理担当者等(9), 複数の肩書(6), マネージャー(5), 部員・室員(4), 委員(3), その他(1)

解説

医療安全管理部門のCEの肩書は, 医療機器安全管理責任者が最も多く61%であった. 次いで特に肩書はないは27%, 専従医療安全管理者は2%であった.



問12 医療安全管理部門のCEの業務形態を記入してください。(自由記載)

目的：医療安全管理部門のCEの業務形態を記入してください。(自由記載)

定義：医療安全管理部門のCEの業務形態を記入する。例(週2日AMのみ、毎日カンファレンスのみ、月1回会議のみ等)

対象：2023年10月1日時点

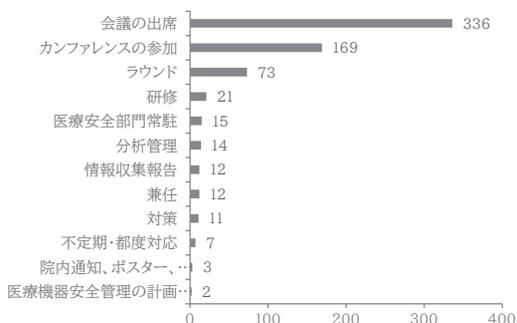
有効回答数：555

項目	n	割合
会議の出席	336	60.5%
カンファレンスの参加	169	30.5%
ラウンド	73	13.2%
研修	21	3.8%
医療安全部門常駐	15	2.7%
分析管理	14	2.5%
情報収集報告	12	2.2%
兼任	12	2.2%
対策	11	2.0%
不定期・都度対応	7	1.3%
院内通知、ポスター、ニュース	3	0.5%
医療機器安全管理の計画と管理	2	0.4%

解説

医療安全管理部門のCEの業務形態(自由記載)を分類すると、会議の出席が最も多く61%、次いでカンファレンス31%、ラウンド13%であった。

設問12 医療安全管理部門のCEの業務形態を記入してください。(自由記載) n=555



問13 医療安全管理者研修は受講済みでしょうか。(単一回答)

目的：医療安全管理者研修について選択してください。定義：医療安全管理者研修は、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室の「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針(令和2年3月改定)」に準拠した研修とします。

対象：2023年10月1日時点

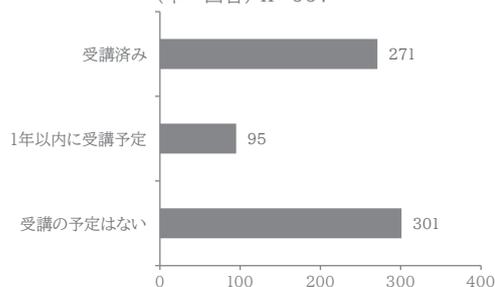
有効回答数：667

項目	n	割合
受講済み	271	40.6%
1年以内に受講予定	95	14.2%
受講の予定はない	301	45.1%

解説

医療安全管理者研修は受講は、受講の予定はないは最も多く45%、1年以内に受講予定は14%、受講済みは41%であり施設により差があることが伺えた。

設問13 医療安全管理者研修は受講済みでしょうか。(単一回答) n=667



問14 医療安全管理部門での CE の業務について選択してください。(複数回答)

目的：医療安全管理部門での CE の業務について選択してください。

定義：医療安全管理部門での CE の業務を把握するため。

対象：2023 年 10 月 1 日時点

有効回答数：671

項目	n	割合
医療安全管理会議の参加	607	90.5%
インシデントレポートの確認(医療機器関連問わず全て)	410	61.1%
カンファレンスの参加	401	59.8%
医療安全ラウンドの参加	385	57.4%
各種 WG、委員会等の参加	360	53.7%
事故調査の実施(軽微なインシデント事例を含む)	317	47.2%
インシデントレポートの確認(医療機器関連のみ)	302	45.0%
高難度新規医療技術、未初認新規医薬品等	84	12.5%
その他	18	2.7%

その他：研修管理(5)、医療機器安全管理情報の管理(3)、RRS 等管理運営(2)、分析業務(1)、PMDA 報告(1)、医療機器安全管理責任者業務(1)、医療機器、材料の審査(1)

解説

医療安全管理部門での CE の業務は、医療安全管理会議の参加が最も多く 91%、次いでインシデントレポートの確認 61%、カンファレンスの参加は 60% であった。多くの業務を担うことが伺えた。

設問14 医療安全管理部門でのCEの業務について選択してください。n=671



問15 医療安全管理部門へ配属となった経緯を選択してください。(前任者から引き継いだ方は最初の経緯を回答ください)(単一回答)

目的：医療安全管理部門へ配属となった経緯を把握するため。

定義：医療安全管理部門へ配属となった経緯を選択する。

対象：2023 年 10 月 1 日時点

有効回答数：648

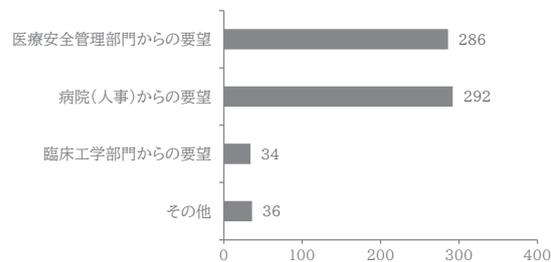
項目	n	割合
医療安全管理部門からの要望	286	44.1%
病院(人事)からの要望	292	45.1%
臨床工学部門からの要望	34	5.2%
その他	36	5.6%

不明(5)、配属ではない(4)、以前からの業務形態(3)、医療機器安全管理責任者配置のため(3)、引継ぎ(3)、兼任(2)、委員会のため(2)、選出(2)、委員(1)、病院機能評価(1)、指示(1)、医療安全管理者として採用(1)

解説

医療安全管理部門へ配属となった経緯は、病院(人事)からの要望が最も多く 45%、次いで医療安全管理部門からの要望は 44% であった。

設問15 医療安全管理部門へ配属となった経緯を選択してください。(前任者から引き継いだ方は最初の経緯を回答ください)(単一回答) n=648



問16 医療安全管理部門の任期を選択してください。(単一回答)

目的：医療安全管理部門の任期を把握するため。

定義：医療安全部門の任期を選択する。

対象：2023 年 10 月 1 日時点

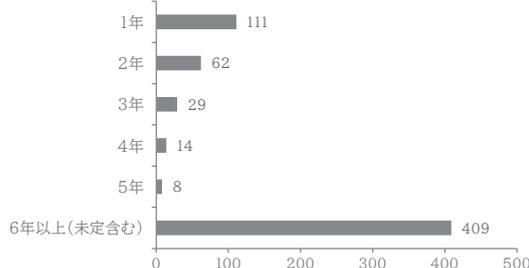
有効回答数：633

項目	n	割合
1年	111	17.5%
2年	62	9.8%
3年	29	4.6%
4年	14	2.2%
5年	8	1.3%
6年以上(未定含む)	409	64.6%

解説

医療安全管理部門の任期は、6年以上(未定含む)は最も多く 65%、次いで1年 18% であった。

設問16 医療安全管理部門の任期を選択してください。(単一回答) n=633



問17 医療安全管理部門からの依頼で行っている臨床工学部門の業務を選択してください。(複数回答)
目的：医療安全管理部門からの依頼業務を把握するため。

定義：医療安全管理部門の依頼業務を選択する。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：645

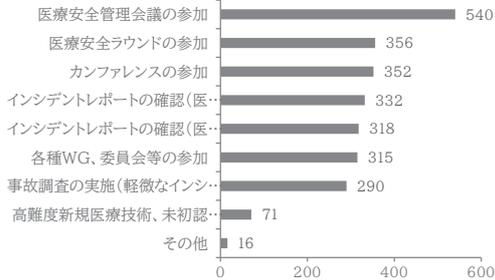
項目	n	割合
医療安全管理会議の参加	540	83.7%
医療安全ラウンドの参加	356	55.2%
カンファレンスの参加	352	54.6%
インシデントレポートの確認(医療機器関連のみ)	332	51.5%
インシデントレポートの確認(医療機器関連問わず全て)	318	49.3%
各種WG、委員会等の参加	315	48.8%
事故調査の実施(軽微なインシデント事例を含む)	290	45.0%
高難度新規医療技術、未初認	71	11.0%
その他	16	2.5%

その他：研修管理(6)、分析業務(4)、特になし(2)、医療機器安全管理責任者業務(1)

解説

医療安全管理部門からの依頼業務は、医療安全管理会議の参加は最も多く84%、医療安全ラウンドの参加、カンファレンスの参加、インシデントレポートの確認(医療機器関連のみ)、インシデントレポートの確認(医療機器関連問わず全て)、各種WG、委員会等の参加、事故調査の実施(軽微なインシデント事例を含む)は半数近くの施設が実施していた。

設問17 医療安全管理部門からの依頼で行っている臨床工学部門の業務を選択してください。(複数回答) n=645



問18 医療安全管理部門に属して良かったと思うこと。(兼務、専任、専従の方) (フリー記載)
目的：医療安全管理部門に属して良かったと思うことを把握するため。

定義：医療安全管理部門に属して良かったと思うことを記載する。

対象：2023年10月1日時点

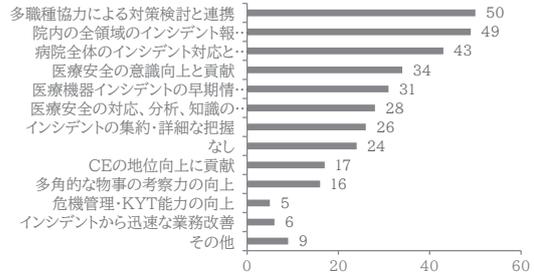
有効回答数：338

項目	n	割合
多職種協力による対策検討と連携	50	14.8%
院内の全領域のインシデント報告確認と実態把握	49	14.5%
病院全体のインシデント対応と改善策の立案と周知	43	12.7%
医療安全の意識向上と貢献	34	10.1%
医療機器インシデントの早期情報等の把握	31	9.2%
医療安全の対応、分析、知識の習得	28	8.3%
インシデントの集約・詳細な把握	26	7.7%
なし	24	7.1%
CEの地位向上に貢献	17	5.0%
多角的な物事の考察力の向上	16	4.7%
危機管理・KYT能力の向上	5	1.5%
インシデントから迅速な業務改善	6	1.8%
その他	9	2.7%

解説

項目に分類したところ、医療安全管理部門に属して良かったと思うことは、多職種協力による対策検討と連携、院内の全領域のインシデント報告確認と実態把握は15%であった。次いで、病院全体のインシデント対応と改善策の立案と周知13%、医療安全の意識向上と貢献10%であった。

設問18 医療安全管理部門に属して良かったと思うこと。(兼務、専任、専従の方) (フリー記載) n=338



問19 今後、医療安全管理部門の臨床工学技士に期待する事。(フリー記載)

目的：医療安全部門への期待を把握するため。

定義：医療安全部門への期待を記載する。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：

項目	n	割合
CEの医療機器の安全管理と医療安全への貢献	81	34.3%
CEの医療安全部門の専従、専任、役職、配置義務の期待	32	13.6%
CEのシステム構築、医療安全の視点に関する期待	28	11.9%
その他の期待や提案	24	10.2%
臨床工学技士の地位向上と専門性の活用	23	9.7%
診療報酬や加算に関する要望	18	7.6%
CEの医療安全管理者としての活動に関する期待	10	4.2%
なし	20	8.5%

解説

今後、医療安全管理部門の臨床工学技士に期待する事は、CEの医療機器の安全管理と医療安全への貢献が最も多く34%、次いでCEの医療安全部門の専従、専任、役職、配置義務の期待は14%、CEのシステム構築、医療安全の視点に関する期待は12%であった。一方でなしは9%あった。

設問19 今後、医療安全管理部門の臨床工学技士に期待する事。(フリー記載) n=236



VII. 業務実態報告2023 施設報告 腹膜透析アドオン

問1 所属する都道府県技士会、問2 施設名は省略する。

問3 貴院での「腹膜透析認定指導臨床工学技士」の認知・取得者について教えてください(単一回答)。

目的：腹膜透析認定指導臨床工学技士の取得者がいるか、認知度を把握する。

定義：現状のものを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

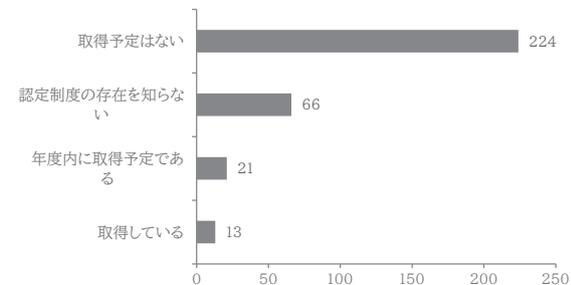
有効回答数：324

項目	n	割合
取得予定はない	224	69.1%
認定制度の存在を知らない	66	20.4%
年度内に取得予定である	21	6.5%
取得している	13	4.0%

解説

約7割の施設では取得の予定がない。

設問3 貴院での「腹膜透析認定指導臨床工学技士」の認知・取得者について教えてください。(単一回答) n=324



問4 「腎代替療法専門指導士」の習得を予定している主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：腎代替療法の適切な選択を推進するために腎代替療法専門指導士制度が発足しました。臨床工学技士も血液浄化専門・認定臨床工学技士を有していると応募することが可能となるため、習得状況を把握する。

定義：「腎代替療法専門指導士」の習得を予定している主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

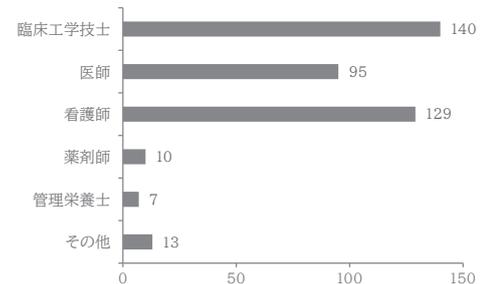
有効回答数：246

項目	n	割合
臨床工学技士	140	56.9%
看護師	129	52.4%
医師	95	38.6%
薬剤師	10	4.1%
管理栄養士	7	2.8%
その他	13	5.3%
その他：なし(5),すでに所得済み(2),不在(1),不明(1)		

解説

半数以上の施設では、CEと看護師が「腎代替療法専門指導士」取得予定である

設問4 「腎代替療法専門指導士」の習得を予定している主な職種を回答してください。(複数回答) n=246



問5 貴院ではPD患者の診療を行っていますか。(単一回答)

PDの診療を行っていない場合、設問は終了です。

目的：所属施設でPD業務を実施しているか把握する。

定義：現状のものを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

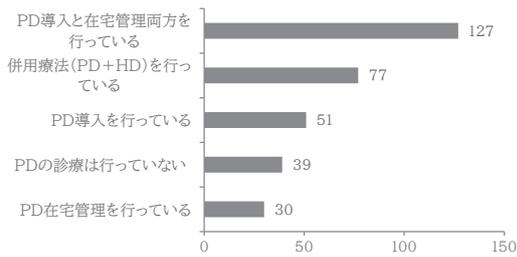
有効回答数：324

項目	n	割合
PD導入と在宅管理両方を行っている	127	39.2%
併用療法(PD+HD)を行っている	77	23.8%
PD導入を行っている	51	15.7%
PDの診療は行っていない	39	12.0%
PD在宅管理を行っている	30	9.3%

解説

約8割の施設がPD治療に関与している。

設問5 貴院ではPD患者の診療を行っていますか。
(単一回答) n=324



問6 PD患者に関与している施設に質問です。PD業務にCEが関与していますか。(単一回答)

目的：CEがどの程度PD業務に携わっているか、関心を持っているかを把握する。

定義：現状のものを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

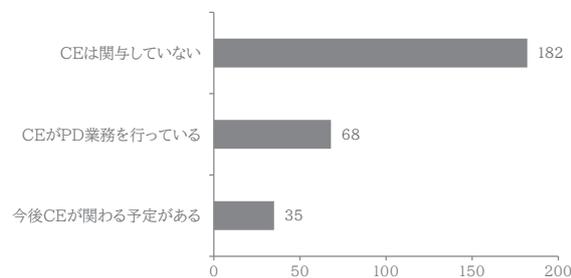
有効回答数：285

項目	n	割合
CEは関与していない	182	63.9%
CEがPD業務を行っている	68	23.9%
今後CEが関わる予定がある	35	12.3%

解説

約6割の施設がPD業務にCEは関与していない。

設問6 PD患者に関与している施設に質問です。PD業務にCEが関与していますか。(単一回答) n=285



問7 PD患者に関与している施設に質問です。PD業務にCEが関与したきっかけはなんですか。(複数回答)

目的：CEがどの程度PD業務に携わっているか他職種の理解度も含め把握する。

定義：現状のものを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

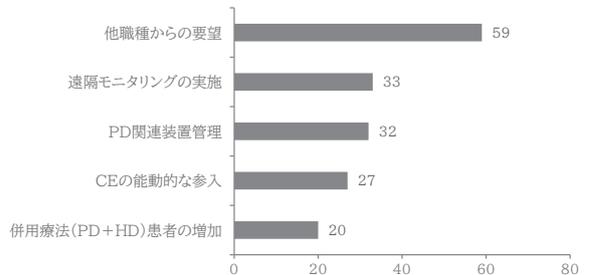
有効回答数：100

項目	n	割合
他職種からの要望	59	59.0%
遠隔モニタリングの実施	33	30.0%
PD関連装置管理	32	32.0%
CEの能動的な参入	27	27.0%
併用療法(PD+HD)患者の増加	20	20.0%

解説

他職種から要望が多い。

設問7 PD患者に関与している施設に質問です。PD業務にCEが関与したきっかけはなんですか。(複数回答) n=100



問8 問7で「CEは関与していない」と回答した施設に質問です。CEがPD業務に参入しない、参入できない理由について教えてください。(複数回答)

目的：CEがPD業務に参入できない理由を把握する。

定義：当てはまるものを選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：183

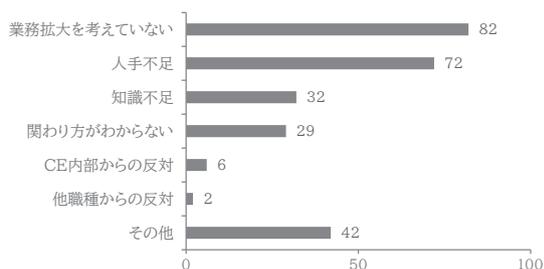
項目	n	割合
業務拡大を考えていない	82	44.8%
人手不足	72	39.3%
知識不足	32	17.5%
関わり方がわからない	29	15.8%
CE内部からの反対	6	3.3%
他職種からの反対	2	1.1%
その他	42	23.0%

その他：要望が無い(13)、症例数が少ない(8)、看護師が担当(8)、医師の問題(2)、機器管理のみ実施(2)、医師、看護師のみ(1)、必要性がない(2)

解説

CEは関与していない理由としては、業務拡大を考えていないが最も多く45%、次いで人手不足が39%であった。一方で要望がない、症例数が少ない、看護師が担当している施設があった。

設問8 問7で「CEは関与していない」と回答した施設に質問です。CEがPD業務に参入しない、参入できない理由について教えてください。(複数回答) n=183



問9 問7で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。CEが行っている業務を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でCEが行っているPD業務を把握する。

定義：CEが行っているPD業務を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：76

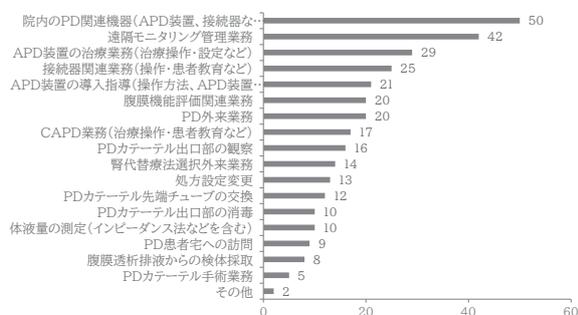
項目	n	割合
院内のPD関連機器(APD装置、接続器など)管理業務	50	65.8%
遠隔モニタリング管理業務	42	55.3%
APD装置の治療業務(治療操作・設定など)	29	38.2%
接続器関連業務(操作・患者教育など)	25	32.9%
APD装置の導入指導(操作方法、APD装置機種などの選択など)	21	27.6%
腹膜機能評価関連業務	20	27.6%
PD外来業務	20	26.3%
CAPD業務(治療操作・患者教育など)	17	25.0%
PDカテーテル出口部の観察	16	21.1%
腎代替療法選択外来業務	14	18.4%
処方設定変更	13	18.4%
PDカテーテル先端チューブの交換	12	15.8%
PDカテーテル出口部の消毒	10	13.2%
体液量の測定(インピーダンス法などを含む)	10	13.2%
PD患者宅への訪問	9	11.8%
腹膜透析排液からの検体採取	8	13.2%
PDカテーテル手術業務	5	6.6%
その他	2	2.6%

その他:PD+HDFを併用(1), 院内使用時の機器トラブル対応(1)

解説

院内のPD関連機器管理業務66%と遠隔モニタリング管理55%に携わる施設が多い

設問9 問7で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。CEが行っている業務を回答してください。(複数回答) n=76



問10 問7で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。CEがPD業務に参入することにより、どのような点が向上しましたか。(複数回答)

目的：CEがPD業務に参入したことによる利益を把握する。

定義：当てはまるものを選択

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：78

項目	n	割合
看護師の業務負担軽減	55	70.5%
医師の業務負担軽減	40	51.3%
PD関連装置の安全管理が徹底される	39	50.0%
遠隔診療の円滑な運用が実現できる	34	43.6%
PD治療の質が向上する	32	41.0%
トラブル時の迅速な対応ができる	26	33.3%
医療事故の減少	12	15.4%
医療経済上の効果がある	12	15.4%
その他	6	9.0%

その他:血液透析移行期および移行後の患者との連携の円滑化(2), 併用療法(PD+HD)患者への管理向上(1), 病棟在庫の削減(1), レンタル機器の適正管理(1), まだ実績が乏しい(1)

解説

CEがPD業務に参入することにより、向上した点は、看護師の業務負担軽減が最も多く71%、次いで医師の業務負担軽減は51%、PD関連装置の安全管理が徹底されるは50%であった。看護師の負担軽減と医療安全の向上に寄与すると考えられた。

設問10 問7で「CEがPD業務を行っている」と回答した施設に質問です。CEがPD業務に参入することにより、どのような点が向上しましたか。(複数回答) n=78



問11 院内のPD 関連装置管理を実施している職種を回答してください。(複数回答)

目的：PD 関連機器は生命維持管理装置のため、所属施設でPD 関連機器管理を実施している職種を把握する。

定義：院内のPD 関連機器管理を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

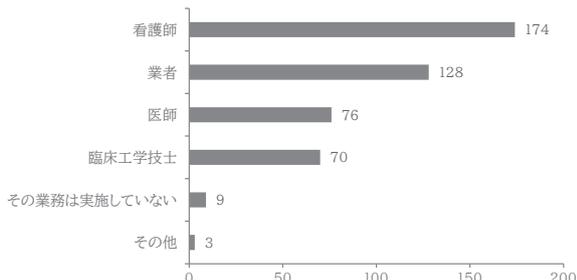
有効回答数：263

項目	n	割合
看護師	174	66.2%
業者	128	48.7%
医師	76	28.9%
臨床工学士	70	26.6%
その業務は実施していない	9	3.4%
その他	3	1.1%
その他:NP(1),現在NsからCEへ移行中(1),薬剤師(1)		

解説

半数以上の施設で看護師や業者がPD 関連装置管理をしている。

設問11 院内のPD関連装置管理を実施している職種を回答してください。(複数回答) n=263



問12 「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている職種を把握する。

定義：「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

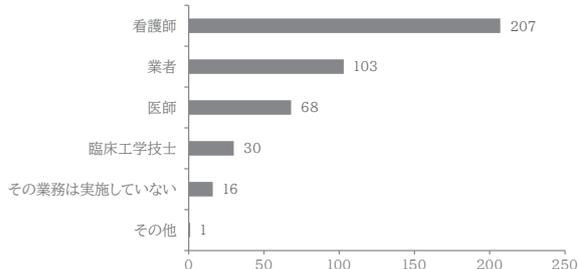
有効回答数：261

項目	n	割合
看護師	207	79.3%
業者	103	39.5%
医師	68	26.1%
臨床工学士	30	11.5%
その業務は実施していない	16	6.1%
その他	1	0.4%
その他:NP(1)		

解説

ほとんどの施設79%で看護師がAPD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育を行っている。業者の指導、操作教育は40%であった。

設問12 「APD装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=261



問13 「APD 装置の各種パラメータ設定」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で「APD 装置の各種パラメータ設定」を行っている職種を把握する。

定義：「APD 装置の各種パラメータ設定」を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

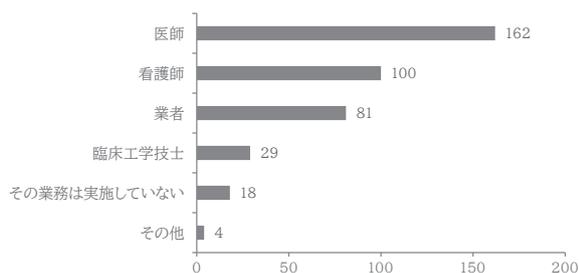
有効回答数：259

項目	n	割合
医師	162	92.3%
看護師	100	38.6%
業者	81	37.1%
臨床工学士	29	11.2%
その業務は実施していない	18	6.9%
その他	4	1.9%
その他:不明(2),NP(1)		

解説

ほとんどの施設で医師がAPD 装置の各種パラメータ設定を行っている。

設問13 「APD装置の各種パラメータ設定」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=259



問14 「PDの除水や溶質除去効率のチェックとデータ管理」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で「PDの除水や溶質除去効率のチェックとデータ管理」を行っている職種を把握する。

定義：「PDの除水や溶質除去効率のチェックとデータ管理」を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

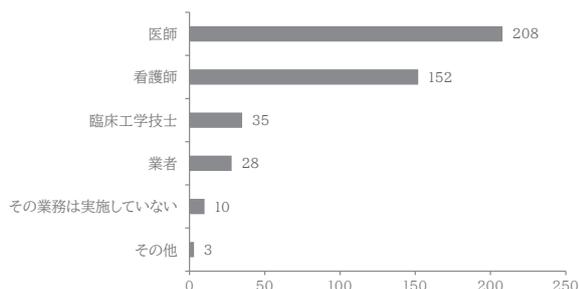
有効回答数：261

項目	n	割合
医師	208	79.7%
看護師	152	58.2%
臨床工学技士	35	13.4%
業者	28	10.7%
その業務は実施していない	10	3.8%
その他	3	1.1%
その他:不明(1),医療秘書(1),不明(1)		

解説

ほとんどの施設で医師 80%が行っており、次いで看護師 58%が行っている施設が多い

設問14 「PDの除水や溶質除去効率のチェックとデータ管理」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=261



問15 「PD 関連装置のトラブル対応」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で「PD 関連装置のトラブル対応」を行っている職種を把握する。

定義：「PD 関連装置のトラブル対応」を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

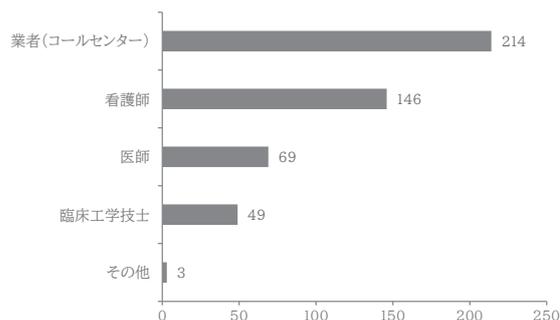
有効回答数：262

項目	n	割合
業者(コールセンター)	214	81.7%
看護師	146	55.7%
医師	69	26.3%
臨床工学技士	49	18.7%
その他	3	1.1%
その他:NP(1),管理栄養士(1),他の協力病院(1),訪問看護(1)		

解説

ほとんどの施設で業者(コールセンター)がトラブル対応をしている。訪問看護や協力病院が対応する施設もある

設問15 「PD関連装置のトラブル対応」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=262



問16 「PD に対して在宅訪問による装置の設定確認と点検」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で「在宅訪問による装置の設定確認と点検」を行っている職種を把握する。

定義：「在宅訪問による装置の設定確認と点検」を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

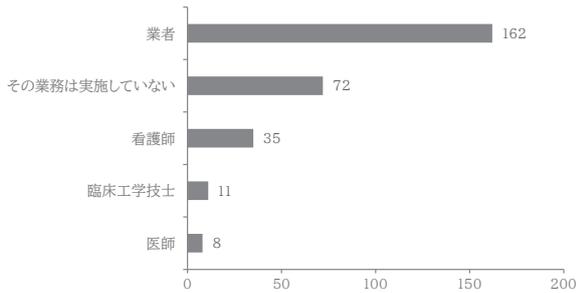
有効回答数：257

項目	n	割合
業者	162	63.0%
その業務は実施していない	72	28.0%
看護師	35	13.6%
臨床工学技士	11	4.3%
医師	8	3.1%
その他	5	1.9%
その他:不明(3),訪問看護(1),クリニックに受診(1)		

解説

多くの施設で業者が在宅訪問による装置の設定確認と点検を行っている。

設問16 「PD に対して在宅訪問による装置の設定確認と点検」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=257



問17 CE が PD 患者の在宅訪問を行い、PD 指導・PD 関連装置点検した際に診療報酬点数が取得できるようになった場合、実施しますか。(単一回答)

目的：診療報酬の取得によって CE の業務拡大につながるのか把握する。

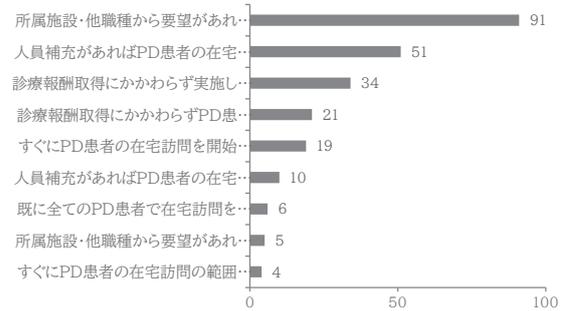
定義：診療報酬取得後の業務対応を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

有効回答数：262

項目	n	割合
所属施設・他職種から要望があれば PD 患者の在宅訪問を開始する	91	34.7%
人員補充があれば PD 患者の在宅訪問を開始する	51	19.5%
診療報酬取得にかかわらず実施しない	34	13.0%
診療報酬取得にかかわらず PD 患者の在宅訪問の範囲は拡大しない	21	8.0%
すぐに PD 患者の在宅訪問を開始する	19	7.3%
人員補充があれば PD 患者の在宅訪問の範囲を拡大する	10	3.8%
既に全ての PD 患者で在宅訪問を実施している	6	2.3%
所属施設・他職種から要望があれば PD 患者の在宅訪問の範囲を拡大する	5	1.9%
すぐに PD 患者の在宅訪問の範囲を拡大する	4	1.5%
その他	21	8.0%
検討する(4), 要望と人員補充があれば検討する(4), 病院の方針であれば検討する(3), 要望があれば検討する(3), 不明(3), 今のところ検討していない(1), 人員確保できれば検討する(1), 診療報酬による(1)		

設問17 CEがPD患者の在宅訪問を行い、PD指導・PD関連装置点検した際に診療報酬点数が取得できるようになった場合、実施しますか。(単一回答) n=262



問18 「PD 遠隔管理システムのシステム管理」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で「PD 遠隔管理システムのシステム管理」を行っている職種を把握する。

定義：「PD 遠隔管理システムのシステム管理」を行っている主な職種を選択してください。

対象：2023年10月1日時点

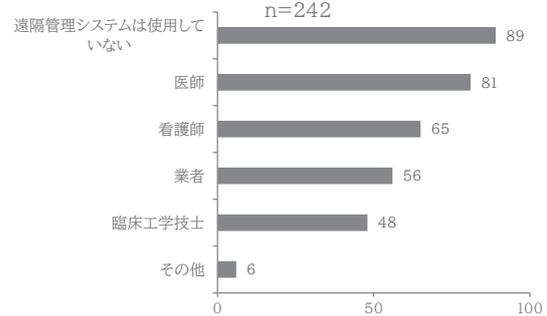
有効回答数：242

項目	n	割合
その業務は実施していない	117	68.4%
APD 治療結果確認	42	24.6%
必要時のメーカーへの連絡	32	18.7%
APD 装置の各種パラメータ設定	30	17.5%
システム管理(ユーザー管理, 患者登録など)	30	17.5%
治療結果の診療録への記載	21	12.3%
必要時の患者への連絡	18	10.5%
その他	3	1.8%
その他:不明(4),NP(1),訪問看護(1)		

解説

PD 遠隔管理システム業務に CE が関与していない施設は 68% と多い。

設問18 「PD遠隔管理システムのシステム管理」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=242



問19 「PD 遠隔管理システム」で CE が行っている業務を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で CE が PD 遠隔管理システムにどの程度関わっているのかを把握する。

定義：PD 遠隔管理システムで CE が行っている業務を選択してください。

対象：2023 年 10 月 1 日時点

有効回答数：171

項目	n	割合
その業務は実施していない	117	68.4%
APD 治療結果確認	42	24.6%
必要時のメーカーへの連絡	32	18.7%
APD 装置の各種パラメータ設定	30	17.5%
システム管理(ユーザー管理, 患者登録など)	30	17.5%
治療結果の診療録への記載	21	12.3%
必要時の患者への連絡	18	10.5%
その他	3	1.8%

その他:関与なし(1),実績が乏しい(1),設定変更必要そうな時,医師との情報共有(1)

解説

PD 遠隔管理システム業務に CE が関与していない施設は 68%であった。

設問19「PD遠隔管理システム」でCEが行っている業務を回答してください。(複数回答) n=171

